

社会福祉法人 三徳会

## 令和3年度事業報告書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(2021.4.1～2022.3.31)

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	（成幸、戸越台、荏原、平塚橋）
通所介護事業所（デイサービス）	（成幸、戸越台、荏原、小山）
短期入所生活介護事業所（ショートステイ）	（成幸、戸越台、荏原、平塚橋）
居宅支援事業所（在宅介護支援センター）	（成幸、戸越台、杜松、荏原、小山、小山台）
特定相談支援事業（障害者計画相談支援）	（荏原）
高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）	（平塚橋）



# 目 次

(頁)

1 概 要	1
2 役員会	2
3 施設整備の主なもの	6
4 法人事務局	8
5 施設運営局	13
1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）（成幸・戸越台・荏原・平塚橋）	13
2. 通所介護事業（デイサービス）（成幸・戸越台・荏原・小山）	25
3. 短期入所生活介護事業（ショートステイ）	34
4. 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、 地域包括支援センター）（成幸・戸越台・杜松・荏原・小山・小山台）	39
5. 障害者計画相談支援（荏原）	42
6 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）	43
7 研修報告	45
8 地域活動	46
9 その他	47
10 業 績	47
11 新型コロナウイルス感染症の対応	48
12 戸越台複合施設の大規模改修工事完了について	52

## 資料編

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	53
1) 令和3年度の利用者動向	53
2) 利用者の入退所状況	56
3) 利用者の日常生活能力（ADL）	65
4) 家族などの訪問(面会)者数・外泊状況	68
5) 三徳懇談会	69
6) セルフチェックシート（自己評価表）	71
栄養・調理	
7) 個別の栄養状態に着目した栄養ケアマネジメントに基づいた特別な対応	74
8) 残菜・嗜好調査	75
9) 選択食、団らん食、お楽しみ食、その他	76
10) 栄養出納表（年間平均）	80
健康管理	
11) 受診状況	81
12) 利用者の診断病名	82
13) 入院・退所状況	83

14) 入院者病名および件数	83
15) その他	84
16) 機能訓練	85
2. 在宅サービス	86
1) 年間利用者状況	86
①通所介護施設（デイサービス）	86
②短期入所生活介護施設（ショートステイ）	102
2) 機能訓練	106
3) 食事サービス（ショートステイ・デイサービス・配食）	106
4) 健康管理	107
5) 栄養調理	108
3. 在宅介護支援センター（在宅介護支援センター）	110
1) 年間利用者状況	110
2) 介護保険利用者状況	122
3) 荏原障害者計画相談支援	134
4) 認知症サポーター養成事業・認知症サポーターレベルアップ事業	136
4. 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）	137
1) 各事業参加状況	137
2) 地域ミニデイ実施状況	138
3) 利用者状況	140
5. 防災	142
1) 防災委員会の開催	142
2) 防災訓練の実施	144
6. 委員会活動	146
1) 苦情解決・サービス向上委員会	146
2) 安全衛生委員会	148
3) 給食委員会	150
7. その他	152
1) 研修報告	152
2) 実習生受入れ	160
3) 見学	161
4) 近隣との交流	163
5) ボランティア事業報告	163
6) 令和3年度行事表	165
8. 事例報告	167

# 1 概 要

令和3年度は、介護報酬改定が行われた。改正の特記的なものとしてLIFE（科学的介護情報システム）の導入が挙げられる。データに基づきPDCAサイクルを進め、ケアの質の向上を目的としており、その効果が期待されている。

令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けた年となった。変異種の出現により、デルタ株の流行に続きオミクロン株が猛威をふるい、成幸ホームで令和4年1月に発生した新型コロナウイルス感染症はクラスターとなり、ホーム利用者、職員合わせて37名が罹患した。戸越台、荏原、平塚橋の施設でも、クラスターは免れたものの、年間を通して感染症の影響を受け、状況を見ながら事業の縮小や新規入所者の受入れ休止等をして感染拡大の予防を図った。

長期化している新型コロナウイルス感染症は未だ収束の兆しが見えず、経営状態の悪化はさらに厳しい状況に陥っており、現在、法人の抱える重点課題は経営の安定である。この課題に対し、安定した経営基盤を築くため「経営改善プロジェクト」を立ち上げた。プロジェクトは「人材確保」、「稼働率の向上」、「業務の効率化」のテーマを柱とし、職員が自ら行動し、法人全体で経営改善に取り組む体制を整え、令和4年度は行動計画に則して実践へ移行していく。

また、経営改善にあたり、欠かすことができない課題として「人材確保」が挙げられる。今後さらに介護職員の離職や派遣職員の比率が増大すれば、事業経営に大きな影響を及ぼしかねず、さらに人員不足が常態化する事態に陥れば、サービスの縮小も考えざるを得なくなる。最近では特養ホームの人員配置を4：1に緩和するという動きも見え始めている。しかし、現在、課題の多い介護現場ではICTやデータの活用はこれからというところであり、人員配置の緩和は時期尚早であることは否めない。今後はこの動向を注視しながら、介護の質を担保し、かつ効率性が図れる適正な人員配置を考えていかなければならない。

そのような状況下、令和3年度は外国人介護人材の積極的な採用を推し進めた年であった。日本でEPAや特定技能等の在留資格を持ち、就業経験のある介護職員を令和4年度から採用していく。採用にあたり「品川区外国人受入環境整備補助」の活用など、区のバックアップもあり採用決定まで滞りなく進められた。

介護職員の処遇改善は、特定処遇改善加算の支給に加え、令和4年2月分から「介護職員処遇改善支援補助金」の算定を実施した。また、離職防止と職員の確保を目的とし、60歳定年後の再雇用制度の充実を図り、ライフスタイルに合わせた働き方が選択できる制度を整備し令和4年度からの運用に備えた。

新規事業としては、令和4年3月1日より荏原障害者計画相談支援事業所（品川区受託運営）を荏原在宅介護支援センター内に開設した。荏原西地区に位置する高齢者・障害者の包括的な相談支援事業所として、併設する在宅介護支援センターとの連携を図り支援していく。

戸越台ホームは、今年度、合築の戸越台中学校との主な共有施設や設備工事を行い、平成30年10月から本格的に開始した戸越台複合施設の大規模改修工事は44か月の工期を経て、令和4年3月に無事竣工を迎えた。

平塚橋ゆうゆうプラザは新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受け、令和3年4月27日～6月20日まで休館した。

## 2 役員会

1) 令和3年度評議員会の開催状況および審議の概要は、次の通りである。

開催日時	審議事項
第68・69・70回定時評議員会 令和3年6月26日(土) 荏原ホーム 2階 多目的室	第68回 1. 社会福祉法人三徳会定款の一部変更(案)について 第69回 1. 理事および監事の選任について 第70回 1. 令和2年度決算報告(案)および監事監査報告について ※報告事項 ①令和3年度事業報告書について ②その他
第71回評議員会 令和3年12月4日(土) スクエア荏原 3階 会議室	1. 令和3年度事業計画の変更に伴う第一次補正収支予算(案)について ※報告事項 ①新型コロナウイルス感染症について(成幸) ②高齢者権利擁護に係る改善計画について(平塚橋) ③障害相談支援事業所の開設準備について(荏原) ④令和3年度第二次補正収支予算(案)について
第72回評議員会 令和3年12月13日(土) (書面開催)	1. 令和3年度第二次補正収支予算(案)について
第73回評議員会 令和4年3月19日(土) スクエア荏原 3階 会議室	1. 令和3年度第三次補正収支予算(案)について 2. 令和4年度事業計画(案)について 3. 令和4年度収支予算(案)について ※報告事項 ①新型コロナウイルス感染症について ②経営改善プロジェクトの実施について ③戸越台複合施設の大規模改修工事の完了について

2) 令和3年度理事会の開催状況および審議の概要は、次の通りである。

開催日時	審議事項
第214・215・216回理事会 令和3年6月5日(土) 成幸ホーム 1階 会議室	第214回 1. 令和2年度事業報告書(案)について 2. 令和2年度決算報告書(案)および監事監査報告について 3. 第69回評議員会および第70回定時評議員会の開催について ※報告事項 ①新型コロナウイルス感染症関連事項について 第215回 1. 評議員選任・解任委員の選任(案)について 第216回 1. 評議員候補者(案)について 2. 事務局長の解任について
第217回理事会 令和3年6月26日(土) 荏原ホーム 2階 多目的室	1. 理事長の選任について
第218回理事会 令和3年8月4日(水) (書面開催)	1. 社会福祉法人三徳会特別養護老人ホーム運営管理規程の一部改正(案)について 2. 社会福祉法人三徳会特別養護老人ホーム(指定短期入所事業)・老人短期入所施設運営管理規程の一部改正(案)について
第219回理事会 令和3年10月2日(土) 荏原ホーム 2階 多目的室	1. 令和3年度事業計画の変更に伴う第一次収支補正予算(案)について 2. 社会福祉法人三徳会非常勤職員就業規則の一部改正(案)について 3. 評議員会の開催について ※報告事項 ①令和3年度7月末収支状況報告について ②新型コロナウイルス感染症について ③高齢者権利擁護に係る改善計画について ④障害者相談支援事業所の開設準備について
第220回理事会 令和3年12月4日(土) スクエア荏原 3階 会議室	1. 品川区荏原障害者計画相談支援事業所運営規程の制定(案)について 2. 業務運営組織管理規程の一部改正(案)について 3. 定款施行細則の一部改正(案)について

	4. 経理規程の一部改正(案)について 5. 令和3年度第二次補正予算(案)について 6. 第72回評議員会の開催について ※報告事項 ①介護職員等特定処遇改善加算の状況等について ②社会福祉法人指導監査の実施について ※協議事項 ①定年延長および定年後再雇用制度の充実について
第221回理事会 令和4年3月19日(土) スクエア荏原 3階 会議室	1. 令和3年度第三次補正収支予算(案)について 2. 令和4年度委託業務契約(案)について 3. 給与規程の一部改正(案)について 4. 非常勤職員の就業規則の一部改正(案)について 5. 育児・介護休業規程の一部改正(案)について 6. 令和4年度事業計画(案)について 7. 令和4年度収支予算(案)について ※報告事項 ①新型コロナウイルス感染症について ②法人指導監査改善状況報告書について ③定年後再雇用制度の充実について ④経営改善プロジェクトの実施について ⑤戸越台複合施設の大規模改修工事完了について

3) 令和3年度評議員選任・解任委員会の開催状況および審議の概要は、次の通りである。

開催日時	審議事項
第3回評議員・選任解任委員会 令和3年6月5日(土) 成幸ホーム 1階 会議室	1. 社会福祉法人三徳会第11期評議員の選任について

4) 令和3年度監事監査の開催状況の概要は、次の通りである。

開催日時	開催状況
監事監査 令和3年5月21日(金) 荏原ホーム 2階 多目的室	1. 各サービスの事業状況、会計についての監事監査

5) 役員等名簿

理事長	内野滋雄	医療福祉関係者	
理事	内野京子	施設長代表	【令和3年6月26日退任】
〃	鈴木恂子	医療福祉関係者	
〃	井上幸彦	学識経験者	
〃	内野正隆	医療福祉関係者	
〃	村和男	学識経験者	
〃	小林光俊	医療福祉関係者	
〃	山口由美子	施設長代表	
〃	野村寛	医療福祉関係者	
〃	本城善之	法人事務局長	【令和3年6月26日退任】
任期	令和3年6月26日～令和5年定時評議員会		

評議員	酒井隆	医療福祉関係者	
〃	阿世知堯	地域の代表者	
〃	武藤健一	医療福祉関係者	
〃	國分幹郎	地域の代表者	
〃	宮坂衛	家族代表	
〃	高橋初美	家族代表	
〃	谷口政隆	学識経験者	
〃	宮良恵美子	家族代表	
〃	片岡玲子	学識経験者	
〃	平田実	学識経験者	
〃	戸田光則	地域の代表者	
任期	令和3年6月26日～令和7年定時評議員会		

監事	銅谷勝子	医療福祉関係者	
〃	碓井憲男	学識経験者	
任期	令和3年6月26日～令和5年定時評議員会		

### 3 施設整備の主なもの

#### 1) 成 幸

【工 事】	(単位：千円)
1 屋上キュービクル更新工事	19,800
2 2階食堂空調機更新工事	2,471
3 デイサービス流し台更新工事	291
<b>計</b>	<b><u>22,562</u></b>

【備品購入】	(単位：千円)
1 送迎車 1台	3,991
2 入浴用バスリフト 1台	3,703
3 複合機(コピー・FAX) 2台	999
4 介護用リフト 1台	694
<b>計</b>	<b><u>9,387</u></b>

#### 2) 戸越台

【工 事】	(単位：千円)
1 地下1階泡消火ポンプ逆止弁修理工事	2,237
2 110番通報装置移設工事	407
3 9階食堂ファンコイルモニター修理工事	154
<b>計</b>	<b><u>2,798</u></b>

【備品購入】	(単位：千円)
1 見守りセンサー 3台	1,120
2 心電計 1台	847
3 ノートパソコン 3台	425
4 スチームコンベクション(全自動軟水器)	363
5 床走行式リフト 1台	343
6 エアマット 1台	104
<b>計</b>	<b><u>3,202</u></b>

### 3) 荏原

【工 事】	(単位：千円)
1 荏原複合施設非常照明誘導灯および消火設備部品等交換	1, 209
2 荏原複合施設吸収冷温水機部品交換	827
3 荏原複合施設厨房排風機修繕	739
4 ケアワーカー室等空調機修繕	529
5 配膳室天井2修繕工事	495
<b>計</b>	<b><u>3, 799</u></b>

【備品購入】	(単位：千円)
1 送迎車輛	4, 051
2 介護用リフト(3台)	956
3 清拭車(2台)	432
<b>計</b>	<b><u>5, 439</u></b>

### 4) 平塚橋

【工 事】	(単位：千円)
1 屋内テンキー更新工事	2, 145
2 玄関トップライト改修工事	130
<b>計</b>	<b><u>2, 275</u></b>

【備品購入】	(単位：千円)
1 見守りシステム 3台	990
2 ノートパソコン 1台	180
3 車いす 1台	128
<b>計</b>	<b><u>1, 298</u></b>

## 4 法人事務局

法人事務局内に3係（運営管理、人事総務、経理会計）を設け、事務機能の集約を図り、各事業の取組が円滑に実施されるように努めてきた。

それと共に、法人全体の価値の向上に資するため、コンプライアンスの徹底およびリスクマネジメント体制の充実を図ってきた。

### 1) 事務局内係制の浸透と連携の活性化

法人全体の価値の向上ならびに効率的で適正な業務遂行に寄与できるように努めてきた。その一つとして、各係が調整会を実施することで、業務のプロセスの見直し、効率化を図ることができた。

また、グループウェア（サイボウズ）の利用により、情報伝達機能の充実が図られた。次年度は、グループウェアの利用範囲を拡大することで、更なる情報伝達機能の充実を図って行きたい。

### 2) 生産性の向上に向けた人材育成

事務局職員として必要な知識・技術の習得の向上に努めた。その一つとして、役割等級別に、オンラインの研修を設定し研修を行った。

ICT機器を活用し、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者発生時も、大きな業務を遅れなく対応することができた。

### 3) 安心して働くことができる職場環境づくり

働き方改革に対応するため、関連する労働雇用関連法連への計画的かつ積極的な対応を行った。

BCP（事業継続計画）の作成を計画していたが、実際の新型コロナウイルス感染症の対応に追われ、作成することができなかった。次年度は、特に感染症対応のBCPの作成に力を入れ行く。

衛生委員会に参加し、産業医による指導や職員の健康管理、労働災害の防止等の職場の安全衛生の向上に努めた。

### 4) 定年後再雇用制度の充実について

離職防止と職員の確保を目的に、定年後再雇用制度の充実を図る。定年後の職員が引き続き法人で勤務しやすいように環境を整え、ライフスタイルに合わせた働き方を選択できるようにした。

- (1) 定年を一区切りとし、働き方を1度リセットできる環境の整備

- (2) 経験を積んだ職員をリスペクトし、キャリアを生かして働ける環境の整備
- (3) 年金受給までの間、安定した生活の保障

## 5) 職員等の状況

令和4年3月31日現在の職員数

正職員	225	名
嘱託職員	15	名
非常勤職員	130	名

## 6) 職員の採用実績

正職員

(単位：人)

採用実績(正職員)	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
令和3年4月1日採用	4	—	—	1	1	—	1	7
対象年度中途採用	3	—	2	—	1	2	2	10
計	7	—	2	1	2	2	3	17

非常勤職員

(単位：人)

採用実績(非常勤職員)	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
対象年度中途採用	5	10	—	—	1	1	1	17

## 7) 職員の退職

年度内の正職員離職率 9.7%

(単位：人)

雇用形態	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
正職員	14	—	—	—	4	2	1	21
非常勤職員	9	6	2	—	1	1	—	19
計	23	6	2	—	5	3	1	40

## 8) 育児・介護休業取得の状況

令和4年3月31日現在、育児休業中の職員は4名、うち6か月以上育児等休業をしていた職員は3名であった。

法人事務局 事務課 事業報告  
(運営管理係)

《重点目標》

1. 施設の円滑な運営のため、建物・設備の維持管理を行う
2. 多角的な視点からBCPを更新し、周知を図る
3. 施設内ネットワークや情報通信機器等を管理し、ICT化を推進する

施設の円滑な運営を支えるべき、施設設備更新等を行ってきた。また、新型コロナウイルス感染症に対する補助金申請の業務など、例年発生しない業務にも対応した。

令和3年度、各施設での新型コロナウイルス感染症の発生もあり、さらなるBCPの充実が必要と感じた。来年度は、各施設の新型コロナウイルス感染症発生の経験を踏まえてBCPを更新して行く。

**1. 施設の円滑な運営のため、建物・設備の維持管理を行う**

戸越台複合施設の大規模改修工事は完了したが、他施設では、修繕が多く発生、一つひとつ現場を確認し、各施設長と相談し対応した。

今後、中長期の修繕計画を作成し、円滑な運営に努めていく。

**2. 多角的な視点からBCPを更新し、周知を図る**

新型コロナウイルス感染症が終息しない中、感染症対応のBCPの更新は必須であるが、発生施設での経験を法人全体にBCPの形で浸透できなかった。

発生施設での経験をうまく取り込んだBCPを浸透させ、感染拡大防止および新型コロナウイルス感染症以外の感染症にも、流用できるような形のBCPの作成を行っていく。

**3. 施設内ネットワークや情報通信機器等を管理し、ICT化を推進する**

見守りセンサー導入設定時に、IPアドレスの管理を行っており、素早く情報提供することができた。

今後もICT化は進んでいく分野と思われることから、ICTに関する基本的知識の習得・情報の収集および現在の通信関連機器の管理把握に努めていく。

法人事務局 事務課 事業報告  
(人事総務係)

《重点目標》

1. 効果的な人事評価制度の活用と人材育成を推進する
2. 生産性の向上に向けて人事・労務管理を強化する
3. 法人一体で積極的な採用活動を展開する

**1. 効果的な人事評価制度の活用と人材育成を推進する**

令和3年度は新卒新人職員を迎え入れ、係内で育成方針を整え、成長を導き、新旧職員が切磋琢磨することで職員間のスキルアップにもなり、業務遂行によい結果をもたらすことができた。

安全衛生委員会による職場環境の構築、また、一般健康診断による健康促進、そして、事業場における心の健康づくり計画およびストレスチェック診断を活用して心身のケアにつなげられた。

内部および外部研修を実施し、個々の知識向上に努め、組織に求められる人材の育成を行った。

**2. 生産性の向上に向けて人事・労務管理を強化する**

定例業務である給与支給では、係内一括確認作業を行い、安定した給与支給が行えるよう心掛けた。

令和3年度に導入された新システムより、従来課題とされていた社会保険・法定調書の電子申請に取り組めたことは大きな進歩となった。また、同時導入された労務管理システムを活用し、今後の業務効率化につなげていく。

We Action Plan（次世代育成行動計画／女性活躍推進行動計画）に即した多様な就労体系に備え、令和3年度は「産前産後・育児休業取得者用かんたんガイドブック」の作成に取り組み周知し、制度理解への環境整備を行った。

**3. 法人一体で積極的な採用活動を展開する**

オンライン就活を促進し、昨今の世情にも動じない採用活動を展開させ、今年度は遠方からの採用につなげることができた。

高齢者の継続就労、ライフスタイルに則した就労等、安定した法人運営に結び付けるための環境整備を行った。

求人広報媒体を継続的に活用し、法人一体となった広報活動を展開した。

法人事務局 事務課 事業報告  
(経理会計係)

《重点目標》

1. 会計処理能力の向上に努める
2. 資金管理の適正化を推進する
3. 会計監査人導入に向けた準備を進める

コロナ禍の環境の中で、いかに感染リスクを回避するか、不測の事態に対応するため係での事業の一元化を模索実行してきた。

**1. 会計処理能力の向上に努める**

新たな助成金の対応は、他係との連携が後手になり、効率的に作業が進めることができなかった。次年度への課題として、管理および申請は当係が担い適正な処理を行う。

**2. 資金管理の適正化を推進する**

積極的にインターネットバンキングを活用し、時間とリスクを回避したが、ガバナンス体制については、要綱を規定し整備したが、管理体制に一部不具合があり、次年度の課題整備とした。

**3. 会計監査人導入に向けた準備を進める**

会計監査人の導入は、時勢的に体制基盤を構築することができず、法令施行の延伸もあり、計画を延伸した。

## 5 施設運営局

### 1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

（成幸・戸越台・荏原・平塚橋）

平成30年10月から本格的に始まった戸越台ホームの大規模改修工事は、戸越台中学校を含め、令和4年3月に無事終了した。荏原ホームは令和5年に大規模改修工事が着工予定となっている。「居ながら工事」となるため、安全安心はさることながら、感染対策にも十分に留意しながら進めていく。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の猛威にさらされ、サービスの縮小が余儀なくされた年だった。家族の面会に関しては、対面式の面会に切り替えた途端に、東京都の新型コロナウイルス感染症の感染者が増加し、リモート面会に戻さざるを得ない状況であった。また、家族との面会ができないことで、利用者の不安・寂しさが募ることもあった。新型コロナウイルス感染症は終息の兆しが見えず、感染症と共に暮らしていく方法を模索していく必要がある。

#### （1）感染症対策

令和2年から始まった新型コロナウイルス感染症の長期化により、利用者、家族、職員にとっては忍耐の1年となった。マスク・フェイスシールドの着用、発熱時の感染対策、館内消毒、換気などの感染対策を行った。新型コロナウイルス感染症発生時には、保健所、行政などと連携をとりながら拡大防止に努めた。職員においては、週に1回のスクリーニング検査を行った。

#### （2）安定した稼働率の維持とサービスの向上

特別養護老人ホームの入所を希望されている区民の方が、すみやかに利用できるように努めているが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、入所の手続きに手間取る日々が続いた。また、施設内での新型コロナウイルス感染症発生により、入所を制限しなければならない期間もあった。

この数年、特養の入所待機者が減少している傾向である。区内では平成28年から4年間で特養ホーム3か所、老人保健施設1か所の開設があり、他にも有料老人ホーム等の多様な施設が増え、入所施設の選択肢は広がっている。

また、新型コロナウイルス感染症のため、入所すると面会ができなくなる等の理由で申込みを躊躇されたり、入所の順番がきても断られることもあり、課題となっている。

#### （3）職員の資質向上と人材育成

毎年、法人勉強会を行い、職員が学べる機会を作っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で集合型の勉強会開催が難しくなった。そのため、オンライン動画研修を取り入れ、必須の動画研修以外にも自由に閲覧できるようにした。また、実技を伴う技術研修や虐待防止、人権に関わる研修は集合研修で行った。

#### (4) 看取り介護の充実

新型コロナウイルス感染症の影響で面会ができない時期や、リモート面会を実施しているが、看取り介護の方には感染対策を行ったうえで、居室などで直接面会を実施した。家族からは、病院ではなかなか直接会うことは難しかったが、施設で最後を看取ることができてよかった、とお言葉をいただいた。今後も一人ひとりのニーズに合わせてながら看取り介護を行っていききたい。

#### (5) 介護保険法改正への対応

介護報酬改定により新しい加算が創設された。その中でも、自立支援・重度化防止の取組の推進として、L I F E（科学的介護情報システム）というシステムが導入され、これからの介護は「根拠に基づいた介護」へ移行されていく。各施設で科学的介護推進体制加算を算定し、サービスの質の向上につなげていきたい。

表① 利用者状況（令和4年3月31日現在）

区分	性別	定員 (人)	最高年齢 (歳)	平均年齢 (歳)	平均 要介護度	年度内 総入所者 (人)	平均 稼働率 (%)
成 幸	男性	15	94	81.1	3.7	6 ( 4 )	93.4
	女性	65	102	89.5	3.7	23 (15)	
	計	80	—	88.7	3.7	29 (19)	
戸 越 台	男性	12	97	88.0	3.9	11 ( 3 )	93.3
	女性	60	105	90.2	3.9	29 (15)	
	計	72	—	89.9	3.9	40 (18)	
荏 原	男性	15	95	87.1	4.1	9 ( 7 )	92.3
	女性	105	105	90.8	3.7	47 (31)	
	計	120	—	90.4	3.8	56 (38)	
平 塚 橋	男性	30	98	89.1	3.5	14 ( 7 )	93.1
	女性	70	105	91.6	3.6	42 (29)	
	計	100	—	91.1	3.5	56 (36)	

※ ( ) 内の数字は実入所者数。一時利用含む

### 1) 生活全般の支援サービス

#### (1) 介護サービス

##### ①食事

コロナ禍においてさまざまなイベントが中止されるなかで、食事は利用者の大きな楽しみの一つである。美味しく、楽しく、安全な食事を提供することに努めるとともに、給食委託業者と連携し、食品衛生法に基づき衛生的で安全な食事提供に努めた。また、多職種連携により栄養ケア・マネジメントを実施し、適切な食事サー

ビスを目指した。

## ②入浴

利用者個々の状態に合わせて介助浴や機械浴などの方法を検討した。また、季節を感じる行事として菖蒲湯、柚子湯を実施した。

## ③排泄

利用者個々のリズムに合わせて合わせることができるよう支援すると同時に、身体状況に合ったオムツの使用、回数なども検討した。また、よりよい排泄介助のために、オムツ業者の選定も行っている。

## ④その他サービス

施設の状態に応じて、外部業者により理美容サービスを提供し、本人の要望に応じたヘアスタイルを提供した。また、爪切りや耳垢清掃、髭剃りなども定期的に行った。

## (2) 健康管理

今年度は新型コロナウイルス感染症の全国的なまん延に伴い、例年以上に感染症対策に取り組んだ。だが、成幸ホームでは、1月から2月にかけて新型コロナウイルス感染症が発生し、利用者27名、職員10名が罹患しクラスターとなった。荏原ホームでは2月、ショートステイでは3月に新型コロナウイルス感染症が発生した（2月職員3名、利用者6名 3月職員3名、利用者5名）。平塚橋ホームは1月に派遣職員1名の発症あり、入所者が濃厚接触者となり、感染拡大防止に努めた。また、感染症対策を行ったことにより、ノロウイルスやインフルエンザの発症はなかった。

入所者の加齢、重度化により、嚥下機能、身体的機能の低下に伴い医療行為や処置件数が増加傾向にある。皮膚トラブルを起こしやすく、褥瘡のリスクも高くなっている。

※新型コロナウイルス感染症の詳細は48～51頁を参照

## (3) 機能訓練

利用者それぞれのADL(日常生活動作)の維持・安定を目的に、機能訓練を実施した。具体的には、ベッドでの起居動作・立ち座り動作・歩行動作訓練などを訓練指導員が実施したり「生活リハビリ」として実際の生活の中で、多職種連携で取り組んだ。

また、利用者ごとに福祉用具(杖・歩行器・車いすなど)の選定を行い、定期的に安全性や使いやすさの見直しを行った。その他、誤嚥性肺炎の予防を目的に嚥下体操やマッサージを行い、より安全な食事姿勢の確保に努めた。

感染予防対策として、利用者同士の間隔を確保した訓練を実施し、使用する器具の徹底した消毒を行った。また、換気を十分にできる場所での訓練と、利用者に触れる前の手指消毒の徹底などに努め環境を整えた。

#### (4) レクリエーション

新型コロナウイルス感染症により、さまざまな行事やレクリエーションを中止せざるを得ない状況であった。集合型のレクリエーションが難しいため、園芸や外気浴など個別でできることを中心に実施した。

##### ①行事

新型コロナウイルス感染症の影響で一部を除き中止。

##### ②ボランティアによるイベント

新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

##### ③フロアレクリエーション活動

新型コロナウイルス感染症の影響で集合型ではなく個別で実施。

##### ④外出

新型コロナウイルス感染症の影響で実施できず、ベランダなどで外気浴を実施。

## 2) その他のサービス

### (1) 三徳懇談会

毎月、サービス向上を目的とし、利用者への情報提供と意見交換や要望などを聞く機会を設けた。新型コロナウイルス感染症のため、集合せずに各階ごとに行うなど工夫をして実施した。また、感染状況等により延期や休止をした。

表②

区 分	参加延べ人数
成 幸	205人
戸 越 台	175人
荏 原	54人
平 塚 橋	56人

### (2) クラブ活動への参加

感染対策を講じながら、利用者の希望する活動に参加していただき、単調になりがちな日常生活に活気のある生活を過ごしていただけるように努めた。

## 3) 相談・情報提供

### (1) 相談サービス

#### ①家族懇談会

新型コロナウイルス感染症のまん延防対策で、集合型の懇談会は見合わせた。施設サービス計画書、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書は更新のたびに送付をして同意を得た。

また、介護保険の改正や介護保険負担限度額申請等の案内は書面を送付し、問

い合わせには個別に説明を行った。リモート面会等で家族が来所されたときは対面で情報提供をした。

#### ②苦情相談窓口

苦情対応窓口や意見箱に寄せられた意見や提案などは迅速に対処して、定期的  
に開催される苦情解決・サービス向上委員会に報告した。

### (2) 生活だより

利用者の施設における生活状況を家族に伝えるものとして、各施設で広報紙を発行した。特に新型コロナウイルス感染症の影響で面会がオンラインに切り替わったこともあり、例年より回数を増やして発行した。

## 4) その他

### (1) 福祉サービス第三者評価

成幸ホーム（特養・ショートステイ）、荏原ホームは第三者評価を受審した。主な内容は、利用者調査、職員自己評価、訪問調査（ヒアリング）であり、受審結果を基にサービスの質の向上を図り、利用者本位の福祉の実現を目指していく。

調査機関：公益社団法人 長寿社会文化協会

### (2) セルフチェックシート（自己評価）

品川区ではサービス向上の仕組みとして、施設サービス向上研究会で開発したセルフチェックシートを用いて、施設サービスの評価を行った。評価結果をもとに改善すべき課題を明確化して計画的に進めた。

## 5) 各施設の取り組み

### 成幸ホーム 事業報告

#### 《重点目標》

1. 感染症対策の強化
2. 基本をふまえた介護と習得した技術の実践
3. 業務の効率化と省力化
4. 適正稼働率に向けた入所調整と加算の取得

ホームの日常生活は、昨年につき感染対策を講じながら利用者が楽しく安心して、笑顔で過ごせる環境であるよう取り組んだ一年となった。

職員は長期間職場や自宅において感染症対策を常に心がけなければならないことで精神的な負担を感じながらも、利用者の安全を守るため対策を講じながら業務に取り組んでいた。ホーム内において新型コロナウイルス感染症が発生した際にはホーム全体として収束に向けて連携を図りながら取り組むことができた。

#### 1. 感染症対策の強化

ホーム内において感染症が発生した際のシミュレーションを行い、対応方法を確認していたが、実際発生した感染症に対して対策が十分に取れなかった事項が確認された。今回の経験を生かし様々な情報を整理し、迅速な対応策が打ち出せるよう各セクションと連携しながら一層の強化を図っていく。

#### 2. 基本をふまえた介護と習得した技術の実践

床走行用リフトやスライディングボードなどを継続し活用することで、腰痛を訴える職員は数年間減少している。新しい介護補助機器の導入は今度も検討していくが、正しい使用方法の周知が職員に伝わるよう定期的な確認を実施するための体制を構築していく。

オンライン研修の導入は統一した研修内容をそれぞれの時間に合わせて効率的に実施できた。

#### 3. 業務の効率化と省力化

職員や介護補助職員等の業務内容を定期的に見直し、課題解決に取り組んだ。

見守りセンサーなどのICTの活用範囲を広げることで職員の身体的負担を軽減しながら、利用者の安全確保に努めた。適切に使用することができるよう定期的に点検作業を実施していく。

#### 4. 適正稼働率に向けた入所調整と加算の取得

年間平均稼働率は93.4%であった。1月下旬にホーム内において新型コロナウイルス感染症が発生したことが目標に達しなかった大きな要因となった。

次年度に向けては入所調整を迅速に実施していき、目標稼働率の達成に向けて取り組んでいく。

加算取得状況においても適宜見直しや確認を行い、適切な算定を行っていく。

## 戸越台ホーム 事業報告

### 《重点目標》

1. 感染症対策の強化
2. 利用者個々のニーズに合わせた支援
3. 職員のスキルアップとサービスの向上
4. 業務の効率化、省力化
5. 安定した事業運営

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を強化、徹底することにより利用者への感染を防止することができた。コロナ禍においても季節の変化を感じ、楽しいひと時を過ごせるようイベントや行事を工夫して実施した。また、地域とのつながりが途絶えることのないよう併設している戸越台中学校との交流は、リモートを活用して行った。

### 1. 感染症対策の強化

手洗い・うがいの励行など基本的な感染予防対策を行い、利用者の受診や面会などの外部との接触や、職員およびその同居家族などの体調不良時の対応などを取り決め、徹底を図ることで感染症の発生を防止した。

### 2. 利用者個々のニーズに合わせた支援

定期的なモニタリングにより適切な評価を行い、更新プランの制度を高める一方、施設ケア研修ではアセスメントシートを活用し、利用者の生活上の困りごとなどを解消して、安心して過ごすことができるよう個別支援に取り組んだ。

### 3. 職員のスキルアップとサービスの向上

サービスマナーや介護技術、ケア向上などのミニ勉強会を定期的開催した。テーマや課題に沿って職員間で知識と技術を共有し、講師役や受講生役になるなど相互にスキルアップを図り、サービスの質の向上へとつなげた。

### 4. 業務の効率化、省力化

見守りセンサーや介護リフトなどの介護機器を導入・活用することで業務負担の軽減を図った。ショートステイ再開のため、人員配置や業務内容を見直し、工夫することで、ムラ・ムリ・ムダを省くなど業務の効率化を行った。

### 5. 安定した事業運営

骨折や肺炎による長期入院の増加、職員の退職や新型コロナウイルス感染症の感染により人員体制は安定せず、年間平均稼働率目標の達成は厳しい状況であった。

制度改正による新規加算などの取得を含め、施設介護料収益は、前年度対比で4,200万円の増益となった。

年間平均稼働率 93.3%

## 荏原ホーム 事業報告

### 《重点目標》

1. 感染症予防・対策の強化
2. 人材定着と人材育成
3. 業務効率化の促進
4. 安定した事業運営

荏原ホームでは令和4年1月～2月にかけて新型コロナウイルス感染症が発生した。昨年度の経験を踏まえて、迅速かつ効率的なフロア内のゾーニングや消毒の徹底など、感染拡大防止に努めた。また、家族面会に関しては感染状況を見ながら対面式・オンラインと切り替えながら実施。利用者と家族の交流が図れるよう工夫した。

### 1. 感染症予防・対策の強化

感染予防物品は在庫を確認し、必要数を確保できるよう努めた。利用者の体調不良が確認された際には速やかに感染対応を実施し、感染拡大にならないよう取り組んだ。

5月にはガウンテクニックに関する感染症対応の勉強会を実施、感染症に対する基本的な知識・手技（予防、発生時の対応）は繰り返し行った。

職員の体調不良時は各セクションで情報共有し、出勤停止の指示や必要な受診の指示をすることで館内に持ち込まないよう取り組んだ。

### 2. 人材定着と人材育成

オンライン動画研修を導入したことで、必須勉強会については各自で学ぶことができる体制を構築した。それ以外にも個別に興味のあるテーマを学ぶこともできた。この方式は引き続き継続する。また、全職員を対象に小集団での虐待防止研修を実施し、権利擁護および虐待防止に対する意識を深めた。

### 3. 業務効率化の促進

Windows標準搭載の連絡ツールを活用し、各フロアやセクション間での情報共有を円滑に行った。

介護機器（装着型介護補助スーツ、移乗用リフト、見守りセンサー等）を活用し、利用者、職員共に身体的負担をできる限り軽減した。見守りセンサーに関しては専門家からのアドバイスを受けながら、広いフロアでの省力化が図れるように引き続き取り組んでいく。

### 4. 安定した事業運営

新たに創設された科学的介護加算の算定要件を満たし、取得している。他の加算についても要件を確認し、可能であれば取得していく。

入所調整に関しては日々情報収集し、積極的な家族への連絡によりスムーズな入所調整ができた。希望が複数施設に渡る場合は施設間での連絡調整も行い、効率的な調整に努めた。年間平均稼働率 92.3%。

## 平塚橋ホーム 事業報告

### 《重点目標》

1. 感染症予防に重点を置いた対策強化
2. 介護技術の向上に努めることにより、人材定着・育成を図っていく
3. 職員の負担軽減に努めていく
4. 適正な稼働率を維持していく

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、地域との交流や面会など制限の多い年となった。利用者は新型コロナウイルス感染症に感染しなかったが、多数の職員が感染、または濃厚接触者となり、休みが出て超過勤務など介護職員に負担が生じた。利用者・家族にとっても、直接の面会ができずに我慢の年であった。

### 1. 感染症予防に重点を置いた対策強化

これまでの新型コロナウイルス感染症の動向を鑑み、介助時はマスク・フェイスシールドの着用を徹底した。また、手洗い、換気、館内消毒など基本的なことは継続した。職員の感染がわかった時には、即座に感染対応のレベルをあげ、利用者への感染は予防できた。面会については一時的にビニールカーテン越しの対面式を実施したが、感染拡大に伴い、リモート面会に変更した。

### 2. 介護技術の向上に努めることにより、人材定着・育成を図っていく

コロナ禍において集合型の研修の開催が困難なため、オンライン動画研修を導入した。動画研修は必須とするリスクマネジメント、感染症、看取り以外も受講できるようにし、自己研鑽にもつなげた。介護技術の研修は、役職者が東京都の動画研修を受講してOJTで伝達し、虐待防止研修は少人数ごとの集合研修で行った。

### 3. 職員の負担軽減に努めていく

赤外線型の見守りセンサーを追加購入し、利用者の行動予測による事故防止、事故検証にもつながった。今後も台数を増やしていきたい。

機器の購入も重要だが、人員不足による超過勤務が形骸化しているため、人員確保が今後の重要課題となっている。

### 4. 適正な稼働率を維持していく

年度初めの稼働率が低かったこと、新型コロナウイルス感染症による制限があったことから、入居がスムーズに進まなかったこと、入居者の入院が増えたことなどにより稼働率が思うように上がらなかった。また、年間で74名の調整を行ったが、体調不良、面会ができない、他施設がよいなどの理由で辞退された方が28名、医療ニーズ等でお断りした方が10名にのぼった。施設見学では、館内を案内することはできなかったが、写真や動画など3分程度の紹介ビデオを観ていただいた。

加算については令和3年5月から科学的介護推進体制加算を算定しており、根拠ある介護につなげていきたい。

年間稼働率 93.1%

## 6) 各施設共通（栄養・医務訓練）

### 栄養室 事業報告

#### 《重点目標》

1. 介護報酬改定に合わせた栄養ケア・マネジメントを行う
2. 多職種や委託業者と連携し安全な食事づくりに取り組む
3. 充実した食事への取り組み
4. 地域に向けた取り組み
5. 栄養室の業務や厨房の設備環境などを計画的に行い安定した運営

多職種連携により介護報酬改定に合わせて栄養ケア・マネジメントを実施し、科学的介護推進に関する評価につなげた。そして、美味しく、楽しい食事提供に努めるとともに、委託業者と連携し、食品衛生法に基づき、摂食・嚥下機能に合わせた安全な食事づくりを行った。また、各施設の状況に合わせ、感染予防対策に配慮するとともに、新型コロナウイルス感染症の情報収集や情報共有を行い感染拡大防止に努めた。

#### 1. 介護報酬改定に合わせた栄養ケア・マネジメントを行う

食事形態や療養食など利用者の疾病、症状、嗜好に合わせた対応し、また、食事時間の変更や食器具など柔軟な対応を行った。多職種連携のもと、個々の栄養状態安定を図り、低栄養や褥瘡、看取りの方へ個別対応をした。

#### 2. 多職種や委託業者と連携し安全な食事づくりに取り組む

委託業者と連携しHACCPに基づいた食事提供を行った。併せて感染症対策の見直しと強化を図った。新・再入所時は情報を共有し、利用者に応じた食事提供を行った。非常食の備蓄管理を行い、利用者や職員への啓蒙に努めた。

#### 3. 充実した食事への取り組み

旬の食材を使用し、季節感のある行事食を提供した。残菜調査、給食委員会、ミーラウンドなどで利用者のニーズを把握して食事づくりへ反映させた。

#### 4. 地域に向けた取り組み

デイサービスおよび配食については、疾病や障害を考慮した食事を提供した。介護者教室の一環として継続していた「高齢者と介護者のための料理教室」は、感染拡大予防の見解から実施を見合わせた。在宅の利用者および家族へは、高齢者向けのレシピや情報提供として食へのアプローチを行った。

#### 5. 栄養室の業務や厨房の設備環境などを計画的に行い安定した運営

業務の見直しや、献立の検討などを含め、栄養業務を行った。委託業者との契約内容に基づき、栄養ソフトについても検討した。そして、安全な厨房環境を整えるために厨房設備の計画、保守や早期修繕、必要に応じて機器や備品交換を行った。

戸越台ホームでは、大規模修繕工事や、ショートステイ利用者再開への対応、厨房整備改善のためスチームコンベクションの全自動軟水器の設置を行った。

## 医務訓練室（医務） 事業報告

### 《重点目標》

1. 利用者の重度化に伴い医療の充実を図る
2. 終末期においても安心した生活を送れるように支援する
3. 他職種間の連携・協働体制を進める
4. 職員の健康に留意し、相談や管理指導に努める

新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、感染症対策の強化に取り組んできた。だが、4施設の利用者、職員が新型コロナウイルス感染症に罹患してしまった。

#### 1. 利用者の重度化に伴い医療の充実を図る

利用者の健康診断は予定通り行った。

感染症予防の徹底により、インフルエンザやノロウイルスの発症はなかった。

循環器、認知症相談、眼科、歯科の専門科往診の対応は各施設の感染状況に応じて休止調整し対応した。

#### 2. 終末期においても安心した生活を送れるように支援する

コロナ禍の中での面会の方法は施設ごとに工夫し、看取りの場合は状況に合わせて直接面会していただいた。終末期は医師や他セクションとの連携を図りながら苦痛の緩和に努めている。

緊急事態宣言のなか、遠方で来園できない家族への状態説明や看取りの同意など、電話やオンラインを駆使したケースもあった。

#### 3. 他職種間の連携・協働体制を進める

利用者の体調変化に伴い、随時食事内容の検討や日常の対応について話し合い、介護用品や、必要時には医療的な助言や指導を行っている。感染症予防や対策、マニュアル作成については、中心となり行った。

#### 4. 職員の健康に留意し、相談や管理指導に努める

日程調整を行い職員健康診断を行った。職員健康診断の結果は、産業医に報告し、指導、助言をいただいている。異常があった職員については再検査等を実施してもらうように指導している。

ストレスチェックで高ストレスになった職員へは状態の確認や産業医への面談を勧奨などの対応を速やかに行った。

## 医務訓練室（訓練） 事業報告

### 《重点目標》

1. バランスの取れた「個別訓練」「集団訓練」の実施
2. 介護報酬改定をふまえ基準に沿った訓練計画の立案と実施
3. 適切な福祉用具の導入による生活環境の改善
4. 嚥下障害への取り組み
5. 職員の腰痛予防への取り組み
6. 感染症対策を講じた訓練の取り組み

令和3年度は引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で訓練室でのリハビリが制限されたが、「集団訓練」「個別訓練」共に感染状況に応じて、利用者の自立支援を目的に実施した。在宅サービスでは、活動レベルを維持・向上できる具体的な訓練を個別に実施するように努めた。施設サービスでは、外出や面会ができない環境下での心の健康に気を配りながら、ADL維持・低下予防に努めた。

#### 1. バランスの取れた「個別訓練」「集団訓練」の実施

歩行訓練や階段昇降など生活ニーズに沿った「個別訓練」を実施した。  
社会参加を意識し、三密を避けた「集団訓練」を実施した。

#### 2. 介護報酬改定をふまえ基準に沿った訓練計画の立案と実施

令和3年度介護報酬改定における「個別機能訓練計画書」を試行的に作成しているが、来年度も引き続き検討して行く。

#### 3. 適切な福祉用具の導入による生活環境の改善

利用者に適合した車いすや歩行器を提供マニュアルに従って選定した。  
使用中の福祉用具はメンテナンスを行い、新規購入は計画的に実施した。

#### 4. 嚥下障害への取り組み

スムーズな嚥下が維持できるよう、嚥下体操や嚥下マッサージを実施した。  
他職種協働で誤嚥リスクの高い利用者の食事姿勢の改善を実施した。

#### 5. 職員の腰痛予防への取り組み

腰痛予防体操を行い、職員に基本的な体力維持作りの意識づけを行った。  
リフトなどの介護補助機器の使用を推進し、介護負担軽減の取り組みを行った。

#### 6. 感染症対策を講じた訓練の取り組み

スタンダードプリコーションに加え、より消毒を徹底して行い感染予防に努めた。

## 2. 通所介護事業（デイサービス）

（成幸・戸越台・荏原・小山）

### （1）新型コロナウイルス感染症の影響

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者の休みや新規利用者の受け入れ減少、ボランティア、クラブ講師の受け入れ制限、密になる行事の中止や見直し等、これまで普通にできていたことができない一年となった。

成幸においては10日間事業休止。またホームの新型コロナウイルス感染症対応として、デイサービスの受け入れを入浴者のみに限定して事業を12日間行い、ホームへの手伝いをした。また小山では4日間事業休止となった。

### （2）介護保険制度の改正

令和3年度は介護保険制度の改正があり、改正の趣旨、内容を正しく理解したうえで、各サービスセンターと連携を図りながら、円滑に対応できるようにした。

新たな加算として、戸越台では科学的介護推進体制加算を算定、科学的介護情報システムへのデータ提出とフィードバックの活用により、PDCAサイクルの推進とケアの質の向上を図った。成幸、荏原においては個別機能訓練加算Ⅰを、戸越台、荏原に関しては引き続きADL維持等加算Ⅲを算定し、心身機能の維持・向上に係るアウトカム評価の導入などバーセルインデックスを用いたADL維持・向上に向けた取り組みを行った。

### （3）職員の資質の向上

戸越台においては区が立案した軽度認知症高齢者支援プログラムの実施、随時評価と見直しを行い、楽しみや目的をもって通所できる環境を整えた。プログラムの内容は各デイサービスにも伝え、できることは取り入れ、資質の向上に努めた。

### （4）大規模改修工事に向けて

戸越台はエレベーター更新などの主な設備や1階入り口部分の改修工事を行った。荏原では複合施設の大規模改修工事に向けて、利用者や職員が快適で安全に過ごせるように検討を行った。

### （5）その他

法人の魅力ある職場づくりに向けて、目指すべき理想の姿を設定し、法人一丸になって理想の姿を実現するための3つのプロジェクトが立ち上がった。デイサービスの職員もプロジェクトメンバーに入り検討を行った。

表③ 基本デイサービス・認知症デイサービス総計（単位：人）

区 分	R 3年度	R 2年度	R 元年度
成 幸	5,344	6,343	6,466
戸越台	6,855	6,044	6,457
荏 原	11,130	11,434	12,438
小 山	1,589	1,713	1,776

## 1) 基本デイサービス（予防事業・介護給付）

個々の利用者に対して、本人、家族の希望を尊重し、その人の必要に応じた通所介護計画を作成し同意を得て交付、それをもとにクラブ活動、機能訓練、入浴、食事等を提供した。高齢者は、体調が変化しやすいので家族との連絡を密にとり、利用中の小さな変化も見落とさず、迅速に的確な対応が行えるように努めた。また、年間を通して感染症対策を行い事業運営を行った。

表④

区 分	R 3年度			R 2年度			R 元年度			
	延べ利用者数	稼働率		延べ利用者数	稼働率		延べ利用者数	稼働率		
成 幸 定員20人	予防	1,183	3,564	59.6%	1,591	4,370	70.9%	1,478	4,520	73.4%
	介護給付	2,381			2,779			3,042		
戸越台 定員30人	予防	2,178	6,635	71.7%	1,445	6,011	65.3%	1,748	6,457	69.9%
	介護給付	4,457			4,566			4,709		
荏 原 定員40人	予防	2,723	9,088	73.8%	2,945	9,565	77.6%	3,423	10,374	84.2%
	介護給付	6,365			6,620			6,951		

※成幸 新型コロナウイルス感染症の影響で10日間事業休止した。

※成幸 利用者の受け入れを入浴者のみに限定し（令和4年1月31日～2月12日の12日間）、ホームへ職員を派遣した。

## 2) 地域密着型認知症対応型デイサービス

### 成幸・戸越台・荏原・小山

利用者一人ひとりが自分らしく生きがいのある生活を送れることを目標に、家族、ケアマネジャーと連携をとり、また、担当者会議により情報交換とケアプランの検討・再検討を行い、サービスを提供した。年間を通して感染症対策を行い事業運営を行った。

表⑤

区 分	R 3 年度		R 2 年度		R 元年度	
	利用者数	稼働率	利用者数	稼働率	利用者数	稼働率
成 幸 定員10人	延 1,780	59.7%	延 1,973	64.1%	延 1,946	63.1%
戸越台 定員10人	延 220	7.1%	延 33	1.4%	—	—
荏 原 定員10人	延 2,039	66.2%	延 1,869	60.7%	延 2,063	67.1%
小 山 定員10人	延 1,589	52.3%	延 1,713	55.6%	延 1,776	57.9%

※成幸 新型コロナウイルス感染症の影響で10日間事業休止

※成幸 利用者の受け入れを入浴者のみに限定し（令和4年1月31日～2月12日の12日間）、ホームへ職員を派遣した。

※小山 新型コロナウイルス感染症の影響で4日間事業休止

### 3) 介護予防事業（身近でトレーニング）

#### 戸越台・荏原

在宅生活の継続を支援するサービスとして、自宅でも「体力づくり」「運動習慣づくり」に取り組めるよう、椅子など身近な道具を使った運動方法を指導した。

表⑥

区 分		R 3 年度	R 2 年度	R 元年度
戸越台	実人数	114	60	—
	延人数	389	223	—
荏 原	実人数	166	169	243
	延人数	537	353	699

※荏原 新型コロナウイルス感染症の影響により2月は休止。

### 4) その他

#### (1) 入浴サービス

自宅での入浴が困難な方に、健康面と衛生面の保持を行うために利用者のADLに合わせて介助浴、機械浴の2タイプの入浴方法で対応した。また、家庭で入浴しているような雰囲気を作り、気分転換や情報交換の場としての活用も図った。

表⑦ (単位：人)

区 分	R 3 年度	R 2 年度	R 元年度
成 幸	延 3, 539	延3, 820	延3, 938
戸越台	延 3, 685	延3, 854	延3, 849
荏 原	延 5, 864	延5, 661	延6, 196
小 山	延 530	延 744	延 589

## (2) 機能訓練

生活機能の向上を目的に、基本プログラムとグループ・選択別プログラムを設けて機能訓練を実施した。訓練を通じて、生活機能の改善や転倒予防、意欲の向上等を図るとともに、自宅での役割や地域活動への積極的参加を促した。

また、機能訓練加算については、通所介護個別機能訓練加算 I（成幸、戸越台、荏原）を算定し、義務付けられた 3 か月に一度の訪問を、訓練指導員・相談員・介護職員で分担して行い、「活動」と「参加」の向上を図った。

表⑧ (単位：人)

区 分	R 3 年度	R 2 年度	R 元年度
成 幸	延 1, 561	延 2, 001	延 2, 404
戸越台	延 6, 085	延 5, 324	延 5, 539
荏 原	延 3, 862	延 3, 672	延 4, 037

## (3) 食事サービス（通所、訪問）

食事サービスについては、栄養相談を行い疾病や障害を考慮した食事を提供した。在宅の利用者および家族へは、高齢者向けのレシピや情報提供として食へのアプローチを試みた。

表⑨ (単位：件)

区 分		R 3 年度	R 2 年度	R 元年度
成 幸	通所サービス	5, 516	6, 150	6, 742
	訪問給食	1, 188	833	673
戸越台	通所サービス	6, 640	5, 969	7, 176
	訪問給食	2, 177	1, 664	2, 222
荏 原	通所サービス	10, 983	11, 315	11, 656
	訪問給食	745	657	1, 413

## (4) クラブ活動

感染症対策として講師やボランティアの受け入れを見合わせた中でも、楽しく参加できるように工夫をして、音楽リハビリ・習字・生け花・手芸・切り紙クラブ等を行った。作品は施設内に展示することにより、創作意欲の向上や、活動への励み

となった。

#### (5) 保険外サービス

障害者や介護保険非該当の方、また長時間利用が困難な方の食事、入浴等のサービスを行った。

#### (6) 介護者教室

年4回(9、11、2、3月)予定していた高齢者と介護者のための料理教室は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止した。

#### (7) 健康管理

年々、重介護を必要とする利用者や、さまざまな慢性疾患をもつ利用者が増えてきている。安心して利用していただくための事前訪問、来園時のバイタルチェック、全身状態の観察を利用時には毎回実施した。

また、新型コロナウイルス感染症予防のため、来所時の体温測定をそのつど行い、体調確認を実施した。

表⑩

(単位：件)

区 分	R 3 年度	R 2 年度	R 元年度
成 幸	10,507	11,923	8,035
戸越台	11,237	10,937	11,226
荏 原	13,663	14,085	15,534

#### (8) 四季の行事

花見、夏まつり(納涼祭)、バスハイク、クリスマス会、餅つき、節分、ひな祭りなど、四季折々の行事を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で花見、夏まつり、バスハイク等の密になる行事を中止、もしくは、見直しをして行った。

#### (9) 認知症対応型通所介護運営推進会議

認知症対応型通所介護の運営の質をより向上し、利用者のニーズに合ったサービス内容とするため、利用者とその家族、行政(品川区高齢者福祉課)、地域の関係者などにお集まりいただき、事業所ごとに6か月に1回開催予定だった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により荏原で1回のみの実施。実施ができない時は品川区への書面での報告となった。

## 5) 各センターの取り組み

### 成幸デイサービス 事業報告

#### 《重点目標》

1. 多職種連携を密にする
2. 家族との連携により個別の援助を充実させる
3. 専門職としてのスキルアップを図る
4. 「介護職はサービス業である」という自覚を持つ

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、さまざまな活動の制限のみならず、デイサービス営業中止にまで波及した1年であった。この経験を次年度にも活かし、最悪の事態をも想定しつつ、引き続き関係各所との連携を深めながら、利用者・家族のニーズに応えられる特色のあるデイサービスを目指していきたい。

#### 1. 多職種連携を密にする

ケアマネジャーはもとより、機能訓練指導員、看護職とも積極的に情報交換を行った。それぞれが活動する領域において知り得た情報を交換することにより現在の状態像をより明確にすることができた。

#### 2. 家族との連携により個別の援助を充実させる

送迎時の会話や連絡ノートを通じて情報量を増やす事に努めた。これにより自宅での様子や本人の嗜好等デイサービスでの活動以外の把握もでき、個別の援助につなげることができた。

#### 3. 専門職としてのスキルアップを図る

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、対面による研修への参加は自粛としたが、Web研修には参加し、情報の共有化や個別援助に関する課題を検討する等、専門職としてのスキルアップに努めた。

#### 4. 「介護職はサービス業である」という自覚を持つ

「介護職はサービス業である」というスローガンのもと、誰が聞いても気持ちの良い丁寧な言葉遣いを引き続き意識した。これにより職員間でもお互いの「声かけ」だけでなく、「話し方」にも注意が向くようになり、プラスの循環が生まれた。

#### 5. 感染対策について

手洗い、うがい、換気、消毒等基本的な感染対策を継続。食事も引き続き、食堂とデイルームの2か所に分ける対応とした。さらにデイサービス玄関での来所時検温や季節による消毒液の使い分け等、感染状況に合わせた対応も行った。

年間平均稼働率 基本59.6%、認知症59.7%

## 戸越台デイサービス 事業報告

### 《重点目標》

1. 生活スタイルに合わせたリハビリの継続
2. 安定した事業運営を行う
3. 感染症対策に努める
4. 専門職としてのスキルアップを図る

新型コロナウイルス感染症により、クラブ講師やボランティアの受け入れを引き続き休止とし、外出行事についても中止となった。その中でもデイサービス内の夏祭り行事や、壁飾り作成など季節を感じていただけるレクリエーションを実施することができた。今後も安心・安全に過ごしていただけるように感染症防止対策を行っていく。

### 1. 生活スタイルに合わせたリハビリの継続

利用者や家族からの情報収集により、自宅での生活環境を把握しリハビリ目標を定め、各々に合わせた個別訓練を実施した。また、レクリエーションや集団体操を行うことで、意欲の向上や楽しく身体を動かすことができた。

### 2. 安定した事業運営を行う

認知症事業は、利用者の体調不良による入院などで稼働を上げることが難しい状況であった。認知症デイサービスの特色を定期的にケアマネジャーや民生委員に情報発信し、利用者のニーズに応えられるデイサービスを目指していく。

年間平均稼働率 基本71.7%、認知症7.1%

### 3. 感染症対策に努める

感染症対策委員会の開催やセクション間での情報収集を行い、基本的な感染防止対策に努めた。利用者の長期の欠席が相次ぎ、振替利用の提案や家族の体調確認を行い、利用者の心身を維持し在宅生活が継続できるよう支援した。

### 4. 専門職としてのスキルアップを図る

法人内勉強会や毎月のサービス研究会に出席し、職員間の情報共有と資質向上に努めた。コロナ禍で外部研修には出席できなかったが、リモート研修によりスキルの習得を図った。

## 荏原デイサービス 事業報告

### 《重点目標》

1. 利用者が可能な限り居宅で自立した日常生活を送ることができるようにする
2. 事業を健全に運営する
3. 職員が安心して働くことができる職場環境を整える
4. 大規模改修工事に向けた検討を進める

令和3年度は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、クラブ講師、ボランティアの受け入れが中止とした中で、利用者が楽しく過ごせるように、手芸、切り紙クラブ等のクラブ活動の充実や快適に過ごせるように環境に配慮した対応をした。

### 1. 利用者が可能な限り居宅で自立した日常生活を送ることができるようにする

利用目的を明確にし、日々の申し送り等を確実にしながら、他セクションとの連携を強化し、統一したケアができるようにした。活動の様子は随時および定期的にケアマネジャーに報告し、他事業所とも情報共有ができるようにした。

身近でトレーニング（太極拳）の急激な新型コロナウイルス感染拡大に伴い2月の1か月間は中止とした。

### 2. 事業を健全に運営する

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、基本事業の稼働率は年間73.8%と前年度に比べ3.8%減少した。認知症事業については、積極的な受け入れを行ったこともあり、66.2%となり、前年度より5.5%増加し目標達成できた。

感染症対策については施設内での感染症対策委員会に出席や、情報収集を行い、日々変わっていく新型コロナウイルス感染症対策でデイサービスとしてできるものは取り入れ、安全な事業運営に心がけたが、罹患者が発生した。その中でも、利用者や職員の体調を継続的に把握し、適切な対応を行う事により、拡大することなく収束できた。

### 3. 職員が安心して働くことができる職場環境を整える

施設内で行うサービス研究会には参加はしていたが、外部研修は新型コロナウイルス感染症の影響もあり参加することができなかった。ZOOMでの研修参加はあったが、限られた職員の参加にとどまった。

訓練、看護、栄養などの各職種とのコミュニケーションを意識して行った。そのことにより問題解決ができたケースがあり、意思疎通の必要性を改めて実感できた。

### 4. 大規模改修工事に向けた検討を進める

利用者、職員が快適に過ごせるように大規模改修工事の会議に参加し、計画作成を行った。

## 小山の家 事業報告

### 《重点目標》

1. その人らしさを大切にしながら、安心して自宅で暮らせるよう支援する
2. 安定した事業運営を行う
3. 専門職としての質の向上を図る
4. 感染症対策を徹底していく

今年度の小山の家はコロナ禍や利用者のADL低下に伴う稼働率に大きく影響した。コロナ禍では、感染拡大の影響により、散歩や買い物などといった外出支援が行えず、小山の家内中心の活動となり、感染者減少時期には、散歩や車中お花見に出かける事はできたものの、本来の小山の家の活動を行うことができなかった。稼働率では向上を目指していたが、思うようなサービス利用につなげることができず稼働率低下となり苦しい1年となった。

### 1. その人らしさを大切にしながら、安心して自宅で暮らせるよう支援する

認知症への理解やその方の個性を尊重し、個性を意識したケアの実践により、その方らしい時間を過ごして頂くことができた。また、ご自宅での生活を意識し、家族との情報の共有にも努めた。ご自宅と小山の家での生活環境をなるべく近づけるように心掛けた。

ケアマネジャーとの連携も密に行い、よりよいケアにつなげることができた。

### 2. 安定した事業運営を行う

年間平均稼働率については、昨年度よりも下回り52.3%となった。要因としては新規利用者が少なかったことと、利用者のADL低下が進み、体調不良によるお休みやサービス終了となるケースが非常に多かったこと。また、令和4年3月には、新型コロナウイルス感染症による休業の影響も大きく、思うようなサービス提供とならなかった。稼働率向上に向けて改善が必要。

### 3. 専門職としての質の向上を図る

オンラインによる研修参加したものについては、職場内で報告し情報の共有を行った。また、日常業務の中においても、介護方法など意見しあいお互いのスキルを高めあった。

### 4. 感染症対策を徹底していく

職員、利用者共に、うがいや手洗い、手指消毒を複数回必要時に行い、また、テーブルや手すり等においても使用するたびに消毒を行った。職員のマスク着用、利用者へのマスク着用の声かけ（認知症のため、常時の着用が困難な事が多い）を行った事、職員のフェイスシールド、アクリル板の活用、食事も対面とならないよう配慮し、今までは職員も利用者と一緒に食事をしていたが、一緒に食事を摂らないようにした。感染症対策については、今後も継続して行っていく。

### 3. 短期入所生活介護事業（ショートステイ）

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限のため、思うように利用につながらない1年となった。

ショートステイは在宅生活継続のためには欠かせないサービスのため、安心して利用していただけるように感染対策を強化し、心身機能の維持・向上のための機能訓練やレクリエーションの提供に努めた。

また、利用期間中の体調変化についても家族、ケアマネジャーなどと連携し、適切に対応できるように努めた。

戸越台は平成30年10月から大規模改修工事のために休止していたが、令和3年8月から事業を再開し、できるだけ多くの方に利用していただけるように努めた。

表⑩

区 分	R 3 年度		R 2 年度		R 元年度	
	利用者数	稼働率	利用者数	稼働率	利用者数	稼働率
成 幸 定員16人	延 2,469	42.3%	延 3,298	57.5%	延 2,955	51.3%
戸越台 定員 8 人	延 360	16.7%	—	—	—	—
荏 原 定員30人	延 7,899	72.2%	延 8,192	74.7%	延11,153	101.5%
平塚橋 定員12人	延 2,028	46.4%	延 2,797	64.7%	延 3,591	83.3%

※戸越台は大規模改修工事により令和元年度・2年度は休止し令和3年7月より再開した

## 1) 各施設の取り組み

### 成幸ショートステイ 事業報告

#### 《重点目標》

1. アセスメントを重視した個別ケアの実践
2. 遵守事項を守りサービスマナーを向上
3. 利用満足度の向上と感染症対策
4. 業務の効率化と省力化

コロナ禍における感染症対策を継続する中、利用者を楽しんでいただくため作品作りを行うなど引き続き利用者が楽しく安心して笑顔で過ごせる環境であるように取り組んだ一年となった。ホーム内にて新型コロナウイルス感染症が発生した際には利用者数の制限や中止の対応を取ることもあり利用者・家族に負担をかけることもあった。

外部からの感染源をいかに遮断しながらショートステイの安全な運営を継続していくか引き続き検討していく。

年間平均稼働率 42.3%

#### 1. アセスメントを重視した個別ケアの実践

利用者の生活主体が自宅であることを念頭におき個別計画書を作成し職員間でケア方法を統一する取り組みを継続した。退園時は家族へ利用中の様子を詳しく伝え、介助方法のアドバイスを伝えることで在宅生活を継続する上での支援も継続した。

#### 2. 遵守事項を守りサービスマナーを向上

高齢者虐待防止や身体拘束適正化の研修は、コロナ禍により集団での勉強会を控え、オンラインによる動画研修を法人として取り入れ実施すると共に、パソコン内に資料を掲示することでいつでも確認できる環境を整えた。

#### 3. 利用満足度の向上と感染症対策

コロナ禍において特養で行っていた外部ボランティアによるクラブ活動が昨年度に続き中止になったが、月ごとでの工作や映画音楽鑑賞などを行い利用者を楽しんでいただいた。

感染症対策としては利用前の体調確認やテーブルの数を増やし食事や日常生活でソーシャルディスタンスが保てるよう環境を整え、利用者の安全を守った。

#### 4. 業務の効率化と省力化

常勤職員、介護補助職員等の業務内容を定期的に見直すことで直面している課題解決に向けた取り組みを行った。

ICT活用促進事業として、業務の負担軽減を目指して昨年度導入した機器の使用範囲を拡大することで、各フロアで業務の効率化と省力化を図った。

## 戸越台ショートステイ 事業報告

### 《重点目標》

1. 感染症対策の徹底
2. ショートステイ再開後のサービスの提供や業務の再構築
3. 緊急ショートステイの積極的な受け入れ
4. 事故予防の徹底

### 1. 感染症対策の徹底

- ・ショートステイ利用前に家族、ケアマネジャーと連絡を取り、利用者の体調確認やワクチン接種に関する情報収集を行った。
- ・滞在中は特養やデイサービスの利用者との接触に配慮し、感染のリスクを減らしたうえで、安心してショートステイをご利用いただけるよう環境を整備した。

### 2. ショートステイ再開後のサービスの提供や業務の再構築

- ・関係各所や改修工事前に利用されていた方々に、ショートステイ再開について情報発信して利用を呼びかけた。また、新規利用者の増員を図るため、個々のニーズに柔軟に対応しリピーターにつなげた。
- ・ショートステイの入退所状況などに応じて適正な人員配置を行い、特養業務とのバランスをとりつつ、サービスの質を確保し、業務負担に偏りがないように対応した。

年間平均稼働率 16.7%（令和3年7月～令和4年3月）

### 3. 緊急ショートステイの積極的な受け入れ

- ・区の担当窓口や各事業所のケアマネジャーとの連絡を密に取り、空床状況の照会や利用者状況などの情報交換を行った。緊急の要請にもスムーズにサービスを提供することができた。

### 4. 事故予防の徹底

- ・事前に在宅状況を把握し、ベッドの向きなど在宅状況に近い居室環境にすることで、安全で快適に滞在できるよう対応した。
- ・身守りセンサーや介護機器を活用し、転倒などの事故防止に努めた。
- ・滞在中の事故やヒヤリハットについて、リスクマネジメント委員会などで検証し、再発防止に向けた取り組みを行った。

## 荏原ショートステイ 事業報告

### 《重点目標》

1. 感染対策を徹底し、清潔で安心できる環境をつくる
2. 個別ケアの充実を図り、体力低下を防ぐとともに「楽しい」ショートステイを目指す
3. 地域での役割を果たす
4. 安定した運営を目指す

荏原ショートステイでは、感染対策を講じていたが、3月に新型コロナウイルス感染症が発生した（利用者7名、職員3名）。入園の受入れは、3月4日～3月21日まで中止し、感染の収束につとめた。改めてショートステイにおける感染リスクを考えさせられた。

### 1. 感染対策を徹底し、清潔で安心できる環境をつくる

出勤前の検温、入館時の手洗いなど、各職員が健康管理を心がけ、利用者対応時にはフェイスシールド、マスク、プラスチックグローブの着用を徹底した。

感染対策の勉強会開催。6月「新型コロナウイルスの消毒、除菌方法について」、10月「嘔吐物処理の実践」を感染症対策委員が中心になり行った。

ヒヤリハットや事故報告書は月別に集計。振り返りを行い再発防止に努めた。

### 2. 個別ケアの充実を図り、体力低下を防ぐとともに「楽しい」ショートステイを目指す

サービス計画書に運動を盛り込むことでADLを維持し、在宅に戻っても生活に困らないよう努めた。施設の広さを活かし、歩行時間を設けて声をかけるなど、生活の中に自然に運動を取り入れるようにした。

季節を楽しめる飾りの工作や塗り絵などの個別レクリエーションを充実させた。

スキル向上を目指し、7月「認知症の人の対応について」、11月「誤嚥が起こりにくい手順や食事の姿勢について」、2月「今一度声かけについて考えよう」を介護技術委員会が中心になり勉強会を開催した。

接遇マナー委員会が中心になり、5月と1月に「虐待の芽チェックリスト」を実施した。個々に悩んでいることを解消できる手段が見つけられるように、日ごろからのミーティング時間で話をしていくことになった。また、全職員を対象に小集団での虐待防止研修を実施し、権利擁護および虐待防止に対する意識を深めた。

### 3. 地域での役割を果たす

キャンセルや延泊などの日程変更の相談は月に90件ほどあり全員で対応した。

虐待や独居生活困難者などの緊急保護ケースは25件対応した。

地域の役割を果たすべく、年末年始も利用できる体制を整えた。

### 4. 安定した運営を目指す

利用料金を6月より、現金払いから金融機関引き落としに変更した。

年間新規受入れ人数は、121人、年間平均稼働率 72.2%

## 平塚橋ショートステイ 事業報告

### 《重点目標》

1. 感染症予防に重点を置いた対策強化
2. 介護技術の向上に努めることにより、人材定着・育成を図っていく
3. 職員の負担軽減に努めていく
4. 適正稼働率を維持していく

令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントや散歩、理美容などの通常、提供していたことができず、思うような事業展開が難しい年になった。

施設内でできる園芸活動や映画鑑賞などで、利用中の楽しみを提供する形となった。また、直接面会は基本中止としていたが、初めてショートステイを利用される方や、利用中の様子が分からず心配される家族にはリモート面会で対応することもあった。感染予防に力を入れ、利用中に発熱された方が退園された後の居室の消毒を清掃業者に頼み、徹底した消毒を行い、次に利用される方が安心して利用できるように配慮した。

### 1. 感染症予防に重点を置いた対策強化

入園前の家族への確認電話の際に、ご本人の体調はもちろんのこと、同居されている家族の体調も併せて聞き取り、同居家族で体調不良者が居た場合は、入園日の延期などで対応した。平塚橋は全室個室なので、利用中に発熱された利用者は、直ぐに居室での隔離対応ができるため、蔓延防止につながったと思われる。

### 2. 介護技術の向上に努めることにより、人材定着・育成を図っていく

毎月、オンライン研修を行い、基本的な技術や考え方などを学んだが、虐待防止研修は集合で行った。また、リーダー層には最新の介護技術のオンライン講座を受講し、その講座の報告書を提出してもらい、学びを深めた。

### 3. 職員の負担軽減に努めていく

センサー類やコールクッションを使用し、事故防止と職員負担の軽減につながった。業務職の募集も行い、掃除やリネン交換等を担当してもらい職員の業務負担の軽減になった。

### 4. 適正稼働率を維持していく

年間稼働率46.4%

一度でも利用のある方の緊急利用について、柔軟な対応を取り、次回利用へつながっていた。また、利用日の延長なども家族の希望に沿った対応をとっていた。利用が長期間空いている方へ積極的に連絡し、利用へつながることもあった。

特養の人員不足もあり、ショートステイ職員が利用者数の少ない月末月初を中心に特養へ入ることも多かったので、空床利用することが難しかった。

稼働率に関しては、コロナ禍の中、緊急事態宣言などによる利用控えも重なり、年間平均稼働率は64.7%と低迷した。

## 4. 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、地域包括支援センター）

（成幸・戸越台・杜松・荏原・小山・小山台）

品川区の在宅介護支援センターは、老人介護支援センター、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所の3つの機能を1か所で担っている。これにより、「身近な地域のワンストップ」窓口の機能、社会資源を活用した総合的なケアマネジメント機能、高齢者の状況変化に対応した柔軟かつ継続的なサポート機能を果たした。

また、共生型社会に向けた障がい者等への対応も求められているなか、「品川区荏原障害者計画相談支援事業所」の開設を行った。

### 《重点目標》6 支援センターの業務の平準化を図る

6つの在宅介護支援センターを運営していることから各支援センターの業務システムの平準化を図る必要がある。運営面と並行して個々のケアマネジメントの質が一定レベルは担保されるように資質の向上を図る。「ケアマネジメントの標準化」を重点目標として掲げ、以下の3点に取り組んだ。

- ①高齢者・障がい者等が住み慣れた地域で、いきいきとしたその人らしい生活が続けられるように共生型社会を目指し支援する。
- ②保健・医療・福祉・行政・住民団体などの各関係機関と多職種連携を念頭にネットワークづくりを進める。
- ③相談員としての総合的な力量をつける。

### 《在宅介護支援センター業務》

- ・ 高齢者の総合相談、実態把握
- ・ 包括的・継続的マネジメントの支援
- ・ 要介護認定調査
- ・ 臨時給付金申請補助業務委託
- ・ 東京都・品川区主催の研修の受講
- ・ 品川区在宅介護者の集いへの協力
- ・ 介護給付費通知の実施に伴う在宅介護支援センター送付説明業務
- ・ 令和3年度障害者の包括支援相談体制整備促進事業の受託
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種補助業務
- ・ その他、品川区からの委託事業や協力要請に基づく業務
- ・ 介護予防のケアマネジメント
- ・ 居宅介護支援事業
- ・ 高齢者見守りアイテム登録
- ・ 高齢者熱中症等予防対策の普及啓発
- ・ 法定研修の受講
- ・ 認知症サポーター養成講座・レベルアップ講座

**在宅介護支援センター 事業報告**  
(成幸・戸越台・杜松・荏原・小山・小山台)

**《重点目標》**

1. 6支援センターの業務平準化
2. 「ケアマネジメントの標準化」を理解したケアマネジメントの実践
3. F-SOAI Pの記録法を理解し、記録を実施する
4. アドバンス・ケア・プランニング（ACP）講演会の企画・開催
5. 新しい働き方への転換
6. 障害者の包括支援相談体制整備促進事業の受託（新事業）

**1. 6支援センターの業務平準化**

共通のシステムによって業務を行い、担当職員不在時も円滑に利用者対応が行える。異動等で配属が変わっても基本の業務が円滑に行われ、異動の負担が軽減できる。また、共通システムで業務を行うことで管理体制を高めることができるように、統一の帳票作成しナンバーリング管理を図った。

**2. 「ケアマネジメントの標準化」を理解したケアマネジメントの実践**

ひとつの指標に基づき、どの介護支援専門員であっても最低限もたなければならない視点に基づき、アセスメントを行うことができる。科学的根拠をもったケアプランが作成されるケアマネジメントが行われるように、「基本ケア」「疾患別ケア」研修に参加し多くの優秀賞の受賞者を出すことが出来た。また、品川区令和3年度委託事業「IoTを活用したケアマネジメント向上支援事業」にもほとんどの支援センターから参加し理解を深めた。

**3. F-SOAI Pの記録法を理解し、記録を実施する**

生活モデルの観点から、当事者ニーズや観察、支援の根拠、働きかけと当事者の反応等をF-SOAI Pの項目で可視化した記録を書く。また、記録の項目を立てることで、専門職としての実践課程・思考過程を可視化する記録を書くことができる。ケースの共有・検討の場において項目を用い端的に説明および指導が行うことができるようになるように研修に参加し、日々実践を行った。

**4. アドバンス・ケア・プランニング（ACP）講演会の企画・開催**

人生の最終段階における医療・ケアチーム等との話し合い、共有する「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」。厚生労働省は「人生会議」と愛称をつけて国民に普及を図っている。コロナ禍において人々の意識も変化したこともあり、この動向のなか、三徳会の介護支援専門員として利用者や地域住民の意思決定支援活動を推進する講演会を開催する予定であったが、感染症が収まらなかったことから延期をした。

**5. 新しい働き方への転換**

カンファレンスやサービス担当者会議・研修等がリモートで行われる時代の対応力をつけた。

**6. 障害者の包括支援相談体制整備促進事業の受託（新事業）**

令和3年度3月、荏原在宅介護支援センター内に「品川区荏原障害者計画相談支援事業所」を開設した。

表⑫ 要介護認定調査 (単位：件)

区 分	R 3年度	R 2年度	R 元年度
成 幸	145	193	417
戸 越 台	230	198	387
杜 松	287	255	508
荏 原	166	156	365
小 山	314	279	539
小 山 台	169	105	318

表⑬ 相談件数 (単位：件)

区 分	R 3年度	R 2年度	R 元年度
成 幸	16,374	15,546	15,535
戸 越 台	13,177	13,675	12,624
杜 松	15,918	15,395	14,858
荏 原	12,119	11,690	9,897
小 山	15,588	14,869	14,534
小 山 台	7,103	7,110	7,622

表⑭ 国保連への請求数 (単位：件)

区 分		R 3年度		R 2年度		R 元年度	
成 幸	介護給付	1,687	延4,649	1,743	延4,671	1,959	延4,850
	予防給付	2,962		2,928		2,891	
戸越台	介護給付	1,391	延3,903	1,358	延3,863	1,629	延4,202
	予防給付	2,512		2,505		2,573	
杜 松	介護給付	1,373	延3,985	1,388	延3,835	1,689	延4,081
	予防給付	2,612		2,447		2,392	
荏 原	介護給付	1,353	延3,587	1,384	延3,743	1,107	延3,520
	予防給付	2,234		2,359		2,413	
小 山	介護給付	1,819	延4,782	1,917	延4,800	1,861	延4,966
	予防給付	2,963		2,883		3,105	
小山台	介護給付	1,113	延2,709	1,220	延2,753	1,426	延3,059
	予防給付	1,596		1,533		1,633	

※「予防」の件数は令和元年度より予防給付件数と総合事業原則型および簡略型ケアマネジメント件数の総計。

## 5. 障害者計画相談支援（荏原）

令和4年3月、品川区の基本圏域のひとつである荏原西地区において在宅介護支援センター併設型の障害者特定相談支援事業を開設した。主な対象者は、①65歳以上で介護保険サービスと障害福祉サービスの併用者、②60歳以上の障害福祉サービス利用者（介護保険移行準備）、③40歳以上2号被保険者で障害福祉サービスの利用者、④老障介護（高齢の親と障害のある子の世帯）に該当する利用者である。

併設の荏原在宅介護支援センターほか、同じ地区の小山・小山台在宅介護支援センター、地域の居宅介護支援事業所と連携を図り、今後の対応を進めていく準備期間となった。

今年度は、地域拠点相談支援センターから8件、引継ぎを行った。

事業所名	品川区荏原障害者計画相談支援事業所
指定年月日	令和4年3月1日
事業所所在地	東京都品川区荏原2-9-6
サービスの種類	特定相談支援事業
主たる対象者	身体障害者、知的障害者、難病等対象者
相談支援専門員	1名

## 6 高齢者多世代交流支援施設(ゆうゆうプラザ)

本事業は、開設当初から一貫して「高齢者と他の世代が広く交流」することを目的として掲げてきたが、令和2年度から引き続き、コロナ禍の影響により「交流」が困難な状況となっている。具体的には、4月27日～6月20日まで緊急事態宣言により休館となり、10月3日まで夜間の時間帯は閉館となった。また、他者との密接な交流を回避するためイベントについては、予約制、人数制限となった。カラオケ団体等、活動休止となっている高齢者の外出の機会を設け介護予防につなげるための策を講じた。

### 1) 感染症対策のため中止した内容

新型コロナウイルス感染状況に応じて徐々に本来のイベント等を開催する予定だったが、収束に至らず、結果的に令和3年度は次の内容を中止した。

- ・カラオケ大会(個人、団体)
- ・ゆうゆうカフェ
- ・合同作品展
- ・キッズワーク等のイベント

### 2) 新たな視点による支援

長期化する新型コロナ感染症に伴い、依然として本来の活動を計画どおり実施できなかった。入浴サービスおよび健康増進室は従前の方式を変え、事前予約、時間および人数制限を行った。

徐々に活動を再開する団体が増加したことに伴い、使用前後の設備消毒を利用者に協力いただいた。

令和2年度は、このコロナ禍により「人とのつながり」を大切にする福祉コミュニティ形成を志す年になった。このことを踏まえ、令和3年度は「もりあげ隊」を発足し、住民代表として、ゆうゆうプラザの発展および住民が現に抱えている「困り事」の意見交換を行った。また、脳活4種類を新設し、外出の機会、交流の場を設け、介護予防に努めた。この脳活によって新しい交流の輪が広がったと好評いただいた。

## 平塚橋ゆうゆうプラザ 事業報告

### 《重点目標》

1. 地域を基盤とする自主事業の企画を図り、事業内容の発展および地域住民のつながりを推進する
2. 福祉ニーズの顕在化をふまえた施設連絡会の開催
3. 施設整備および環境整備

### 1. 地域を基盤とする自主事業の企画を図り、事業内容の発展および地域住民のつながりを推進する

以下の取り組みを行った。

- ・「施設サービス全般」に対する満足度についてアンケートを実施し、88%の満足度が得られた。コロナ禍の影響を受け、人数制限等の対策を講じながら、「平塚橋ゆうゆうプラザはいろいろやっている」と住民の声をいただいている。また、住民主体の活動を新たに設置し、「もりあげ隊」の活動により、住民同士のつながりを大事にした。
- ・講師を品川区民に依頼し、地域密着型を構築している。今年度から住民主体の活動の場4種類を開始し、住民同士の交流の輪が広がったと好評いただいた。
- ・「子どもの相談」については、82.8%の利用があり、定着している。
- ・「平塚橋ゆうゆうポイント」を活用し、高齢者がイベント時に協力員となった。特に今年度は「もりあげ隊」を発足し、住民代表として意見交換を行い、イベントの企画や、当日のイベント運営に携わり、地域住民が楽しむ場を支援した。
- ・コロナ禍の影響を受け、特養ホーム入居者はラウンジで参加することはできなかったが、建物構造を活かし、中庭から各階の入居者に音楽を届ける等の工夫を行った。
- ・つながりサロン登録16名のうち、3名がミニデイ卒業者であり、「共通体操」の号令役を担当している。住民に体操手本を示すとともに自分自身も介護予防に努めている。
- ・コロナ禍の状況に応じて柔軟に事業展開を図った。

### 2. 福祉ニーズの顕在化をふまえた施設連絡会の開催

「もりあげ隊」を発足し、イベント企画、ゆうゆうプラザ運営に協力いただいた。また、子育て世代から、コロナ禍の影響で困っていることについて意見を伺った。地域住民と協働することによって「みんなで盛り上げよう」、「自分たち高齢者の想いを伝え、良いものを作ろう」という想いが伝わってきた。こうした想いが「地域住民（地域）を支える」礎になることを期待している。

独居高齢者を「つながりサロン」につなげた。他コロナ禍の影響で外出、交流の機会が減少した高齢者に対し、住民主体の活動「脳活」4種類を新設し、交流の場を設けた。さらに物忘れの進行がみられる住民を支援センターにつなげた。「人生まだまだ彩りまショー」では、区と連携し、「世界アルツハイマー普及月間」に伴い、認知症について普及啓発活動を行った他、「認知症サポーター養成講座」を実施した。

### 3. 施設整備および環境整備

住民からの要望に対し、区と調整しながら整備を図った。「新型コロナウイルス感染症に対する安全対策は十分だと思いますか」のアンケート結果において「大いに満足」「満足」と86.0%の満足度が得られた。また、新型コロナウイルス感染症対策として飛沫防止のため各部屋にパーティションおよび消毒薬等の設置を行った。

## 7 研修報告

### 1) 国内外研修

新型コロナウイルス感染症の影響で、実施できなかった。

### 2) 施設外研修

品川介護福祉専門学校主催による認知症ケア専門研修をはじめ、東京都高齢者施設福祉部会など、各種研修、研究会などは、新型コロナウイルス感染症の影響で基本的にはオンラインでの開催となった。慣れない研修体系ではあったが、参加することによりサービス向上に努めた。

### 3) 施設内研修

新型コロナウイルス感染症の影響で、毎年開催している研修は集合型ではなく、資料配布やオンライン動画研修などを取り入れた。

## 8 地域活動

### 1) 生と死を見つめる懇談会（地域公益活動）

例年は開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかった。

### 2) 広報紙「三徳だより」の発行

法人の各種事業内容や福祉情報を地域の方々や関係機関に広報することを目的に、広報紙「三徳だより」を発行した。秋・冬号は合併号とし、制作を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響のために刊行が大幅に遅れた。

発行後は、地域や休止しているボランティアに幅広く送付した。

### 3) ホームページの活用

定期的にホームページを更新し、各種サービスの情報を発信した。また、さらに閲覧しやすいようにマイナーチェンジした。

### 4) 地域交流会（地域公益活動）

新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。

### 5) 高齢者と介護者のための料理教室

年4回、4施設の管理栄養士が共働で開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため中止とした。今年度も、三徳だよりにレシピやコラムを掲載した。

### 6) ボランティア懇談会

新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。

### 7) 地域行事への参加

新型コロナウイルス感染症の影響で各行事が中止となり参加できなかった。

## 9 その他

### 1) 実習生・研修生

感染予防に配慮しながら、人材育成と社会貢献などを目的として計画的に受け入れた。

### 2) 防災対策

火災や震災などを想定した防災訓練を継続的に実施した。併せて消防設備の機能、活用方法の確認や、緊急時の職員の連絡訓練も実施した。町会、荏原消防署の協力による同防災訓練は、感染対策を講じながら縮小して実施した。

### 3) 感染症対策

新型コロナウイルス感染症の予防のために、各施設では徹底した消毒や面会制限などさまざまな対策を講じたが、感染症が発生した施設もあった。今後も新型コロナウイルス感染症に限らず、インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症に対しても継続して予防していきたい。

## 10 業 績

### 1) 口頭発表

#### **令和3年度品川福祉保健従事者実践・研究発表会**

(主催：社会福祉法人品川区社会福祉協議会、品川介護福祉専門学校)

口演発表 2022.2.4(ZOOMによるオンライン開催)

◇半田謙一 成幸在宅介護支援センター

家族の絆をもう一度～家族の力が両親の生活を立て直すまで～ (優良賞)

# 11 新型コロナウイルス感染症の対応

## 1) 新型コロナウイルス感染症の発生

令和3年度は7月から9月にかけてのデルタ株の流行に続き、令和4年1月からは第6波としてオミクロン株が急拡大し、猛威をふるった。第6波では、連日陽性者が増加するなか、高齢者のみならず子どもから大人まで幅広くまん延し、家庭内の感染や濃厚接触者となり、出勤停止や勤務制限をした職員も生じた。

### 【感染症発生後の主な事業継続対応】（成幸ホーム・荏原ホーム）

- ・館内のゾーニングを実施し感染防護具を着用
- ・入浴は中止し清拭対応
- ・DMATによるゾーニング等の助言指導

各施設、サービスごとの感染状況と対応は以下のとおりである。

### (1) 成幸ホーム

期 間：令和4年1月21日～2月20日（解除日）

感染者累計：利用者27名、職員10名

経 緯：

#### 〈利用者〉

令和4年1月21日～23日の3日間で11名の陽性。1月24日集団PCR検査で9名の陽性が判明して合計20名となる。

その後2月6日までに7名が陽性となり、利用者陽性者数は3階、4階で累計27名。期間中、入院8名、施設内療養者は15名、ご逝去4名であった。

感染対応解除後までショートステイの受入れは中止した。

#### 〈職 員〉

令和4年1月24日のPCR検査で2名の職員が陽性となる。その後2月4日までに8名が陽性となり、職員陽性者数は累計10名。

職員の陽性者が拡大したため、デイサービスの事業を入浴と食事サービスに縮小し、3名の職員を特養ホームに派遣した。期間および派遣人数は令和4年1月31日～2月5日、3名、2月6日～2月28日、1名である。

### (2) 成幸在宅サービスセンター

期 間：令和3年8月17日～9月2日（解除日）

感染者累計：利用者1名、職員2名

経 緯：

#### 〈利用者〉

陽性職員と接触のあった利用者1名が8月19日のPCR検査で陽性となる。

#### 〈職 員〉

8月17日1名、8月27日1名の陽性。2人とも自宅療養。

#### 〈デイサービスの休業〉

1回目 令和3年8月20日～8月24日 4日間（休業日：日曜を除く）

2回目 令和3年8月28日～9月2日 5日間（休業日：日曜を除く）

3回目 令和4年1月29日 1日間

デイサービス休業中、配食サービスの臨時利用で対応した。

配食サービス利用者：9日間 延45名。

※3回目の休業は、特養における感染症拡大による応援職員調整のため。

### 3) 荏原ホーム

期 間：令和4年2月2日～2月23日（解除日）

感染者累計：利用者6名、職員3名

経 緯：

#### 〈利用者〉

令和4年2月2日に4階利用者1名の陽性が判明。その後2月5日までに5名の陽性が判明し計6名が施設内療養となった。

#### 〈職 員〉

2月1日スクリーニング検査によって職員1名の陽性が判明。2月6日までに2名の職員が陽性となった。3名とも自宅療養。

### (4) 荏原ショートステイ

期 間：令和4年3月3日～3月18日（解除日）

感染者累計：利用者7名、職員3名

経 緯：

#### 〈利用者〉

令和4年3月3日に利用者1名（3月1日に退所）の陽性が判明した。

その後、3月10日までに、有症状者は受診し、陽性であった利用者は6名。

退所後入院5名、自宅療養は2名。

#### 〈職 員〉

3月3日有症状で受診した職員が1名陽性。3月11日までに2名の職員が陽性となった。3名とも自宅療養。

#### 〈ショートステイの休業〉

令和4年3月4日から、入所の受入れを中止。入所中の利用者は濃厚接触者として施設内で健康観察を行った。3月22日より受け入れを再開した。

### (5) 小山在宅サービスセンター

休 業：令和4年3月12日～3月16日 4日間（休業日：日曜を除く）

感染者累計：利用者1名

経緯：

〈利用者〉

3月11日に利用者1名の陽性が判明。

〈職員〉

4名が濃厚接触者疑いとなるため、事業を休止した。

## (6) 戸越台在宅サービスセンター

〈利用者〉

1月27日に陽性職員と接触のあった利用者1名が、PCR検査で陽性となる。他利用者4名が濃厚接触者疑いとして自宅で健康観察を行った。

〈職員〉

1月25日に職員1名の陽性が判明し自宅療養となった。

## (7) 平塚橋ホーム

〈利用者〉

陽性者はなし。

〈職員〉

年間を通して複数の職員が陽性となった。

ホーム職員が新型コロナウイルス感染症陽性者となった際は、ユニット内で濃厚接触者にあたる利用者を特定して感染対応を行った。また、ショートステイ担当職員が陽性者となったため、ショートステイ予約のキャンセルが生じた。

## 2) 令和2年度より継続している対応

### (1) 特別養護老人ホーム

- ・面会制限、オンライン面会の実施、見学者の制限
- ・ボランティア活動の制限・休止、実習生受け入れの制限
- ・納涼祭、敬老の式典などの縮小、ホーム喫茶などの変更
- ・利用者の体調・施設の状況に合わせて食事内容を変更、
- ・感染症予防・感染症拡大防止のため使い捨て食器を使用

### (2) デイサービス・ショートステイ

- ・アクリルボードの設置、プログラムの一部変更
- ・運営推進介護等各種会議の工夫、一般介護予防事業の人数減
- ・密にならないような環境整備、利用者の体調・施設の状況に合わせて食事内容を変更、感染症予防・感染症拡大防止のため使い捨て食器を使用
- ・営業日以外の配食提供、デイサービスの中止、利用者の意向に合わせて配食サービスに切り替え
- ・送迎車両の消毒と換気

### (3) 支援センター

- ・訪問時の配慮、在宅勤務、オンライン研修の実施、地区ケア会議の変更

### (4) ゆうゆうプラザ

4月27日～6月20日まで緊急事態宣言により休館、その後も利用定員・活動内容の利用制限を行った。

### (5) 中止した主な事業

ボランティア懇談会／高齢者と介護者のための料理教室／生と死をみつめる懇談会／地域交流会／介護者教室／地域交流事業／つながりクッキング／国内外職員研修派遣／職員懇親会 等

### (6) PCR検査

感染症対策強化事業(東京都)

特養新入所者(入所時)

施設職員、委託業務職員等(無症状者のスクリーニング検査・週1回)

### (7) 抗原検査

感染症対策強化事業(東京都)

感染症が発症した施設では該当するフロアの利用者へのスクリーニング検査として抗原検査を実施した。職員においては感染解除期間まで、抗原検査を実施して陰性を確認後に業務に従事した。

また、品川区では濃厚接触者となった介護従事者等に対し、自宅待機期間短縮等支援事業として、申し込みによる抗原検査キットの配布があった。(在宅介護支援センター)

## 3) 集団コロナワクチン接種について

#### 〈利用者〉

令和3年度の利用者集団ワクチン接種は、各施設内で以下のとおり3回(①～③)実施した。

成幸ホーム ①5月7日(金) ②5月28日(金) ③令和4年3月3日(木)

戸越台ホーム ①4月30日(金) ②5月24日(月) ③令和4年1月17日(月)

荏原ホーム ①4月26日(月) ②5月17日(月) ③令和4年1月25日(火)

平塚橋ホーム ①5月7日(金) ②6月15日(火) ③令和4年3月3日(木)

#### 〈職員〉

ワクチン接種希望者は、品川区の高齢者・障害者施設等職員のワクチン優先申し込みや、区内医療機関の職域接種会場等を活用して接種した。

## 12 戸越台複合施設の大規模改修工事完了について

品川区立戸越台複合施設は平成8年に開設。22年が経過し施設や設備の経年劣化が進み、適正な施設の維持管理を図るため、平成30年8月から大規模改修工事に着手、令和4年3月に完了した。工事概要については、以下の通りである。

### 【全体の工事期間】

平成30年8月～令和4年3月（44か月）

### 【特養等高齢者施設工事】

工期：平成30年10月～令和2年8月（23か月）

- ・7・8階を他の階の仮設用地・工事床とし、他階は居ながら工事を行った。
- ・7階特養の一部・ショートステイは工事中休止とし、1階在宅介護支援センター、8階デイサービスは移転し事業を継続した。認知症デイサービスは休止。
- ・居ながら工事は以下の3ステップでの工程となった。

#### <ステップ1>

9階（食堂、厨房、浴室等）、10階（会議室、ボランティア室、事務室等）  
平成30年12月～7月、8階仮設工事、令和元年4月本工事終了

#### <ステップ2>

5・6階（利用者居室、食堂、ワーカールーム等）令和元年5月～仮設工事、  
12月本工事終了

#### <ステップ3>

7階（利用者居室、食堂、医務室等）、8階（デイルーム、リハビリ室等）  
令和2年1月～本工事開始、8月終了

### 【高齢者施設階の工事終了後】

- ・7階特養の一部・ショートステイは、体制を整え、事業再開。
- ・8階デイサービス事業は、令和2年9月に移転先から戻り、事業再開。

### 【中学校施設工事】

工期：令和元年4月～令和4年3月（36か月）

- ・夏休み等休業時期を中心に施工し、主要改修は高齢者施設終了後。
- ・地下1階体育館、および格技室、令和3年9月、プール11月工事終了。
- ・令和元年10月～特別教室改修開始、令和3年8月工事終了。
- ・令和2年7月夏休み開始後、普通教室改修開始、令和3年1月工事終了。

### 【主な共用施設・設備工事】

- ・駐車場は、工期中は工事関係者事務所となり、令和4年2月改修工事終了。
- ・（機械設備）令和2年1月発電機更新、11月空調熱源機更新。
- ・令和2年5月～エレベーター等昇降機1機ごとに更新し、令和3年11月完了。

### 【全体工事終了後】

- ・1階在宅介護支援センターは令和4年3月24日移転先より戻り、事業再開。
- ・10階職員寮再開。駐車場は原状復帰し再開。

# 資 料 編



# 1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

## 1) 令和3年度の利用者動向（令和4年3月31日現在）

端数処理は小数点第二位を四捨五入した。

平均年齢

（単位：歳）

区分	成幸 定員80名	戸越台 定員72名	荏原 定員120名	平塚橋 定員100名
合計	88.6	89.9	90.4	91.1
男性	85.8	88.0	87.1	89.1
女性	89.3	90.2	90.8	91.6
男性 最高年齢	94	97	95	98
女性 最高年齢	102	105	105	105

年齢別男女構成比

		64～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95歳以上		100歳以上		男女比	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
成幸	合計	—		3人		3人		7人		20人		21人		7人		3人			
		—		4.7%		4.7%		10.9%		31.3%		32.8%		10.9%		4.7%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	—	—	2	1	—	3	2	5	3	17	6	15	—	7	—	3	13	51
	%	—	—	3.1	1.6	—	4.7	3.1	7.8	4.7	26.6	9.4	23.4	—	10.9	—	4.7	20.3	79.7

		64～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95歳以上		100歳以上			
戸越台	合計	—		—		5人		10		17人		19人		10人		8人		男女比	
		—		—		7.3%		14.5%		24.6%		27.5%		14.5%		11.6%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	—	—	—	—	—	5	3	7	3	14	2	17	2	8	—	8	10	59
	%	—	—	—	—	—	7.3	4.3	10.2	4.3	20.3	2.9	24.6	2.9	11.6	—	11.6	14.5	85.5
荏原	合計	—		1		5人		12人		29人		35人		27人		6人		男女比	
		—		0.9		4.4%		10.4%		25.2%		30.4%		23.5%		5.2%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	—	—	—	1	2	3	2	10	3	26	3	32	2	25	—	6	12	103
	%	—	—	—	0.9	1.7	2.6	1.7	8.7	2.6	22.7	2.6	27.8	1.7	21.8	—	5.2	10.3	89.7
平塚橋	合計	—		1人		1人		16人		15人		35人		21人		5人		男女比	
		—		1.1%		1.1%		17.0%		16.0%		37.2%		22.3%		5.3%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	—	—	—	1	1	—	4	12	3	12	7	28	4	17	—	5	19	75
	%	—	—	—	1.1	1.1	1.1	4.3	12.8	3.2	12.8	7.4	29.8	4.3	18.1	—	5.3	20.2	79.8



## 2) 利用者の入退所状況

(成 幸)

		月末入所者数								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
末日 利用者数	男性	12	13	14	13	13	13	12		
	女性	65	64	64	65	64	63	62		
	合計	77	77	78	78	77	76	74		
入所者数	在宅	男性	—	1	1	—	—	—	—	
		女性	2	—	—	3	1	1	—	
	病院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	再入所	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	1	—	—	—	1	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	1	—	—	—	1	1	—	
	合計	男性	—	1	1	—	—	—	—	
		女性	3	—	1	3	2	2	1	
実入所者合計		3	1	1	3	2	2	—		
退所者数	短期入院	男性	—	—	—	—	—	—	1	
		女性	1	—	—	—	—	1	—	
	長期入院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	短期入院中死亡	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	施設内死亡	男性	—	—	—	1	—	—	—	
		女性	—	1	1	2	2	2	2	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	1	—	—	
合計	男性	—	—	—	1	—	—	1		
	女性	1	1	1	2	3	3	2		
実退所者合計		—	1	1	3	3	2	2		
要介護度別内訳	要介護1	3	3	3	2	2	2	2		
	要介護2	4	4	4	4	4	4	5		
	要介護3	23	24	25	24	25	24	22		
	要介護4	25	23	22	24	25	26	25		
	要介護5	22	23	24	23	21	20	20		
平均介護度		3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8		
延人数		2,258	2,376	2,334	2,382	2,428	2,277	2,347		
月稼働率		94.1%	95.8%	97.3%	96.0%	97.9%	94.9%	94.6%		

- 注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。  
 2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。  
 3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	14	13	13	12	13		12.9
	62	65	60	53	51		61.5
	76	78	73	65	64		74.4
	—	—	—	—	1	3	0.3
	1	1	—	—	1	10	0.8
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	—	1	—	2	0.2
	—	—	2	3	1	8	0.7
	1	—	—	—	—	1	0.1
	—	2	—	—	—	5	0.4
	2	—	—	1	1	6	0.5
	1	3	2	3	2	23	1.9
	2	3	—	—	2	19	1.6
	—	1	—	1	—	3	0.3
	—	—	2	5	2	11	0.9
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	1	—	2	0.2
	1	—	5	5	2	23	1.9
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	1	—	2	—	5	0.4
	1	—	7	10	4	35	2.9
	1	—	5	6	2	26	2.2
	2	2	2	2	2		2.3
	5	5	5	4	3		4.3
	25	26	23	21	20		23.5
	24	25	23	21	22		23.8
	20	20	20	17	17		20.6
	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8		3.8
	2,248	2,402	2,344	1,866	2,039	27,301	2,275
	93.7%	96.9%	94.5%	83.3%	82.2%		93.4%

(戸越台)

		月末入所者数								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
末日 利用者数	男性	11	10	11	12	12	11	11		
	女性	56	56	56	55	55	57	59		
	合計	67	66	67	67	67	68	70		
入所者数	在宅	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	1	—	2	
	病院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	再入所	男性	1	2	2	1	—	—	1	
		女性	1	1	2	2	1	2	3	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	2	1	1	2	—	—	—	
	合計	男性	1	2	2	1	—	—	1	
		女性	3	2	3	4	2	2	5	
実入所者合計		2	1	1	2	1	—	2		
退所者数	短期入院	男性	2	3	1	—	—	—	1	
		女性	1	2	3	2	2	—	2	
	長期入院	男性	—	—	—	—	—	1	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	1	
	短期入院中死亡	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	1	—	—	—	—	—	—	
	施設内死亡	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	3	—	—	—	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
合計	男性	2	3	1	—	—	1	1		
	女性	2	2	3	5	2	—	3		
実退所者合計		1	—	—	3	—	1	1		
要介護度別内訳	要介護1	—	—	—	—	—	—	—		
	要介護2	2	2	2	2	2	2	2		
	要介護3	17	18	17	18	19	19	19		
	要介護4	29	27	29	29	29	29	30		
	要介護5	19	19	19	18	17	18	19		
平均介護度		4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9		
延人数		2,008	2,065	2,027	2,079	2,081	2,033	2,119		
月稼働率		93.0	92.5	93.8	93.1	93.2	94.1	94.9		

- 注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。  
2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。  
3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	10	12	11	10	10		10.9
	57	56	55	55	59		56.3
	67	68	66	65	69		67.3
	—	2	—	1	—	3	0.3
	1	—	—	—	—	4	0.3
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	1	1	0.1
	—	—	1	—	—	8	0.7
	—	—	—	1	1	14	1.2
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	2	—	2	10	0.8
	—	2	1	1	—	11	0.9
	1	—	2	1	4	29	2.4
	1	2	2	1	3	18	1.5
	—	—	1	—	—	8	0.7
	1	1	—	—	—	14	1.2
	—	—	1	—	—	2	0.2
	—	—	2	—	—	3	0.3
	—	—	—	1	—	1	0.1
	—	—	1	—	—	2	0.2
	1	—	—	1	—	2	0.2
	1	—	—	1	—	5	0.4
	1	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	2	2	—	14	1.2
	2	1	3	1	—	24	2.0
	3	—	4	3	—	16	1.3
	—	—	—	—	—		—
	2	2	3	3	3		2.3
	19	21	20	18	20		18.8
	28	28	26	24	27		27.9
	18	17	17	19	19		18.3
	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9		3.9
	2,033	2,097	2,086	1,823	2,065	24,516	2,043
	94.1%	94.0%	93.5%	90.4%	92.5%		93.3%

(荏原)

		月末入所者数								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
末日 利用者数	男性	9	8	10	11	11	11	13		
	女性	92	94	97	97	99	100	102		
	合計	101	102	107	108	110	111	115		
入所者数	在宅	男性	—	—	—	1	—	—	1	
		女性	2	3	2	—	3	—	2	
	病院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	1	—	—	2	—	
	再入所	男性	—	—	2	—	—	—	—	
		女性	1	2	—	1	—	2	3	
	その他	男性	—	—	1	—	1	—	1	
		女性	—	—	2	—	1	2	1	
	合計	男性	—	—	3	1	1	—	2	
		女性	3	5	5	1	4	6	6	
実入所者合計		2	3	6	1	5	4	5		
退所者数	短期入院	男性	—	1	1	—	—	—	—	
		女性	3	—	1	—	1	3	2	
	長期入院	男性	—	—	—	—	1	—	—	
		女性	—	1	1	—	—	—	—	
	短期入院中死亡	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	施設内死亡	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	1	2	—	1	1	2	2	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
合計	男性	—	1	1	—	1	—	—		
	女性	4	3	2	1	2	5	4		
実退所者合計		1	3	1	1	2	2	2		
要介護度別内訳	要介護1	2	2	2	2	2	1	1		
	要介護2	7	7	7	7	7	7	4		
	要介護3	32	35	37	38	40	41	45		
	要介護4	38	37	37	38	39	40	43		
	要介護5	22	21	24	23	22	22	22		
平均介護度		3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7		
延人数		3,032	3,135	3,149	3,344	3,378	3,314	3,517		
月稼働率		84.2%	84.3%	87.5%	89.9%	90.8%	92.1%	94.5%		

- 注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。  
 2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。  
 3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	13	12	12	10	12		11.0
	105	105	106	104	103		100.3
	118	117	118	114	115		111.3
	—	—	—	—	1	3	0.3
	3	1	1	—	—	17	1.4
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	2	0.2
	2	—	1	2	2	16	1.3
	—	—	—	—	1	4	0.3
	—	2	2	—	1	11	0.9
	—	—	—	—	2	9	0.8
	5	3	4	2	3	47	3.9
	3	3	3	—	3	38	3.2
	—	—	—	—	—	2	0.2
	1	—	2	2	3	18	1.5
	—	—	—	2	—	3	0.3
	—	1	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	—	—	1	0.1
	1	2	1	2	1	16	1.3
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	2	—	6	0.5
	2	3	3	4	4	37	3.1
	1	4	1	4	1	23	1.9
	2	2	2	2	1		1.8
	4	4	4	4	4		5.5
	44	42	43	40	38		39.6
	45	46	47	48	46		42.0
	23	23	22	20	26		22.5
	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8		3.7
	3,498	3,649	3,612	3,264	3,517	40,409	3,367
	97.2%	98.1%	97.1%	97.1%	94.5%		92.3%

(平塚橋)

		月末入所者数								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
末日 利用者数	男性	26	23	23	23	23	23	21		
	女性	64	68	70	70	69	71	71		
	合計	90	91	93	93	92	94	92		
入所者数	在宅	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	1	1	1	2	—	2	—	
	病院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	2	—	—	
	再入所	男性	—	2	—	—	1	—	—	
		女性	—	4	—	—	—	1	3	
	その他	男性	2	—	—	1	—	—	1	
		女性	2	—	2	2	—	2	1	
	合計	男性	2	2	—	1	1	—	1	
		女性	3	5	3	4	2	5	4	
実入所者合計		5	1	3	5	2	4	2		
退所者数	短期入院	男性	—	2	—	1	—	—	1	
		女性	1	1	—	—	1	2	2	
	長期入院	男性	—	1	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	1	—	—	—	—	
	短期入院中死亡	男性	—	—	—	—	1	—	1	
		女性	—	—	—	—	1	1	—	
	施設内死亡	男性	—	2	—	—	—	—	1	
		女性	2	—	—	3	1	—	2	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	1	—	—	—	
合計	男性	—	5	—	1	1	—	3		
	女性	3	1	1	4	3	3	4		
実退所者合計		2	3	1	4	3	1	4		
要介護度別内訳	要介護1	5	5	5	5	5	5	3		
	要介護2	7	7	7	7	7	7	7		
	要介護3	39	39	40	40	39	42	39		
	要介護4	20	23	23	23	23	22	24		
	要介護5	19	17	18	18	28	18	19		
平均介護度		3.5	3.4	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5		
延人数		2,660	2,793	2,768	2,903	2,845	2,802	2,935		
月稼働率		88.7%	90.1%	92.3%	93.6%	91.8%	93.4%	94.7%		

- 注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。  
 2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。  
 3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	21	18	19	18	19		21.4
	73	75	78	78	75		71.8
	94	93	97	96	94		93.3
	—	—	—	—	—	—	—
	2	1	2	—	—	12	1.5
	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	—	—	—	3	1.5
	1	1	1	—	1	7	1.2
	1	2	1	—	1	13	1.9
	—	—	1	—	2	7	1.4
	2	1	—	1	1	14	1.6
	1	1	2	—	3	14	1.6
	6	4	3	1	2	42	3.5
	5	2	3	1	3	36	3.0
	1	—	1	—	1	7	0.6
	1	2	—	—	2	12	1.0
	—	1	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	1	—	1	1	5	0.4
	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	2	—	—	—	5	0.4
	3	—	—	1	2	14	1.2
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	1	2	0.2
	1	4	1	1	2	19	1.6
	4	2	—	1	5	31	2.6
	3	4	—	2	4	31	2.6
	3	3	3	3	3		4.0
	6	6	6	6	6		6.6
	40	40	42	41	39		40.0
	26	23	25	25	24		23.4
	19	21	21	21	22		20.1
	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6		3.5
	2,827	2,901	2,943	2,697	2,912	33,986	2,832
	94.2%	93.6%	94.9%	96.3%	93.9%		93.1%

平均入所期間

	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人数	割合 (%)						
1年未満	14	21.9	15	21.8	33	28.5	31	33.0
1年以上～2年未満	12	18.8	18	26.1	22	19.0	14	14.9
2年以上～3年未満	15	23.4	8	11.6	14	12.1	12	12.8
3年以上～4年未満	5	7.8	1	1.4	10	8.6	5	5.3
4年以上～5年未満	6	9.4	5	7.3	6	5.2	5	5.3
5年以上～6年未満	2	3.1	4	5.8	10	8.6	27	28.7
6年以上～7年未満	4	6.3	7	10.1	4	3.4	—	—
7年以上～8年未満	2	3.1	5	7.3	5	4.3	—	—
8年以上～9年未満	2	3.1	1	1.4	4	3.4	—	—
9年以上～10年未満	—	—	2	2.9	2	1.7	—	—
10年以上	2	3.1	3	4.3	6	5.2	—	—

年間総入院回数

		成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
		人数	割合 (%)						
入院回数	1回	16	88.9	17	51.6	22	91.6	21	84.0
	2回	2	11.1	1	6.5	2	8.4	3	12.0
	3回	—	—	3	29.0	—	—	1	4.0
	4回	—	—	1	12.9	—	—	—	—
	5回以上	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	18	100.0	18	100.0	24	100.0	25	100.0
延べ年間総入院者数		20	—	31	—	26	—	30	—
総入院日数		529	—	962	—	684	—	619	—
1人あたりの入院日数		29.4日		31.0日		22.4日		22.1日	

### 3) 利用者の日常生活能力 (ADL)

端数処理は小数点第二位を四捨五入した。

#### ①移動

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
自立	4	6.2	3	4.3	4	3.5	5	5.3
手すり・杖使用	4	6.2	—	—	4	3.5	2	2.1
歩行器等使用 (アシスト)	3	4.6	6	8.7	8	7.0	10	10.6
車いすと一部歩行	1	1.5	3	4.3	13	11.3	4	4.3
車いす使用	53	81.5	57	82.7	86	74.8	73	77.7

#### ②起き上がり

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
自力	14	21.5	17	24.6	42	36.5	26	27.7
起き上がり介助・座位保持可能	37	56.9	8	11.6	19	16.5	42	44.7
起き上がり介助・座位保持不可	4	6.2	14	20.3	8	7.0	14	14.9
全く起きあがれない	10	15.4	30	43.8	46	40.0	12	12.8

#### ③着脱衣

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
全部自力	4	6.2	6	8.7	8	7.0	8	8.5
声かけすればできる	5	7.7	1	1.4	4	3.5	11	11.7
一部介助	19	29.2	19	27.5	33	28.7	45	47.9
全介助	37	56.9	43	62.4	70	60.9	30	31.9

④排泄

区 分	成 幸				戸越台				荏 原				平塚橋			
	日 中		夜 間		日 中		夜 間		日 中		夜 間		日 中		夜 間	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
トイレ自力	4	6.2	3	4.6	5	7.3	2	2.9	10	8.7	9	7.8	11	11.7	7	7.4
トイレ介助	26	40.0	9	13.8	34	49.2	13	19.1	57	49.6	10	8.7	58	61.7	33	35.1
ポータブル トイレ自力	—	—	—	—	—	—	2	2.9	—	—	4	3.5	—	—	4	4.3
ポータブル トイレ介助	—	—	8	12.3	—	—	4	5.5	—	—	9	7.8	—	—	1	1.1
おむつ交換	35	53.8	45	69.2	30	43.5	48	69.6	48	41.7	83	72.2	25	26.6	49	52.1
おむつ使用	64	98.5	64	98.5	65	94.2	66	95.7	114	99.1	114	99.1	94	100	94	100

⑤入浴

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
介助浴	7	10.8	6	8.7	12	10.4	63	67.0
リフト浴	16	24.6	9	13.1	16	13.9	—	—
車いす型入浴	6	9.2	27	39.1	35	30.4	5	5.3
ストレッチャー浴	36	55.4	27	39.1	52	45.2	26	27.7

⑥食事

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
自力	32	49.2	22	31.9	37	32.2	54	57.4
一部介助	23	20.0	26	37.7	40	34.8	16	17.0
全介助	20	30.8	18	26.1	32	27.8	24	25.5
経管栄養	—	—	3	4.3	6	5.2	—	—

⑦歯の状態

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
自歯	35	53.8	26	37.7	40	34.8	37	39.4
上下義歯	9	13.8	20	28.9	35	30.4	38	40.4
上義歯	3	4.6	5	7.3	7	6.1	9	9.6
下義歯	1	1.5	—	—	2	1.7	2	2.1
自歯・義歯なし	17	26.2	18	26.1	31	27.0	8	8.5

⑧整容（つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげそり等）

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
全部自力	9	13.8	19	27.5	1	1.0	18	19.1
声かけすればできる	6	9.2	14	20.3	11	9.6	20	21.3
一部介助	14	21.5	6	8.7	41	35.7	28	29.8
全介助	36	55.4	30	43.5	62	53.9	28	29.8

⑨行動心理症状

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
徘徊	4	6.2	8	11.6	14	12.2	4	4.3
不潔	3	4.6	1	1.4	19	16.5	17	18.1
妄想	6	9.2	4	5.8	13	11.3	10	10.6
暴言・暴行	8	12.3	4	5.8	14	12.2	6	6.4
興奮	8	12.3	4	8.7	28	24.3	10	10.6
不安	3	4.6	10	14.5	25	21.7	6	6.4
その他	—	—	1	1.4	2	1.7	1	1.1

#### 認知性高齢者の日常生活自立度

	区分	正常	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
成 幸	人数	1	3	5	13	17	9	16	—
	%	1.6	4.7	7.8	20.3	26.5	14.1	25.0	—
戸越台	人数	—	1	4	10	20	21	13	—
	%	—	1.4	5.8	14.5	28.9	30.5	18.9	—
荏 原	人数	—	5	12	21	44	7	16	—
	%	—	4.3	10.4	18.3	38.3	14.8	13.9	—
平塚橋	人数	3	6	6	17	34	8	19	1
	%	3.2	6.4	6.4	18.1	36.2	8.5	20.2	1.1

#### 障害高齢者の日常生活自立度

	区分	自立	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2
成 幸	人数	—	—	2	3	8	13	30	3	5
	%	—	—	3.1	4.7	12.5	20.3	46.9	4.7	7.8
戸越台	人数	—	1	2	5	10	7	33	7	4
	%	—	1.4	2.9	7.3	14.5	10.2	47.7	10.2	5.8
荏 原	人数	—	—	1	9	26	15	49	8	7
	%	—	—	1.0	7.8	22.6	13.0	42.6	6.9	6.1
平塚橋	人数	1	1	2	12	20	22	26	9	1
	%	1.1	1.1	2.1	12.8	21.3	23.4	27.7	9.6	1.1

#### 4) 家族などの訪問(面会)者数・外泊状況

新型コロナウイルス感染対応のため令和3年度も面会を中止とした。また、状況により限られた場所で環境整備や時間制限を行いながら面会を実施したこともあったが、年間を通し主としてリモートによる面会となった。

##### ①訪問(面会)者数

(単位：人)

	年度合計	月平均
成 幸	198	17
戸 越 台	408	34
荏 原	293	24
平 塚 橋	527	44

##### ②外泊状況

外泊は控えていただき実績はない。

## 5) 三徳懇談会

### 利用者懇談会

(成 幸)

(単位：人)

年	月	日	実施階	主な懇談内容	参加人数
3	4	4	2.3.4	コロナウイルスワクチン予防接種について	26
	5	16	2.3.4	入浴日や理美容の日にちの変更について	25
	6	6	2.3.4	実習生やオリンピックについて	22
	7	11	2.3.4	今日は何の日？	23
	8	1	2.3.4	第三者評価聞き取りについて	22
	9	26	2.3.4	敬老式典について	15
	10	3	2.3.4	利用者健康診断について	16
	11	7	2.3.4	お楽しみ食、理美容について	18
	12	5	2.3.4	今日は何の日？一年を振り返って	15
	4	1	9	2.3.4	七草がゆについて
2			—	新型コロナウイルスのため中止	—
3		6	2.3.4	全館停電について	8

※参加人数は2・3・4階利用者の合計人数

(戸越台)

(単位：人)

年	月	日	実施階	主な懇談内容	参加人数	
3	4	15	7	コロナワクチン接種について	14	
	5	20	5	団らん食（パンケーキ）について	20	
	6	2	6	熱中症、脱水症の予防について、実習生の紹介	15	
	7	7	7	七夕会について、工事のお知らせ	13	
	8	4	5	オリンピック開催、インタビュー「私の金メダル」	13	
	9	16	6	敬老式典、お月見行事、秋の健康診断について	18	
	10	22	7	インタビュー「食欲の秋、どんなものを食べたいですか？」	13	
	11	18	5	インフルエンザ予防接種、風邪予防について	15	
	12	9	6	インタビュー「クリスマスに欲しいプレゼントは？」	15	
	4	1	20	7	インタビュー「新年の願いごとは何ですか？」	13
		2	10	5	インタビュー「もしも願いが叶うなら？」	15
		3	17	6	インタビュー「あなたの思いを聴かせてください」	15

(荏原)

(単位：人)

年	月	日	実施階	主な懇談内容	参加人数
3	5	16	4	昔よく食べていたもの、食べたいものなど	7
		30	3	食事に対するご意見、ご要望	10
		7		まん延防止措置発令中の為行わず。	—
		8		緊急事態宣言発令中の為行わず。	—
	9	29	4	施設生活において食事に対するご意見、ご要望	7
	10	31	3	施設での生活について、楽しみについて	10
	11	24	4	お互いの自己紹介。出身地や名物など紹介。	5
	12	30	3	コロナ禍におけるレクリエーション、行事について	10
4	1			まん延防止措置発令中のため行わず。	—
				まん延防止措置発令中のため行わず。	—
	2	4	施設生活の心配事、困りごと、生活全般の希望。	5	

(平塚橋)

(単位：人)

年	月	日	実施階	主な懇談内容	参加人数		
3	4	15	2	好きな食事について、面会について	4		
		20	3	感染症について	5		
	6	17	4	不在者投票について、感染症について	4		
		7	15	2	食中毒について、面会について	5	
	8	19	3	食中毒について、感染症について	6		
	9	16	4	敬老式典について	4		
	10	21	2	不在者投票について、電気設備点検による停電について	6		
	11	18	3	好きな食事について	4		
	12	16	4	正月について、おせち料理について	5		
	4	1	20	2	コロナワクチン接種3回目について	4	
			2	17	3	施設での生活について、楽しみについて	4
			3	17	4	感染症について、昔の思い出について	5

## 6) セルフチェックシート（自己評価表）

平成15年から区内施設の自主的な取り組みとして、「品川区施設サービス研究会」が立ち上げられ、セルフチェックシートの開発、運用を行ってきた。セルフチェック（自己評価）を実施し、19年を経過し定着してきている。

今回のセルフチェックは一昨年までの「A」「B」「C」3段階の評価を踏襲しつつ、さらに分析できるように「S」（「A」が50%以上）、「D」（「C」が50%以上）を加えた5段階で集計を行い向上、改善への活用を図ることとした。

### 成 幸

#### セルフチェックの総括

今年度は介護、看護、訓練の職務経験3年以上の職員28名を対象とした。

集計すると「S」「A」の割合が72.5%、「B」が17.9%、「C」「D」が9.6%、であり、昨年度と比較して「S」「A」評価が増加しているが、「C」「D」評価も増加している。

1の食事の項目で食堂の「雰囲気づくり」の部分がB評価になってしまったが、コロナ禍の感染症対策で感染防止に重点を置いていることが原因と考えられる。感染対策上仕方ないと思われるが、長期化する中でもっとできることはないかと考える職員もでてきておりとても頼もしく感じる。

6の「外出への援助」では3つの項目がD評価となった。感染症対応の中で外出支援が行えず、地域との交流もできなかったことが大きな要因と考えられる。その中で職員は工夫を凝らし、レクリエーションを提供したり、屋上や中庭にて外気浴を行ったりするなど、利用者が気分転換を図れるよう対応している。今後も利用者の過ごし方をさまざまな視点から考えていく必要がある。

10の「認知症利用者への対応」では8つの項目中5つがS評価となった。椅子に座ってられない方にはプレイマットを敷いて床で過ごしてもらうなど、その方の認知症の症状に合わせて個別に対応できている。また毎月定期的に認知症相談を活用し、精神科医との連携体制ができていることがS評価につながったと思われる。

12の「看護的対応」ではすべての項目がS評価となった。その中でも利用者の健康管理については、看護師と介護士が連携して利用者の体調変化の早期発見に努めており、その結果今年度の11月までの入院者は5名と減少している。

23の「働きやすい職場環境」の項目で労働力不足への配慮の部分がC評価となった。派遣職員などを活用しているが、なかなか人材の定着が進まず、既存職員の負担が大きくなってしまっている。今後は人員確保に向けた取り組みを強化していく必要がある。

コロナ禍において今までの生活スタイルとは異なる部分が多く見られるが、今後も諦めるのではなく、できることを模索しながら、利用者のケアの質を向上させていきたい。

## 戸越台

### セルフチェックの総括

今回も介護、看護、栄養、訓練の各セクションの常勤職員を対象とし、23名が評価を行った。今回135項目中S評価が83.8%、A評価2.2%、B評価は11.1%、D評価は2.9%（新型コロナウイルス感染症のため実施できなかったもの）であった。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め、受診などの外出や新入所の受け入れ、ショートステイの入退所など、一人ひとりの状況に応じた対応を決め、感染症の発生はなかった。

日常生活の援助サービスについては、利用者の重度化で食事介助が必要な方が増える中でも、美味しく安全に楽しく食事を召し上がっていただけるように、季節ごとの食材を様々な形態で個別に提供したり、衛生管理を徹底した上で団らん食などを実施している。

コロナ禍でボランティアの活動中止により、これまでボランティアに依頼していた車いす清掃や環境整備などを職員が担うことになり、行き届かないことが増えた。ご家族の面会制限など、外部との接触が少なくなることで、利用者・職員のストレスになることもある。感染症の終息と共に以前の生活を取り戻すことを意識した取り組みも視野に入れた業務を考え、実践できるように取り組んでいく。

介護職員の人員不足により、職員一人ひとりへの負担が大きくなっていることは否めない。ICTの活用や業務職への業務の棚卸をするなど、業務の省力化・効率化を行う必要がある。職員が働きやすい環境を整え、気持ちにゆとりを持ってサービスを提供することで離職を防ぎ、利用者満足度の向上にもつなげていく。

## 荏原

### セルフチェックの総括

今年度は特養、ショートステイ、相談員の計42名の職員を対象としてセルフチェックを実施した。

結果、1の食事の項目が概ねSかA評価となった。食事の雰囲気づくりに関してのみB評価となったが、それ以外のケアの方法や衛生管理についてはしっかり行えているという意識の結果と考えられる。今後もこの評価が継続できるように取り組みたい。

また、職員への教育・研修の項目もSもしくはAの評価となっている。コロナ禍で勉強会開催などが難しい状況であるが、小規模開催やオンライン動画といった取り組みが評価された結果と思われる。

6の外出の援助では昨年度は全ての項目がD評価であったが、今回は外出援助の徹底項目がC評価となった。若干ではあるが、屋上やベランダでの外気浴を行なえたことが評価改善した要因と考えられる。今後は他の項目も改善できるように機会を設けて外気浴などを実施したいと思う。

一方、8.生活づくりの項目に関してプログラムの充実、個別性への対応がC評価

となってしまった。続くコロナ禍で室内での活動が中心となっていることから提供できるレクリエーションの幅が狭くなっていることが原因と思われる。それでも映像を使った花火大会やおやつイベントなど工夫を凝らして実施している内容もあるため、その点を評価に結び付ける意識の転換も求められる。

ショートステイにおいても毎朝の朝礼や午後のレクリエーションといった活動を実施し、利用中の時間を楽しんでいただくをコンセプトとしている。

今回のセルフチェックを総括すると、続くコロナ禍での感染症対応の中で、環境整備、その他衛生管理等についての項目が高評価となっており、感染対策についての意識の高さがうかがえる。しかし外出支援やプログラムの充実という楽しみの提供についての評価が芳しくないことから、室内でも楽しめるプログラムの検討、外気浴を実施できる時間的余裕を作り出す工夫が課題と考えている。

## 平塚橋

### セルフチェックの総括

今年度も、介護、看護、訓練、栄養の各セクションで在職3年以上を対象とし、33名で実施した。

「C」評価の訓練内容の把握に関しては、全体で閲覧できる記録には、訓練内容が入力されているが、訓練をしている場面を介護職が見る機会が少ないため、このような評価になっていると思われる。また、職員の健康管理への配慮については、人員不足により超過勤務の時間が増加していることが関係していると思われる。

「D」評価の外出機会の確保やプログラムの充実、地域住民との交流についてはコロナ禍のために制限が多いため結果と思われる。研修計画についても、外部研修の参加や集合型の研修が難しくなっていることが考えられる。また、労働力不足への配慮、ワーク・ライフ・バランスの項目も、人員不足が起因すると考えられる。

## 栄養・調理

### 7) 個別の栄養状態に着目した栄養ケアマネジメントに基づいた特別な対応

<療養食の対応>

(単位：件)

項目	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
糖 尿 病 食	2	2	3	—
腎 臓 食	1	—	—	1
心 臓 病 食	—	1	1	2
肝 臓 食	—	—	—	—
胃 潰 瘍 食	—	—	—	—
貧 血 食	1	3	—	—
膵 臓 食	—	—	—	—
脂 質 異 常 症	—	—	—	1
痛 風 食	—	—	—	—

<個人対応>

(単位：件)

項目	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
摂 食 障 害	44	14	69	30
摂 食 嚥 下	85	68	87	66
低 体 重	45	18	60	29
栄 養 障 害	31	23	46	43
過 体 重	6	5	3	11
機 能 障 害	23	66	27	25
そ の 他	26	55	124	27

<食事形態>

(単位：件)

項目	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
常 食 ・ 刻 み	28	19	38	51
極刻み(ソフト禁)	2	—	10	—
ソ フ ト 食	17	34	37	28
ペ ー ス ト 食	14	9	26	12
ゼ リ ー 食	—	—	—	1
そ の 他	6	7	3	3

## 8) 残菜・嗜好調査

今年度は、特別養護老人ホーム、在宅の利用者において、副菜の常食と介護食の残菜率を比較した。

### 【残菜調査】

実施期間：第1回調査 令和3年11月（それぞれ1週間を調査期間とする）

第2回調査 令和4年1～3月

方 法：今回は、副菜（芋、葉物、根菜）の料理について残菜調査を行った。

- ・芋料理 : 肉じゃが、里芋そぼろあんかけ
- ・葉物料理 : 煮浸し、洋風浸し
- ・根菜料理 : 金平、大根サラダ

### 四施設の残菜率

（単位：％、在宅：デイサービス・ショートステイ）

		四施設平均				成 幸				戸越台				荏 原				平塚橋			
		特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅	
		常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食
芋	① 肉じゃが	6.7	6.8	1.1	0.0	6.1	2.7	3.3	0.0	3.6	2.6	0.6	0.0	4.1	7.0	0.4	0.0	13.0	15.1	0.0	0.0
	① 里芋そぼろあんかけ	7.3	5.2	0.9	2.8	7.3	6.1	0.5	0.0	6.8	4.5	0.6	0.0	9.5	4.7	2.6	11.1	5.9	5.6	0.0	0.0
葉物	② 煮浸し	13.6	13.9	3.3	4.6	12.0	11.7	8.1	11.4	16.9	4.6	4.3	0.0	13.2	19.7	0.9	6.9	12.3	19.8	0.0	0.0
	② 洋風浸し	10.9	12.6	3.9	13.8	8.8	12.1	2.9	45.1	8.0	4.7	7.6	0.0	15.3	14.0	5.2	10.2	11.8	19.7	0.0	0.0
根菜	③ 金平	9.1	9.6	1.5	6.2	13.7	7.9	4.6	16.4	5.2	0.2	0.6	0.0	6.7	22.5	1.0	8.4	11.0	8.1	0.0	0.0
	③ 大根サラダ	10.0	8.6	2.5	1.2	10.9	12.4	6.4	0.0	12.4	2.3	2.0	0.0	5.7	6.6	1.4	4.7	11.0	13.2	0.0	0.0
平均		9.6	9.5	2.2	4.8	9.8	8.8	4.3	12.1	8.8	3.1	2.6	0.0	12.4	5.7	1.9	6.9	13.6	4.5	0.0	0.0

全般的に残菜率が低い料理は、肉じゃがなど芋類で、残菜率が高い料理は煮浸しなどの葉物料理であった。同じ葉物料理でも野菜の種類や食べやすい味付けなど、アレンジを試みることで喫食率が上がるよう工夫を行っていく。

特養と在宅を比較すると、在宅において残菜率が低い傾向にあった。特養は咀嚼機能、活動量、摂取量が低いので残菜率が高い傾向にあったと思われる。

一方在宅では、低い傾向にあり、日常的に食べている野菜料理にも影響があるのではないかと考えられる。

そのため、次年度は在宅において日常的に摂取している野菜料理の調査を行い、食生活の現状について解析してみたい。

## 9) 選択食、団らん食、お楽しみ食、その他

### [行事食]

利用者が楽しみにしているものであり、生活に変化や潤いを持たせるために導入している。

#### a) 選択食

喫食者が自由に食べ物を選択できる機会を広げた。

利用者から2つのメニューから事前に選択してもらい実施した。

成 幸ホーム：年33回	主菜選択(22回)、主食選択(11回)
戸越台ホーム：年36回	主菜選択(24回)、主食選択(12回)
荏 原ホーム：年36回	主菜選択(11回)、主食・主菜選択(25回)
平塚橋ホーム：年36回	主菜選択(24回)、主食選択(12回)

#### b) 団らん食・おやつ作り

できるだけ家庭の団欒の雰囲気近づけるため、各フロアにて対応するとともに料理をすることで機能低下を防ぎ、回想法も取り入れ実施している。

実施に際しては、利用者からメニューの希望を伺い行った。

令和3年度も新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら実施した。

成 幸ホーム：未実施
戸越台ホーム：年7回 (パンケーキ、お好みパン、プリン、年明けうどんなど)
荏 原ホーム：未実施
平塚橋ホーム：未実施

c) お楽しみ食：選択制とし、日常とは異なった食材を取り入れ、より利用者が楽しめる料理を提供した。

## (成 幸)

回数	実施日	内 容
12回	4 / 20	桜ご飯、春野菜の天ぷら、ウド入り酢味噌和え、蕨の土佐煮など
	5 / 8	しぐれご飯、天ぷら盛合わせ、若竹煮、メロンなど
	6 / 21	枝豆ご飯、空也蒸し、夏野菜炊き合わせ、茗荷酢味噌和えなど
	7 / 7	七夕ちらし寿司、冬瓜水晶煮、トマトとズッキーニのマリネなど
	8 / 30	ちらし寿司、冷やし茶碗蒸し、飛龍頭の煮物、焼き茄子など
	9 / 30	お赤飯、天ぷら盛り合わせ、菊花和え、梨・巨峰、栗羊羹など
	10 / 16	栗ご飯、茶そば入り茶碗蒸し、柿なます、洋梨のワイン煮など
	11 / 9	鮭きのご飯、帆立フライ、炊き合わせ、黄菊辛子和え、柿など
	12 / 17	えびチキンピラフ、ミートローフ、キッシュ風、野菜のマリネなど
	1 / 1	祝い雑煮、寿三点盛、数の子山葵和え、栗きんとん、屠蘇など
	1 / 1	鰻井、岩石玉子、梅花田楽、昆布巻き、金柑甘煮、花びら羊羹など
	2 / 18	(新型コロナウイルス感染対応のため中止)
	3 / 23	あさりご飯、天ぷら盛り合わせ、蕪の酢の物、桜の清汁、いちごなど

## (戸越台)

回数	実施日	内 容
12回	4 / 23	桜ごはん、刺身、春野菜の天ぷら、ウド酢味噌和え、和菓子など
	5 / 8	しぐれご飯、天ぷら、蕨山吹和え、湯葉浸し、和菓子、メロンなど
	6 / 28	(大規模改修工事により中止)
	7 / 28	茗荷ご飯、天ぷら、冬瓜水晶煮、枝豆ジュンサイ豆腐、和菓子など
	8 / 30	押し寿司、天ぷら、冷やし茶わん蒸し、白瓜シソ和え、和菓子など
	9 / 30	松茸ご飯、天ぷら盛合わせ、菊花和え、蟹寒天、紅白清汁、巨峰など
	10 / 8	栗ご飯、天ぷら、サーモンロール、柿なます、松茸清汁、和菓子など
	11 / 9	吹き寄せご飯、刺身盛合わせ、飛龍頭、菊花辛子和え、フルーツなど
	12 / 16	冬ちらし、天ぷら、海老芋含め、芹胡麻和え、茶碗蒸し、和菓子など
	1 / 1	祝い雑煮、寿三点盛、数の子山葵和え、栗きんとん、屠蘇など
	1 / 1	鰻井、岩石玉子、梅花田楽、昆布巻き、金柑甘煮、花びら羊羹など
	2 / 15	赤飯、天ぷら、カルパッチョ、カニあんかけ、吉野汁、和菓子など
	3 / 30	弥生ちらし、山菜天ぷら、菜の花胡麻和え、豆腐清汁、いちごなど

## (荏原)

回数	実施日	内 容
12回	4 / 20	桜鯛飯、天ぷら盛合せ、蕪と春野菜の煮物、桜デザートなど
	5 / 8	筍ご飯、天ぷら盛合わせ、春人参の胡麻和え、サーモンロールなど
	6 / 25	焼豚炒飯、豆腐冷菜、八宝菜、蒸し鶏の棒棒鶏ソースなど
	7 / 7	ビビンバ、参鶏湯風スープ、豚肉とズッキーニのジョンなど
	8 / 30	茗荷ご飯、天ぷら盛合せ、冬瓜と鶏肉の煮物、伊達豆腐など
	9 / 30	松茸ご飯、海老あられ天ぷら、きのこ松風焼、じゅんさい清汁など
	10 / 21	栗ご飯、新蕎麦茶碗蒸し、蕪浸し数の子添え、果物盛合せなど
	11 / 9	はらこ飯、帆立フライ、石狩汁、蟹とアスパラの胡麻酢和えなど
	12 / 13	パセリライス、鶏肉オレンジ焼、ポトフ、ケーキ盛合せなど
	1 / 1	祝い雑煮、寿三点盛、数の子山葵和え、栗きんとん、屠蘇など
	1 / 1	鰻丼、岩石玉子、梅花田楽、昆布巻き、金柑甘煮、花びら羊羹など
	2 / 18	(新型コロナウイルス感染対応のため中止)
	3 / 3	弥生ちらし寿司、山菜の天ぷら、蕪そばろあんかけ、三色菱羊羹など

## (平塚橋)

回数	実施日	内 容
12回	4 / 20	梅ご飯、五宝揚げ、春野菜の煮物、桜茶碗蒸し 露のたらこ和え、もずく酢、いちごババロアなど
	5 / 19	オムライス、ミックスフライ、ほうれん草グラタン、コールスロー、人参ポタージュ、プリンなど
	6 / 22	天ぷら、茗荷ご飯、夏のマリネ、枝豆茶碗蒸し、あおさ冷奴、あじさいゼリー
	7 / 7	七夕ちらし、冬瓜煮物、短冊サラダ、ブラマンジェなど、天ぷら
	8 / 24	しそ御飯、茄子グラタン、茗荷豆腐、もずく酢、マンゴープリン
	9 / 17	松茸ご飯、松風焼き、胡麻和え、きのこ茶碗蒸し、里芋サラダ、栗和菓子など
	10 / 20	栗ご飯、海老しんじょ、豆腐のなめこあん、さつま芋サラダ、きのこポタージュ、蕎麦入り茶碗蒸し、和菓子など
	11 / 9	菊ご飯、ちゃんちゃん焼き、サラダ、百合根茶碗蒸し、柿、おはぎ
	12 / 17	トマトピラフ、チキンソテー、ポトフ、クリスマスサラダ、ケーキなど
	1 / 1	祝い雑煮、寿三点盛、数の子山葵和え、栗きんとん、屠蘇など
	1 / 1	鰻丼、岩石玉子、梅花田楽、昆布巻き、金柑甘煮、花びら羊羹など
	2 / 25	あさりご飯、天ぷら、雪中蒸し、フルーツ盛りなど
	3 / 3	(新型コロナウイルス感染対応のため中止)

d) 歳時食（四施設共通）

実施月	行事名	内 容
4月	花まつり	桜ご飯
5月	みどりの日	グリーンピースご飯
	端午の節句	筍ご飯、木の芽焼き
7月	七 夕	七夕素麺
	土用の丑	「う」のつく料理、鰻料理
8月	終戦記念日	すいとん、さつま芋甘煮
	夏のイベント	焼そば、枝豆、西瓜、かき氷など
9月	防災の日	非常食品
	敬老の日	赤飯、黄金焼き、真砂和え、紅白羊羹など
	十五夜	月見にちなんだ料理
	秋の彼岸(秋分の日)	おはぎ風おやつ
11月	文化の日	菊花寿司、炊き合わせ、清汁、フルーツ
12月	冬 至	小豆ご飯、南瓜料理、生姜寒
	クリスマス	ケチャップライス、ローストチキンなど
	大晦日	年越しそば
1月	正 月	おせち料理
	七 草	七草粥
	鏡開き	お汁粉
	小正月	小豆粥
2月	節 分	鰯料理、節分豆ご飯
	バレンタイン	チョコレート菓子
	建国記念日	混ぜ寿司
3月	桃の節句	ちらし寿司、花清汁、桃色羊羹など
	春の彼岸(春分の日)	ぼた餅風おやつ

e) ホーム喫茶

新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら実施した。

戸越台ホーム：年4回

## 10) 栄養出納表 (年間平均)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	食事摂取基準	栄 養 出納量						
エネルギー(kcal)	1,227	1,372	1,369	1,391	1,304	1,472	1,345	1,462
タンパク質(g)	58.3	54.3	57.1	57.4	53.8	57.5	55.8	58.9
カルシウム(mg)	600	628	600	618	600	729	600	706
鉄(mg)	6.2	5.8	6.2	6.8	6.1	6.2	6.2	5.9
レチノール当量( $\mu$ g)	675	573	677	894	663	613	676	586
ビタミンB <sub>1</sub> (mg)	1.00	0.72	1.00	0.80	1.00	0.76	1.00	0.77
ビタミンB <sub>2</sub> (mg)	1.10	0.90	1.10	1.02	1.10	1.01	1.13	0.99
ビタミンC(mg)	100	81	90	93	100	79	100	87
食物繊維(g)	15.0	11.6	19.1	12.0	13.1	11.8	13.0	12.2

食事摂取基準については、日本人の食事摂取基準の策定方針に基づいて算出した。  
基準量よりも低い値については、個別により強化（栄養補助食品等）をしている。

## 健康管理

### 1 1) 受診状況

#### (1) 各科受診状況

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人 数 (人)	延回数 (件)						
内 科	81	1,000	86	1,154	118	1,388	98	1,384
眼 科	21	44	14	34	33	1,472	40	86
歯 科	13	123	15	34	32	62	37	158
皮 膚 科	4	31	3	7	26	81	22	84
泌尿器科	2	31	4	9	2	83	10	67
耳 鼻 科	—	—	2	2	4	6	2	4
脳 外 科	1	3	6	18	8	14	6	10
整形外科	1	1	10	18	9	20	12	38
神 経 科	—	—	3	5	2	6	4	13
そ の 他	—	—	2	18	—	—	2	3
合 計	123	1,233	145	1,299	234	3,132	233	1,847

#### (2) 認知症相談（各施設月2回実施）

区 分	R 3年度	R 2年度	R 元年度
成 幸	62人	41人	91人
戸越台	16人	35人	17人
荏 原	55人	49人	87人
平塚橋	39人	48人	23人

## 1 2) 利用者の診断病名

疾病名	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
心疾患	28	25	31	21
高血圧症	42	26	44	41
ペースメーカー	—	1	1	3
閉塞性動脈硬化症	—	1	1	5
呼吸器疾患	—	7	7	25
脳卒中	20	15	24	27
てんかん	1	1	4	7
アルツハイマー型認知症	38	30	44	52
レビー小体型認知症	2	2	3	1
脳血管性認知症	—	16	19	9
老年精神病	16	2	7	4
パーキンソン病	5	1	8	8
腎疾患	5	4	2	12
肝胆系疾患	2	10	10	13
B型肝炎	12	1	2	—
C型肝炎	2	2	3	3
ストーマ	1	—	—	1
慢性関節リウマチ	—	1	—	3
骨粗鬆症	4	10	15	26
骨折	6	22	60	47
蜂窩織炎	1	5	15	7
類天疱瘡	—	1	1	2
貧血	4	7	2	6
糖尿病	11	9	12	13

※診断病名が重複している利用者あり

### 1 3) 入院・退所状況

(単位：人)

施設	入院数	救急車 要請数	病院内 死亡	施設内 死亡	看取り	他施設 内死亡	長期 入院に よる退 園	入院 中
成 幸	20	8	2	6	17	—	1	1
戸越台	32	18	3	2	5	—	5	—
荏 原	28	17	2	—	12	—	3	2
平塚橋	32	14	8	2	16	—	2	1

### 1 4) 入院者病名および件数

(単位：人)

疾 病 名	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
肺 炎	3	18	15	13
心 疾 患	—	1	3	5
脳 卒 中	—	4	2	1
癌	1	—	—	1
肝 胆 系 疾 患	—	—	—	—
イ レ ウ ス	2	—	—	2
尿 路 感 染 症	—	5	2	5
脱 水	—	—	—	—
骨 折	—	3	1	1
皮 膚 疾 患	6	1	—	1
精 神 神 経 疾 患	—	—	—	—
精 査	—	—	—	—
そ の 他	1	—	4	3
新 型 コ ロ ナ 感 染 症	8	—	1	—
合 計	21	32	28	32

## 15) その他

### (1) 健康診断

秋健康診断実施対象者全員

### (2) ワクチン予防接種実施

(単位：人)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
インフルエンザ	73	64	104	78
肺炎ワクチン	2	5	—	1

### (3) 感染症

(単位：件)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
新型コロナウイルス	—	—	6	—
結 核	—	—	1	—
疥 癬	—	—	—	—
M R S A	—	—	1	—
肝炎 (B型)	12	1	2	—
肝炎 (C型)	2	3	3	2
インフルエンザ	—	—	—	—
急性胃腸炎	—	—	—	—

### (4) 褥瘡

(単位：件)

成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
2	1	1	4

### (5) 処置内容

ガーゼ交換（褥瘡、切創、皮膚剥離）、湿布貼布、軟膏塗布、酸素吸入（在宅酸素含む）、浣腸、排便、坐薬挿入、フランドルテープ（ホクナリン含む）交換、耳鼻咽喉科処置、眼科処置、酸素飽和度チェック、注射（点滴、筋肉、皮下）、経管栄養、ストマパウチ交換、吸引、その他

## 16) 機能訓練

訓練内容

(単位：件)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
関節可動域訓練	5,422	4,652	7,679	922
上下肢筋力強化	2,464	1,859	718	533
起居動作訓練	26	1,063	8	2
トランスファー訓練	78	624	29	22
立位・歩行訓練	2,221	1,102	865	447
歩行器・車椅子操作指導	296	223	279	179
マッサージ	3,209	4,789	6,896	202
集団体操	2,225	78	6,673	—
レクリエーション	1,905	72	6,681	58

## 2. 在宅サービス

### 1) 年間利用者状況

#### ①通所介護施設（デイサービス）

成 幸

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		実施日数	26日間	26日間	26日間	27日間	19日間	24日間	26日間
基本 定員20名	総合事業	要支援1	6	6	6	6	6	7	7
		要支援2	11	12	10	8	8	8	8
		認定なし	2	3	3	3	3	2	2
		実人員	19	21	19	17	17	17	17
		利用者延べ人数	112	127	113	102	63	81	103
		1日当たり利用人員	4.3	4.9	4.3	3.8	3.3	3.4	4.0
	基本	要介護1	11	11	10	10	9	9	10
		要介護2	6	7	7	8	6	5	4
		要介護3	4	4	5	5	5	5	6
		要介護4	2	2	3	3	3	4	4
		要介護5	—	—	—	—	—	—	1
		申請中	—	1	—	—	—	1	—
		実人員	23	25	25	26	23	24	25
		利用者延べ人員	197	226	222	237	160	189	231
		1日当たり利用人員	7.6	8.7	8.5	8.8	8.4	7.9	8.9
	平均要介護度(申請中除)	1.9	1.9	2.0	2.0	2.1	2.2	2.3	
	総計	利用者延べ人員	309	353	335	339	223	270	334
		1日当たり利用人員	11.9	13.6	12.9	12.6	11.7	11.3	12.8
		予防割合(%)	36.2%	36.0%	33.7%	30.1%	28.3%	30.0%	30.8%
		稼働率(%)	59.4%	67.9%	64.4%	62.8%	58.7%	56.3%	64.2%
認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—
		要支援2	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	—	—	—	—	—	—	—
		利用者延べ人数	—	—	—	—	—	—	—
		1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—
		介護	要介護1	11	11	11	10	9	9
	要介護2		2	2	2	3	4	3	3
	要介護3		2	2	2	3	3	4	3
	要介護4		2	2	2	2	2	1	1
	要介護5		—	—	—	—	—	—	—
	申請中		—	—	—	1	1	—	—
	実人員		17	17	17	19	19	17	17
	利用者延べ人員		174	175	166	162	123	141	157
	1日当たり利用人員		6.7	6.7	6.4	6.0	6.5	5.9	6.0
	平均要介護度	1.7	1.7	1.7	1.8	1.9	1.8	1.7	
	総計	利用者延べ人員	174	175	166	162	123	141	157
		1日当たり利用人員	6.7	6.7	6.4	6.0	6.5	5.9	6.0
		予防割合(%)	—	—	—	—	—	—	—
		稼働率(%)	66.9%	67.3%	63.8%	60.0%	64.7%	58.8%	60.4%
	総計	平均要介護度	1.8	1.8	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0
総計(延べ人員)		483	528	501	501	346	411	491	
1日当たり利用人員総計		18.6	20.3	19.3	18.6	18.2	17.1	18.9	
予防割合(%)		23.2%	24.1%	22.6%	20.4%	18.2%	19.7%	21.0%	

	11月	12月	1月	2月	3月	延べ数	平均
	26日間	24日間	23日間	24日間	27日間	298日間	24.8日間
	7	8	8	7	7	81	6.8
	8	8	9	9	9	108	9.0
	2	1	2	2	2	27	2.3
	17	17	19	18	18	216	18.0
	101	97	97	77	110	1,183	98.6
	3.9	4.0	4.2	3.2	4.1		3.9
	9	10	8	7	7	111	9.3
	5	5	5	3	5	66	5.5
	6	5	5	5	6	61	5.1
	4	5	5	5	5	45	3.8
	1	1	1	—	—	4	1.0
	—	—	—	—	—	2	1.0
	25	26	24	20	23	289	24.1
	223	204	180	103	209	2,381	198.4
	8.6	8.5	7.8	4.3	7.7		8.0
	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4		2.2
	324	301	277	180	319	3,564	297.0
	12.5	12.5	12.0	7.5	11.8		11.6
	31.2%	32.2%	35.0%	42.8%	34.5%		33.4%
	62.3%	62.7%	60.2%	37.5%	59.1%		59.6%
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	11	7	6	5	6	106	8.8
	4	5	5	5	6	44	3.7
	4	3	4	3	1	34	2.8
	1	—	—	1	1	15	1.5
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	1	—	4	1.0
	20	15	16	15	14	203	16.9
	172	137	123	103	147	1,780	148.3
	6.6	5.7	5.3	4.3	5.4		6.0
	1.8	1.7	1.9	2.0	1.8		1.8
	172	137	123	103	147	1,780	148.3
	6.6	5.7	5.3	4.3	5.4		6.0
	—	—	—	—	—		—
	66.2%	57.1%	53.5%	42.9%	54.4%		59.7%
	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2		2.0
	496	438	400	283	466	5,344	445.3
	19.1	18.3	17.4	11.8	17.3		17.9
	20.4%	22.1%	24.3%	27.2%	23.6%		22.2%

成 幸

事業名・区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
	実施日数	26日間	26日間	26日間	27日間	19日間	24日間	26日間		
短時間・障害者延べ人員		—	—	—	—	—	—	—		
その他利用		—	—	—	—	—	—	—		
身近でトレーニング	日数	—	—	—	—	—	—	—		
	実人員	—	—	—	—	—	—	—		
	延べ人数	—	—	—	—	—	—	—		
	1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—		
送迎	基本デイサービス	393	452	443	473	318	378	462		
	認知症デイサービス	324	327	311	297	235	265	296		
	総合事業	132	146	134	137	96	97	152		
	乗車延べ人数合計	849	925	888	907	649	740	910		
	1日当たり利用人員	32.7	35.6	34.2	33.6	34.2	30.8	35.0		
入浴	日数	26	26	26	27	19	24	26		
	総合	実利用者	14	14	12	11	11	11	17	
		延べ人数	74	87	68	69	43	46	69	
	基本	実利用者	21	22	23	24	23	24	25	
		延べ人数	131	147	146	163	111	132	161	
	認知	実利用者	13	13	14	15	15	14	17	
		延べ人数	93	91	90	96	72	80	97	
	1日当たり利用人員	11.5	12.5	11.7	12.1	11.9	10.8	12.6		
	訓練	機能訓練延べ人数	141	165	132	129	100	124	141	
1日当たり利用人員		5.4	6.3	5.1	4.8	5.3	5.2	5.4		
配食	配食延べ人数	63	78	98	87	137	121	120		
	1日当たり利用人員	2.4	3.0	3.8	3.2	7.2	5.0	4.6		

※デイサービス休業時は配食サービスのみ営業した 休業：8月7日間、9月2日間、1月1日間



戸越台

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	26日間	
基本 定員30名	総合事業	要支援1	11	7	11	12	10	11	9	
		要支援2	14	14	17	18	17	20	22	
		認定なし	3	3	3	3	3	3	3	
		実人員	28	24	31	33	30	34	34	
		利用者延べ人数	155	148	190	204	188	197	209	
		1日当たり利用人員	6.0	5.7	7.3	7.6	7.2	7.6	8.0	
	基本	要介護1	16	16	17	17	16	16	16	
		要介護2	14	13	9	13	12	13	14	
		要介護3	7	6	7	7	8	7	7	
		要介護4	3	3	4	4	4	4	4	
		要介護5	—	—	—	—	—	—	—	
		申請中	—	2	2	—	—	—	—	
		実人員	40	40	39	41	40	40	41	
		利用者延べ人員	369	389	384	395	398	407	422	
		1日当たり利用人員	14.2	15.0	14.8	14.6	15.3	15.7	16.2	
	平均要介護度(申請中除)	1.9	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0		
	総計	利用者延べ人員	524	537	574	599	586	604	631	
		1日当たり利用人員		20.7	22.1	22.2	22.5	23.2	24.3	
		予防割合(%)	29.6%	27.6%	33.1%	34.1%	32.1%	32.6%	33.1%	
		稼働率(%)	67.3%	68.8%	73.6%	74.0%	75.1%	77.4%	80.9%	
	認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—
			要支援2	—	—	—	—	—	—	—
			実人員	—	—	—	—	—	—	—
			利用者延べ人数	—	—	—	—	—	—	—
			1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—
			要介護1	—	—	—	—	—	1	1
要介護2		1	1	1	1	1	1	1		
要介護3		—	—	—	—	—	—	—		
要介護4		—	—	—	—	—	—	—		
要介護5		—	—	—	—	—	1	1		
申請中		—	—	—	—	—	—	—		
実人員		1	1	1	1	1	3	3		
利用者延べ人員		18	12	13	18	16	31	24		
1日当たり利用人員		0.7	0.5	0.5	0.7	0.6	1.2	0.9		
平均要介護度		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.7	2.7		
総計		利用者延べ人員	18	12	13	18	16	31	24	
		1日当たり利用人員	0.7	0.5	0.5	0.7	0.6	1.2	0.9	
		予防割合(%)	—	—	—	—	—	—	—	
		稼働率(%)	6.9%	4.6%	5.0%	6.7%	6.2%	11.0%	9.2%	
総計	平均要介護度	1.9	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0		
	総計(延べ人員)	542	549	587	617	602	635	655		
	1日当たり利用人員総計	20.8	21.1	22.6	22.9	23.2	24.4	25.2		
	予防割合(%)	28.6%	27.0%	32.4%	33.1%	31.2%	31.0%	31.9%		

	11月	12月	1月	2月	3月	延べ数	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	27日間	308日間	25.7日間
	9	9	10	7	8	114	9.5
	22	20	19	17	17	217	18.1
	3	4	4	2	4	38	3.2
	34	33	33	26	29	369	30.8
	210	191	181	115	190	2,178	181.5
	8.1	8.0	7.5	4.8	7.0		7.1
	16	19	19	18	17	203	16.9
	15	13	15	11	14	156	13.0
	5	6	5	3	4	72	6.0
	3	2	1	1	1	34	2.8
	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	1	—	6	0.5
	39	41	40	34	36	471	39.3
	377	363	321	288	344	4,457	371.4
	14.5	15.1	13.4	12.0	12.7		14.5
	1.9	1.8	1.7	1.6	1.7		1.9
	587	554	502	403	534	6,635	552.9
	22.6	23.1	20.9	16.8	19.8		21.5
	35.8%	34.5%	36.1%	28.5%	35.6%		32.7%
	75.3%	76.9%	69.7%	56.0%	65.9%		71.7%
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	—	—	—	3	0.3
	1	1	1	1	1	12	1.0
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	1	1	0.1
	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—
	2	1	1	1	2	18	1.5
	25	16	15	15	17	220	18.3
	1.0	0.7	0.6	0.6	0.6		0.7
	1.5	2.0	2.0	2.0	3.0		2.7
	25	16	15	15	17	220	18.3
	1.0	0.7	0.6	0.6	0.6		0.7
	—	—	—	—	—		—
	9.6%	6.7%	6.3%	6.3%	6.3%		7.1%
	1.9	1.8	1.7	1.6	2.0		1.9
	612	570	517	418	551	6,855	571.3
	23.5	23.8	21.5	17.4	20.4		22.2
	34.3%	33.5%	35.0%	27.5%	34.5%		31.7%

戸越台

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	26日間	
短時間・障害者延べ人員			9	7	16	7	8	7	7	
その他利用			-	-	-	-	-	-	-	
身近でトレーニング	日数		3	3	5	4	3	4	4	
	実人員		8	8	8	8	8	8	11	
	延べ人数		22	23	35	28	21	32	40	
	1日当たり利用人員		7.3	7.7	7	7.0	7	8	10	
送迎	基本デイサービス		264	284	282	288	280	314	321	
	認知症デイサービス		36	24	26	36	32	62	48	
	総合事業		174	162	190	202	184	194	210	
	乗車延べ人数合計		474	470	498	526	496	570	579	
	1日当たり利用人員		18.2	18.1	19.2	19.5	19.1	21.9	22.2	
入浴	日数		22	22	21	23	21	20	20	
	総合	実利用者		16	16	17	16	15	17	16
		延べ人数		94	93	103	102	102	96	100
	基本	実利用者		31	30	29	32	30	29	30
		延べ人数		217	195	210	223	218	209	221
	認知	実利用者		1	1	1	1	1	2	3
		延べ人数		14	8	10	13	12	20	17
	1日当たり利用人員		14.8	13.5	15.4	14.7	15.8	16.3	16.9	
訓練	機能訓練延べ人数		489	492	520	553	510	563	579	
	1日当たり利用人員		18.8	18.9	20.0	20.5	20.0	21.7	22.3	
配食	配食延べ人数		169	175	196	195	173	177	185	
	1日当たり利用人員		6.5	6.7	7.5	7.2	6.7	6.8	7.1	

	11月	12月	1月	2月	3月	延べ数	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	27日間	308日間	25.7日間
	7	7	9	14	10	108	9.0
	—	—	—	—	—	—	—
	4	4	4	3	5	46	3.8
	11	11	11	11	11	114	9.5
	35	35	40	28	50	389	32.4
	8.8	8.8	10	9.3	10		8.4
	276	258	218	188	228	3,201	266.8
	50	32	30	30	34	440	36.7
	208	184	164	138	180	2,190	182.5
	534	474	412	356	442	5,831	485.9
	20.5	19.8	17.2	14.8	16.4		18.9
	20	19	18	19	22	247	20.6
	16	15	16	16	15	191	15.9
	108	90	83	66	92	1,129	94.1
	28	32	30	28	28	357	29.8
	198	190	175	154	183	2,393	199.4
	2	1	1	1	2	17	1.4
	21	12	11	11	14	163	13.6
	16.4	15.4	14.9	12.1	13.1	179	14.9
	529	509	464	374	503	6,085	507.1
	20.3	21.2	19.3	15.6	18.6		19.8
	181	170	182	178	196	2,177	181.4
	7.0	7.1	7.6	7.4	7.3		7.1

荏 原

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		実施日数	26日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	26日間
基本 定員40名	総合事業	要支援1	17	18	18	19	19	18	17
		要支援2	21	18	18	18	20	19	19
		認定なし	4	3	2	2	2	3	2
		実人員	42	39	38	39	41	40	38
		利用者延べ人数	271	233	240	239	242	247	238
		1日当たり利用人員	10.4	9.0	9.2	8.9	9.3	9.5	9.2
	基本	要介護1	33	30	29	31	30	28	27
		要介護2	15	14	15	13	12	13	14
		要介護3	8	7	11	11	11	11	10
		要介護4	5	4	4	4	4	4	5
		要介護5	1	2	3	3	3	3	3
		申請中	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	62	57	62	62	60	59	59
		利用者延べ人員	554	536	558	585	559	517	512
		1日当たり利用人員	21.3	20.6	21.5	21.7	21.5	19.9	19.7
	平均要介護度(申請中除)	1.8	1.8	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
	総計	利用者延べ人員	825	769	798	824	801	764	750
		1日当たり利用人員	31.7	29.6	30.7	30.5	30.8	29.4	28.8
		予防割合(%)	32.8%	30.3%	30.1%	29.0%	30.2%	32.3%	31.7%
		稼働率(%)	79.3%	73.9%	76.7%	76.3%	77.0%	73.5%	72.1%
認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—
		要支援2	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	—	—	—	—	—	—	—
		利用者延べ人数	—	—	—	—	—	—	—
		1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—
		介護	要介護1	4	5	5	5	5	6
	要介護2		6	6	6	5	5	3	3
	要介護3		3	3	3	2	2	5	5
	要介護4		1	—	—	1	1	2	2
	要介護5		2	3	3	3	3	2	2
	申請中		—	—	—	—	—	—	—
	実人員		16	17	17	16	16	18	19
	利用者延べ人員		163	144	170	182	161	199	204
	1日当たり利用人員		6.3	5.5	6.5	6.7	6.2	7.7	7.8
	平均要介護度	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.4	
	総計	利用者延べ人員	163	144	170	182	161	199	204
		1日当たり利用人員	6.3	5.5	6.5	6.7	6.2	7.7	7.8
		予防割合(%)	—	—	—	—	—	—	—
		稼働率(%)	62.7%	55.4%	65.4%	67.4%	61.9%	76.5%	78.5%
	総計	平均要介護度	0.0	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
総計(延べ人員)		988	913	968	1006	962	963	954	
1日当たり利用人員総計		38.0	35.1	37.2	37.3	37.0	37.0	36.7	
予防割合(%)		27.4%	25.5%	24.8%	23.8%	25.2%	25.6%	24.9%	

	11月	12月	1月	2月	3月	延べ数	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	27日間	308日間	25.7日間
	17	17	16	14	15	205	17.1
	18	18	16	15	16	216	18.0
	2	2	2	2	3	29	2.4
	37	37	34	31	34	450	37.5
	240	215	197	161	200	2,723	226.9
	9.2	9.0	8.2	6.7	7.4		8.8
	33	32	31	29	30	363	30.3
	15	18	18	15	15	177	14.8
	10	10	10	8	9	116	9.7
	6	6	5	5	5	57	4.8
	3	3	3	3	3	33	2.8
	—	—	—	—	—	—	—
	67	69	67	60	62	746	62.2
	548	522	509	426	539	6,365	530.4
	21.1	21.9	21.2	17.8	20.0		20.7
	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		2.0
	788	737	706	587	739	9,088	757.6
	30.3	30.8	29.4	24.5	27.4		29.5
	30.5%	29.1%	27.9%	27.4%	27.1%		30.0%
	75.8%	77.1%	73.5%	61.1%	68.4%		73.8%
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	6	6	6	6	5	66	5.5
	3	3	3	3	3	49	4.1
	5	4	5	5	5	47	3.9
	2	1	1	1	1	13	1.3
	2	2	2	1	1	26	2.2
	—	—	—	—	—	—	—
	18	16	17	16	16	202	16.8
	194	160	160	140	162	2,039	169.9
	7.5	6.7	6.7	5.8	6.0		6.6
	2.5	2.4	2.4	2.3	2.2		2.4
	194	160	160	140	162	2,039	169.9
	7.5	6.7	6.7	5.8	6.0		6.6
	—	—	—	—	—		—
	74.6%	66.7%	66.7%	58.3%	60.0%		66.2%
	2.1	2.1	2.1	2.0	2.0		2.1
	982	900	866	727	901	11,130	927.5
	37.8	37.5	36.1	30.3	33.4		36.1
	24.4%	23.9%	22.7%	22.1%	22.2%		24.5%

荏 原

事業名・区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
	実施日数	26日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	26日間		
短時間・障害者延べ人員		6	8	4	2	9	6	4		
その他利用		—	—	—	—	—	—	—		
身近でトレーニング	日数	4	3	4	5	4	4	5		
	実人員	19	15	14	15	15	16	19		
	延べ人数	63	40	46	61	52	54	71		
	1日当たり利用人員	15.8	13.3	11.5	12.2	13	13.5	14.2		
送迎	基本デイサービス	1,024	966	960	1,061	1,022	794	958		
	認知症デイサービス	314	263	289	280	260	302	335		
	総合事業	452	398	417	434	447	447	426		
	乗車延べ人数合計	1,790	1,627	1,666	1,775	1,729	1,543	1,719		
	1日当たり利用人員	68.8	62.6	64.1	65.7	66.5	59.3	66.1		
入浴	日数	26	26	26	27	26	26	26		
	総合	実利用者	23	20	20	21	20	19	18	
		延べ人数	116	105	105	112	106	102	95	
	基本	実利用者	47	42	46	45	44	43	43	
		延べ人数	303	295	303	308	313	284	281	
	認知	実利用者	16	16	16	15	15	17	17	
		延べ人数	112	88	98	101	89	107	110	
	1日当たり利用人員	20.4	18.8	19.5	19.3	19.5	19.0	18.7		
	訓練	機能訓練延べ人数	298	295	313	341	324	353	348	
1日当たり利用人員		11.5	11.3	12.0	12.6	12.5	13.6	13.4		
配食	配食延べ人数	45	46	68	67	77	70	63		
	1日当たり利用人員	1.7	1.8	2.6	2.5	3.0	2.7	2.4		

	11月	12月	1月	2月	3月	延べ数	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	27日間	308日間	25.7日間
	4	3	2	2	1	51	4.3
	—	—	—	—	—	—	—
	4	4	4	—	4	45	4.1
	17	14	13	—	9	166	15.1
	56	38	33	—	23	537	48.8
	14	9.5	8.3	—	5.75		11.9
	984	962	931	782	934	11,378	948
	314	266	265	239	308	3,435	286
	436	403	363	320	390	4,933	411
	1,734	1,631	1,559	1,341	1,632	19,746	1,646
	66.7	68.0	65.0	55.9	60.4		64
	26	24	24	24	27	308	26
	18	19	18	17	18	231	19
	107	99	97	84	102	1,230	103
	47	48	47	43	44	539	45
	298	293	268	224	278	3,448	287
	17	15	16	16	16	192	16
	99	91	94	86	111	1,186	99
	19.4	20.1	19.1	16.4	18.2		19
	363	322	323	260	322	3,862	322
	14.0	13.4	13.5	10.8	11.9		13
	69	51	51	51	87	745	62
	2.7	2.1	2.1	2.1	3.2		2

小山の家

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		実施日数	26日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	26日間
認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—
		要支援2	1	1	—	—	—	—	—
		実人員	1	1	—	—	—	—	—
		利用者延べ人数	9	8	—	—	—	—	—
		1日当たり利用人員	0.3	0.3	—	—	—	—	—
	介護	要介護1	5	5	6	7	8	6	5
		要介護2	6	6	7	7	8	7	7
		要介護3	2	2	2	2	2	3	2
		要介護4	2	2	2	2	2	2	2
		要介護5	—	—	—	—	—	—	—
		申請中	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	15	15	17	18	20	18	16
		利用者延べ人員	136	128	156	150	167	145	139
		1日当たり利用人員	5.2	4.9	6.0	5.6	6.4	5.6	5.3
		平均要介護度(申請中除)	2.1	2.1	2.0	1.9	1.9	2.1	2.1
	総計	利用者延べ人員	145	136	156	150	167	145	139
		1日当たり利用人員	5.6	5.2	6.0	5.6	6.4	5.6	5.3
		予防割合(%)	6.2	5.9	—	—	—	—	—
		稼働率(%)	55.8%	52.3%	60.0%	55.6%	64.2%	55.8%	53.5%
	総計	平均要介護度	2.4	2.4	2.0	1.9	1.9	2.1	2.1
総計(延べ人員)		145	136	156	150	167	145	139	
1日当たり利用人員総計		5.6	5.2	6.0	5.6	6.4	5.6	5.3	
予防割合(%)		6.2%	5.9%	—	—	—	—	—	

\*新型コロナウイルス感染症による休業：4日間

	11月	12月	1月	2月	3月	延べ数	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	23日間	304日間	25.3日間
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	2	1
-	-	-	-	-	-	2	1
-	-	-	-	-	-	4	8.5
-	-	-	-	-	-		0.3
5	5	5	5	5	4	66	5.5
7	7	6	5	6	6	79	6.6
2	2	2	3	3	3	27	2.3
1	1	-	-	-	-	16	1.8
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
15	15	13	13	13	13	188	15.7
131	113	106	109	92	92	1,572	131.0
5.0	4.7	4.4	4.5	3.4	3.4		5.1
1.9	1.9	1.8	1.8	1.9	1.9		2.0
131	113	106	109	92	92	1,589	132.4
5	4.7	4.4	4.5	3.4	3.4	62	5.1
-	-	-	-	-	-		6.1
50.4%	47.1%	44.2%	45.4%	40.0%	40.0%		52.3%
1.9	1.9	1.8	1.8	1.9	1.9		2.0
131	113	106	109	92	92	1,589	132.4
5.0	4.7	4.4	4.5	3.4	3.4		5.1
-	-	-	-	-	-		6.1%

小山の家

事業名・区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
	実施日数	26日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	26日間		
短時間・障害者延べ人員		—	—	—	—	—	—	—		
その他利用		—	—	—	—	—	—	—		
身近でトレーニング	日数	—	—	—	—	—	—	—		
	実人員	—	—	—	—	—	—	—		
	延べ人数	—	—	—	—	—	—	—		
	1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—		
送迎	基本デイサービス	—	—	—	—	—	—	—		
	認知症デイサービス	242	223	281	259	284	241	228		
	総合事業	—	—	—	—	—	—	—		
	乗車延べ人数合計	242	223	281	259	284	241	228		
	1日当たり利用人員	9.3	8.6	10.8	9.6	10.9	9.3	8.8		
入浴	日数	21	21	22	22	22	21	22		
	総合	実利用者	—	—	—	—	—	—	—	
		延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	
	基本	実利用者	—	—	—	—	—	—	—	
		延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	
	認知	実利用者	10	10	9	9	9	8	7	
		延べ人数	58	59	60	54	51	43	41	
	1日当たり利用人員	2.8	2.8	2.7	2.5	2.3	2.0	1.9		
訓練	機能訓練延べ人数	—	—	—	—	—	—	—		
	1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—		
配食	配食延べ人数	—	—	—	—	—	—	—		
	1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—		

	11月	12月	1月	2月	3月	延べ数	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	23日間	304日間	25.3日間
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	208	182	169	181	163	2,661	221.8
	—	—	—	—	—	—	—
	208	182	169	181	163	2,661	221.8
	8.0	7.6	7.0	7.5	7.1		8.8
	22	20	20	20	18	251	20.9
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	7	8	7	7	7	98	8.2
	39	35	32	33	25	530	44.2
	1.8	1.8	1.3	1.4	1.4		2.1
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—

## ②短期入所生活介護施設（ショートステイ）

成幸ショートステイ月別利用状況（定員16名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	20	234	7.8	33	48.8
5月	22	227	7.3	35	45.8
6月	26	289	9.6	48	60.2
7月	22	218	7.0	31	44.0
8月	21	196	6.3	30	39.5
9月	24	189	6.3	42	39.4
10月	27	267	8.6	41	53.8
11月	34	322	10.7	56	67.1
12月	26	202	7.2	48	45.1
1月	21	179	6.4	29	40.0
2月	3	47	1.7	2	10.5
3月	10	99	3.2	21	20.0
R3年度 合 計	256	2,469	6.8	416	42.3
R2年度 合 計	314	3,298	9.1	532	57.5
R元年度 合 計	335	2,955	8.2	581	51.3

年間要介護度別利用状況				年平均要介護度 2.6
区 分	人 数	%	延べ日数	
要 支 援 1	—	—	—	年平均稼働率 42.3%
要 支 援 2	6	2.3	42	
要 介 護 1	52	20.2	551	
要 介 護 2	56	21.8	493	
要 介 護 3	73	28.4	783	
要 介 護 4	40	15.6	230	
要 介 護 5	17	6.6	218	
申 請 中	13	5.1	152	
合 計	257	100.0	2,469	

戸越台ショートステイ月別利用状況（定員8名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	—	—	—	—	—
5月	—	—	—	—	—
6月	—	—	—	—	—
7月	1	3	3.0	2	
8月	4	12	3.0	6	
9月	4	21	5.25	8	
10月	4	22	5.5	8	
11月	6	31	5.2	9	
12月	8	38	4.75	11	
1月	8	67	9.75	10	
2月	9	78	8.67	12	35.27
3月	13	88	7.33	18	35.48
R3年度 合 計	57	360	6.8	76	16.7
R2年度 合 計	—	—	—	—	—
R元年度 合 計	—	—	—	—	—

年間要介護度別利用状況				年平均要介護度
区 分	人 数	%	延べ日数	
要 支 援 1	2	3.6	12	2.2
要 支 援 2	5	9.0	21	
要 介 護 1	10	18.1	59	年平均稼働率 16.7%
要 介 護 2	22	40.0	127	
要 介 護 3	12	21.8	86	
要 介 護 4	2	3.6	23	
要 介 護 5	—	—	—	
申 請 中	2	3.6	32	
合 計	55	100.0	360	

荏原ショートステイ月別利用状況（定員30名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	69	632	21.1	100	70.2
5月	71	669	21.6	110	71.9
6月	67	577	19.2	107	64.1
7月	72	636	20.5	133	68.4
8月	75	668	21.5	147	71.8
9月	75	688	22.9	130	76.4
10月	79	729	23.5	129	78.4
11月	91	795	26.5	180	88.3
12月	86	793	25.6	161	85.3
1月	73	689	22.2	138	74.1
2月	68	617	22.0	118	73.5
3月	55	406	13.1	78	43.7
R3年度 合 計	881	7,899	21.6	1,531	72.2
R2年度 合 計	863	8,192	22.4	1,362	74.7
R元年度 合 計	1,291	11,153	30.4	2,318	101.5

年間要介護度別利用状況				年平均要介護度 2.5
区 分	人 数	%	延べ日数	
要 支 援 1	7	0.9	54	年平均稼働率 72.2%
要 支 援 2	27	0.7	184	
要 介 護 1	195	21.8	1,680	
要 介 護 2	254	33.0	2,342	
要 介 護 3	187	19.3	1,706	
要 介 護 4	132	16.6	1,141	
要 介 護 5	43	5.0	423	
申 請 中	36	2.7	369	
合 計	881	100.0	7,899	

平塚橋ショートステイ月別利用状況（定員12名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	24	186	6.7	65	51.6
5月	23	164	4.5	42	44.0
6月	22	158	4.5	46	43.8
7月	17	160	4.6	37	43.0
8月	23	162	5.2	44	43.5
9月	24	175	5.0	41	48.6
10月	25	186	5.3	46	50.0
11月	26	182	5.3	51	50.5
12月	25	212	6.8	54	59.9
1月	21	166	4.8	40	44.6
2月	15	134	4.7	34	39.8
3月	18	143	4.1	34	38.4
R3年度 合 計	263	2,028	5.1	534	46.4
R2年度 合 計	334	2,797	6.7	693	64.7
R元年度 合 計	498	3,591	7.2	976	83.3

年間要介護度別利用状況				年平均要介護度
区 分	人 数	%	延べ日数	
要 支 援 1	2	0.8	10	2.6
要 支 援 2	11	4.3	49	
要 介 護 1	56	22.0	403	年平均稼働率 46.4%
要 介 護 2	64	25.1	413	
要 介 護 3	49	19.2	427	
要 介 護 4	20	7.8	123	
要 介 護 5	51	20.0	603	
申 請 中	2	0.8	—	
合 計	255	100.0	2,028	

## 2) 機能訓練

### 訓練内容

(単位：件)

	成 幸	戸越台	荏 原
関節可動域訓練	1,562	6,086	3,662
上下肢筋力強化	1,568	5,886	2,420
起居動作訓練	1	4	—
トランスファー訓練	—	24	—
立位・歩行訓練	1,076	5,513	2,809
歩行器・車椅子操作指導	36	247	—
マ ッ サ ー ジ	1,489	12	196
集 団 体 操	1,431	6,061	3,725
レクレーション	1,479	132	3,709

「踊りでリハビリ」（なじみのある音楽を用いて行うリハビリ舞踊）は新型コロナウイルス感染症のため実施を見合わせた。

## 3) 食事サービス（ショートステイ・デイサービス・配食）

<喫食者の個別対応>

(単位：人)

項 目	成 幸			戸越台			荏 原			平塚橋
	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト
定 員	16	30	—	8	40	—	30	50	—	12
療 養 食	11	1	—	1	14	4	(11)	6	2	7
摂食障害	73	1	—	1	4	1	51	3	—	15
摂食嚥下	103	8	—	13	41	5	303	31	1	119
機能障害	224	2	—	8	26	—	123	10	—	123

※療養食の（ ）は、加算を算定した分である。

※戸越台は大規模改修工事のため7月よりショートステイを再開。

#### 4) 健康管理

※D. S. はデイサービス、S. S. はショートステイ

##### ①受診及び入院状況

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
受 診	—	42	1	6	—	11	6
入 院	—	1	—	—	3	5	—

##### ②入院時病名

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
肺 炎	1	—	—	—	2	—	—
心 疾 患	—	—	—	—	—	2	—
脳 卒 中	—	—	—	—	1	—	—
骨 折	4	—	—	—	—	1	—
脱 水 ・ 発 熱	1	—	—	—	—	—	—
そ の 他	6	1	—	—	—	1	1
救急車依頼回数	—	1	—	—	1	2	1

##### ③医器処置者数

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
バルーンカテーテル	1	—	1	—	1	2	3
ス ト マ ー	1	—	—	1	1	2	—
貼 付 薬	5	4	9	2	5	13	5
ペースメーカー	1	1	4	—	2	3	—
酸素吸入	1	—	2	—	1	3	1
人工透析	1	—	4	—	—	—	—
胃 ろ う	—	—	1	—	—	—	1
インシュリン注射	1	3	4	—	3	5	—
血糖値チェック	1	—	1	—	2	5	—

## 5) 栄養調理

### ①高齢者と介護者のための料理教室

年4回、4施設の管理栄養士が共働で開催予定であったが、新型コロナウイルス拡大予防対策のため中止とした。今年度も、三徳だよりにレシピやコラムを掲載した。

### ②ゆうゆうクッキング

法人の地域貢献事業として平塚橋ゆうゆうプラザにおいて地域住民交流を図る「つながりクッキング」を企画した。新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため開催は見合わせた。



### 3. 在宅介護支援センター（在宅介護支援センター）

#### 1) 年間利用者状況

(成 幸)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		29	22	21	16	12	15
要介護認定		46	47	41	27	34	38
基本チェックリスト		—	—	1	1	1	—
訪問 サービス	訪問介護	2	—	1	4	4	—
	訪問看護	2	2	2	7	2	2
	その他	—	—	2	2	—	1
通所 サービス	通所介護	2	2	2	10	2	5
	通所リハビリテーション	—	2	—	—	—	2
短期入所		2	1	—	2	—	—
福祉用具	貸与	4	9	3	7	—	7
	購入	2	1	3	1	—	—
住宅改修		2	3	3	2	5	3
(看護) 小規模多機能型居宅介護		1	—	—	1	—	—
総合事業サービス		1	7	7	5	4	3
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		—	—	3	2	1	1
施設 サービス	特別養護老人ホーム	—	1	2	—	3	—
	老人保健施設	—	1	—	1	—	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	—	1	—	—	1	—
	その他	4	1	—	—	—	1
医療・保健・健康相談		22	10	21	22	16	15
認知症		2	1	2	1	1	1
成年後見		—	—	—	—	—	2
虐待		1	—	—	—	1	—
安否確認		1	1	1	2	5	2
苦情		—	1	1	1	—	—
経済的問題		3	1	1	4	3	3
家族問題		—	1	—	—	—	—
その他		4	2	1	1	—	1
訪問相談		1, 275	1, 247	1, 292	1, 185	1, 243	1, 207
月計		1, 405	1, 364	1, 410	1, 304	1, 338	1, 309

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	平均
	13	22	19	19	10	17	215	17.9
	59	54	49	53	42	51	541	45.1
	—	3	—	—	1	—	7	0.6
	2	—	1	4	3	3	24	2.0
	—	1	1	—	—	—	19	1.6
	1	—	—	—	—	—	6	0.5
	2	5	2	5	4	5	46	3.8
	—	—	—	—	—	—	4	0.3
	—	—	2	—	—	1	8	0.7
	6	6	9	4	5	7	67	5.6
	2	1	1	2	—	1	14	1.2
	3	4	4	4	3	4	40	3.3
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	4	5	1	—	1	1	39	3.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	3	1	3	15	1.3
	—	—	—	1	—	—	7	0.6
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	1	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	1	—	3	0.3
	3	3	—	1	1	—	14	1.2
	19	9	32	10	19	7	202	16.8
	4	4	7	2	2	9	36	3.0
	2	—	—	—	—	4	8	0.7
	1	—	—	—	—	—	3	0.3
	2	2	—	3	—	4	23	1.9
	—	—	2	—	—	—	5	0.4
	2	—	—	—	—	1	18	1.5
	—	—	—	1	—	—	2	0.2
	1	1	1	1	—	2	15	1.3
	1,328	1,396	1,371	1,280	1,115	1,049	14,988	1,249
	1,454	1,517	1,503	1,393	1,208	1,169	16,374	1,365

(戸越台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		18	18	11	10	13	19
要介護認定		21	24	27	43	42	34
基本チェックリスト		—	—	—	1	1	—
訪問サービス	訪問介護	3	—	6	1	5	2
	訪問看護	1	1	1	—	1	2
	その他	—	—	—	1	—	—
通所サービス	通所介護	6	7	8	1	3	7
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	—	—
短期入所		3	—	2	2	—	—
福祉用具	貸与	5	5	12	5	3	7
	購入	—	—	2	4	1	—
住宅改修		3	—	1	4	1	1
(看護) 小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—
総合事業サービス		—	—	—	—	1	1
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		1	2	—	1	1	—
施設サービス	特別養護老人ホーム	—	—	2	—	2	—
	老人保健施設	—	—	—	—	—	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	1	1
	特定施設入居者生活介護	—	—	—	—	—	2
	その他	—	1	—	—	—	—
医療・保健・健康相談		11	19	20	32	27	34
認知症		4	—	2	1	1	1
成年後見		—	—	—	—	1	—
虐待		—	5	2	7	—	—
安否確認		4	1	1	4	2	—
苦情		—	—	—	—	—	—
経済的問題		—	—	1	—	—	—
家族問題		2	1	—	—	3	—
その他		—	1	—	—	—	—
訪問相談		1,229	1,174	1,098	1,006	1,094	1,019
月計		1,311	1,259	1,196	1,123	1,203	1,130

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	平均
	21	21	15	7	18	10	181	15.1
	29	46	46	26	16	19	373	31.1
	1	—	—	1	1	1	6	0.5
	4	5	4	1	1	2	34	2.8
	—	7	1	1	—	—	15	1.3
	—	1	—	1	—	—	3	0.3
	5	4	5	4	6	4	60	5.0
	1	1	—	1	—	—	3	0.3
	2	—	—	—	—	—	9	0.8
	6	3	2	—	3	3	54	4.5
	2	2	4	—	1	—	16	1.3
	2	—	—	—	1	1	14	1.2
	—	—	—	1	—	—	1	0.1
	—	2	2	—	—	—	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	—	0.0
	—	1	1	1	—	—	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	4	0.3
	—	—	—	—	—	—	—	0.0
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	1	—	3	6	0.5
	—	—	—	—	1	1	3	0.3
	14	10	25	15	6	16	229	19.1
	—	1	—	1	7	—	18	1.5
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	14	1.2
	—	—	—	3	—	—	15	1.3
	—	—	—	—	—	—	—	0.0
	1	1	—	—	—	—	3	0.3
	—	1	1	—	—	—	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	964	953	956	1,048	833	716	12,090	1,008
	1,052	1,059	1,062	1,112	894	776	13,177	1,098

(杜 松)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		20	17	14	19	21	22
要介護認定		42	36	38	24	49	40
基本チェックリスト		1	—	—	1	—	—
訪問 サービス	訪問介護	5	1	2	3	2	2
	訪問看護	5	1	1	1	3	—
	その他	3	1	1	1	—	—
通所 サービス	通所介護	3	6	5	5	12	4
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	—	1
短期入所		1	—	—	—	1	—
福祉用具	貸与	5	9	5	3	3	5
	購入	1	3	—	—	—	—
住宅改修		4	1	4	1	—	1
(看護) 小規模多機能型居宅介護		—	—	1	—	—	—
総合事業サービス		—	—	—	—	1	—
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		1	—	1	3	3	1
施設 サービス	特別養護老人ホーム	—	—	—	2	1	—
	老人保健施設	—	—	1	—	—	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	1	—
	特定施設入居者生活介護	1	—	1	1	—	—
	その他	1	4	7	3	2	2
医療・保健・健康相談		26	29	22	17	22	21
認知症		—	2	2	3	4	1
成年後見		—	—	1	—	—	—
虐待		—	—	—	—	—	—
安否確認		1	3	3	5	5	1
苦情		—	—	—	—	—	—
経済的問題		—	1	1	—	1	—
家族問題		—	1	—	—	1	2
その他		3	3	4	1	2	1
訪問相談		1,180	1,237	1,287	1,226	1,185	1,160
月計		1,303	1,355	1,401	1,319	1,318	1,264

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	平均
	25	20	21	15	12	17	223	15.3
	34	38	38	39	16	36	430	32.5
	4	1	2	—	1	—	10	0.8
	3	1	5	1	—	1	26	2.2
	1	3	1	—	—	—	16	1.3
	1	1	2	—	—	—	10	0.8
	8	7	3	14	5	2	74	6.2
	—	—	—	—	1	—	2	0.2
	1	1	—	—	—	—	4	0.3
	6	9	5	—	1	8	59	4.9
	1	5	1	1	—	—	12	1.0
	—	5	1	—	—	2	19	1.6
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	0.0
	—	3	2	—	—	1	15	1.3
	—	—	1	—	—	—	4	0.3
	—	—	—	—	—	1	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	0.1
	—	2	—	—	1	—	6	0.5
	1	3	1	1	1	—	26	2.2
	12	36	27	31	13	21	277	23.1
	2	6	3	1	4	4	32	2.7
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	1	—	—	—	1	0.1
	1	4	—	9	2	7	41	3.4
	—	1	—	—	—	—	1	0.1
	2	—	1	1	—	—	7	0.6
	—	1	—	—	—	1	6	0.5
	1	1	2	2	1	2	23	1.9
	1,227	1,255	1,262	1,180	1,198	1,192	14,589	1,216
	1,330	1,401	1,380	1,296	1,256	1,295	15,918	1,327

(荏 原)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		14	10	6	10	12	15
要介護認定		44	39	50	36	36	32
基本チェックリスト		—	4	—	—	—	—
訪問 サービス	訪問介護	—	6	5	—	1	—
	訪問看護	—	—	3	1	—	1
	その他	—	1	1	1	1	1
通所 サービス	通所介護	5	6	4	6	4	3
	通所リハビリテーション	—	—	2	1	—	1
短期入所		—	—	—	—	—	—
福祉用具	貸与	10	3	7	4	2	4
	購入	—	—	1	—	—	—
住宅改修		4	3	4	2	2	3
(看護) 小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—
総合事業サービス		—	1	—	1	1	—
一般介護予防事業		—	—	—	1	—	—
区独自サービス		—	—	—	—	—	—
施設 サービス	特別養護老人ホーム	—	1	—	—	5	—
	老人保健施設	—	—	1	2	2	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	2	—	2	—	—	—
	その他	—	1	2	1	1	—
医療・保健・健康相談		15	12	14	8	19	19
認知症		4	1	8	—	5	5
成年後見		4	—	3	—	—	1
虐待		—	—	—	—	—	2
安否確認		—	—	—	3	2	1
苦情		1	2	1	—	—	—
経済的問題		2	—	1	—	2	—
家族問題		—	1	—	1	—	1
その他		3	3	—	2	5	1
訪問相談		877	860	911	869	939	886
月計		985	954	1,026	949	1,039	976

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	平均
	7	10	10	13	8	9	124	10.3
	34	47	43	42	46	34	483	40.3
	—	1	—	—	—	—	5	0.4
	—	5	1	3	5	—	26	2.2
	1	—	—	—	—	—	6	0.5
	1	2	—	—	—	1	9	0.8
	6	1	4	1	3	5	48	4.0
	—	—	1	—	—	—	5	0.4
	1	—	—	—	—	—	1	0.1
	5	3	3	1	—	3	45	2.9
	1	1	—	—	—	—	3	0.3
	5	7	5	3	4	2	44	3.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	—	—	—	4	0.3
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	1	—	—	4	5	0.4
	—	—	2	—	—	—	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	5	0.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	—	—	4	9	0.8
	1	—	—	—	—	—	6	0.5
	17	10	5	11	10	11	151	12.6
	8	5	3	—	1	4	44	3.7
	—	—	—	—	—	—	8	0.7
	1	1	—	—	—	—	4	0.3
	—	4	—	—	—	—	10	0.8
	—	—	—	—	—	1	5	0.4
	—	—	2	1	—	—	8	0.7
	—	2	1	2	—	1	9	0.8
	1	3	5	5	—	3	31	2.6
	943	953	978	961	960	875	11,012	917.7
	1,032	1,056	1,065	1,043	1,037	957	12,119	1,009

(小 山)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		20	15	34	19	26	22
要介護認定		29	45	45	36	27	22
基本チェックリスト		1	1	1	—	—	—
訪問 サービス	訪問介護	1	3	3	1	1	1
	訪問看護	1	—	—	—	—	—
	その他	—	—	2	—	—	—
通所 サービス	通所介護	5	4	8	8	10	5
	通所リハビリテーション	—	1	—	—	—	—
短期入所		1	—	—	—	—	—
福祉用具	貸与	1	4	5	6	6	4
	購入	—	5	1	—	1	—
住宅改修		3	—	—	7	1	1
(看護) 小規模多機能型居宅介護		—	—	—	3	1	1
総合事業サービス		—	—	—	—	—	—
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		3	3	—	4	—	3
施設 サービス	特別養護老人ホーム	3	—	1	4	9	—
	老人保健施設	3	1	1	—	—	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	5	2	3	6	2	3
	その他	—	1	—	3	2	1
医療・保健・健康相談		34	30	30	31	31	19
認知症		4	3	9	12	6	8
成年後見		5	10	6	—	5	—
虐待		3	—	5	6	—	5
安否確認		1	—	4	2	3	3
苦情		9	1	2	2	—	—
経済的問題		—	1	2	1	—	—
家族問題		—	2	7	4	—	2
その他		—	1	3	1	2	2
訪問相談		1,210	1,112	1,129	1,190	1,138	1,184
月計		1,342	1,245	1,301	1,346	1,271	1,286

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	平均
	21	34	29	30	28	17	295	24.6
	26	38	50	38	19	46	421	35.1
	—	4	—	—	—	—	7	0.6
	1	5	8	5	4	3	36	3.0
	1	1	5	2	—	1	11	0.9
	—	2	—	2	—	1	7	0.6
	7	2	6	3	—	1	59	4.9
	—	—	3	—	—	—	4	0.3
	1	—	—	—	2	5	9	0.8
	7	1	4	4	2	8	52	4.3
	1	2	1	1	1	1	14	1.2
	3	5	2	5	7	2	36	3.0
	—	1	—	1	—	—	7	0.6
	—	3	2	—	—	—	5	0.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	1	4	2	2	2	28	2.3
	—	1	2	3	2	—	25	2.1
	2	—	2	—	—	—	9	0.8
	—	—	1	—	—	1	2	0.2
	3	—	5	1	2	—	32	2.7
	—	—	2	2	2	3	16	1.3
	10	28	18	31	26	31	319	26.6
	4	3	7	11	2	6	75	6.3
	—	—	—	—	1	2	29	2.4
	6	—	2	5	2	1	35	2.9
	2	4	3	1	3	5	31	2.6
	—	—	—	2	—	1	17	1.4
	—	—	—	—	1	5	10	0.8
	—	2	1	—	—	2	20	1.7
	—	6	2	1	3	1	22	1.8
	1,224	1,216	1,241	1,177	1,115	1,019	13,955	1,163
	1,323	1,359	1,400	1,327	1,224	1,164	15,588	1,299

(小山台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		13	4	8	12	5	11
要介護認定		17	17	6	15	15	28
基本チェックリスト		2	1	2	—	1	1
訪問サービス	訪問介護	—	1	1	1	—	2
	訪問看護	1	—	2	1	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—
通所サービス	通所介護	2	2	7	2	4	2
	通所リハビリテーション	—	—	—	1	2	—
短期入所		1	—	1	—	—	—
福祉用具	貸与	—	1	—	1	3	4
	購入	—	2	1	—	—	—
住宅改修		—	1	—	—	—	—
(看護) 小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—
総合事業サービス		—	—	—	—	—	—
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		—	—	—	—	—	—
施設サービス	特別養護老人ホーム	—	1	—	1	—	—
	老人保健施設	1	—	—	1	2	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	—	—	—	1	—	—
	その他	—	1	1	3	1	3
医療・保健・健康相談		13	14	16	8	7	8
認知症		1	—	2	—	5	—
成年後見		—	1	—	—	—	—
虐待		—	—	—	—	—	—
安否確認		2	—	—	—	—	2
苦情		—	—	—	—	—	—
経済的問題		—	—	3	—	—	1
家族問題		—	—	—	1	—	5
その他		2	2	—	—	—	1
訪問相談		752	659	661	550	453	427
月計		807	707	711	598	498	495

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	平均
	17	8	8	7	14	10	117	9.8
	21	19	25	15	14	34	226	18.8
	1	—	—	—	—	—	8	0.7
	3	1	1	1	1	4	16	1.3
	—	—	2	3	3	2	14	1.2
	—	1	—	3	—	—	4	0.3
	1	—	1	8	3	1	33	2.8
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	1	—	—	3	0.3
	4	1	1	3	3	2	23	1.9
	—	3	1	1	1	—	9	0.8
	1	2	1	—	2	2	9	0.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	0.0
	1	—	3	—	5	3	12	1.0
	—	—	—	1	2	—	5	0.4
	—	1	3	1	—	—	9	0.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	1	—	—	2	0.2
	1	1	1	3	6	1	22	1.8
	19	8	6	11	15	27	152	12.7
	2	—	1	—	—	1	12	1.0
	1	—	—	—	—	1	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	1	3	8	0.7
	—	1	—	—	1	—	2	0.2
	1	—	—	—	1	1	7	0.6
	—	—	1	—	—	—	7	0.6
	2	—	2	—	2	—	11	0.9
	445	494	492	516	515	421	6,385	532.1
	520	540	549	575	589	514	7,103	591.9

## 2) 介護保険利用者状況

(成 幸)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
相談	時間外相談対応	23	19	19	19	12	19	
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	97	97	95	101	99	100
		居宅支援Ⅰ 2	44	43	47	49	39	45
		居宅介護支援合計	141	140	142	150	138	145
		初回加算	10	9	10	17	8	8
		特定事業所加算Ⅱ	141	140	142	150	138	145
		特定事業所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—
		入院時情報連携加算Ⅰ	—	—	—	—	—	—
		入院時情報連携加算Ⅱ	4	5	6	5	4	5
		退院退所加算Ⅰイ	—	1	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	128	126	131	136	138	144
		介護予防支援・初回	2	4	4	11	6	3
総合事業	b 原則型マネジメント	89	89	86	85	87	86	
	c 簡略型マネジメント	28	22	23	26	21	23	
	d 初回型マネジメント	1	—	—	2	2	1	
	初回加算	6	1	3	5	3	1	
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	118	111	109	113	110	110	
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	217	215	217	221	225	230	
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	245	237	240	247	246	253	
調査	認定調査	13	16	11	13	7	9	
実態把握	介護給付	16	13	12	13	6	16	
	予防給付・介護予防	7	14	8	23	6	13	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	平均
	15	15	27	18	21	16	223	18.6
	101	107	104	86	82	76	1,145	95.4
	49	50	46	43	44	43	542	45.2
	150	157	150	129	126	119	1,687	140.6
	11	11	5	8	5	4	106	8.8
	150	157	150	129	6	—	1,448	120.7
	—	—	—	—	120	119	239	19.9
	5	5	2	6	7	3	57	4.8
	1	—	2	—	—	—	4	0.3
	—	1	2	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	—	1	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	143	135	145	143	141	141	1,651	137.6
	2	2	6	1	3	3	47	3.9
	87	91	95	88	84	89	1,056	88.0
	22	22	17	17	18	16	255	21.3
	—	1	—	3	—	1	11	0.9
	5	2	5	5	4	5	45	3.8
	109	114	112	108	102	106	1,322	110.2
	230	226	240	231	225	230	2,707	225.6
	252	248	257	248	243	246	2,962	246.8
	15	11	19	8	11	12	145	12.1
	14	11	8	15	3	16	143	11.9
	14	14	11	12	12	11	145	12.1

(戸越台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
相談	時間外相談対応	—	5	3	6	3	5	
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	82	80	81	77	82	83
		居宅支援Ⅰ 2	35	28	40	31	29	32
		居宅介護支援合計	117	108	121	108	111	115
		初回加算	4	1	8	6	8	10
		特定事業所加算Ⅱ	117	108	121	108	111	115
		特定事業所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—
		入院時情報連携加算Ⅰ	3	6	9	3	—	2
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅰイ	1	—	1	—	—	—
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—
		通院時情報連携加算	1	—	—	—	1	—
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—	
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	122	122	119	116	117	124
		介護予防支援・初回	1	2	2	3	3	2
総合事業	b 原則型マネジメント	71	70	71	75	71	74	
	c 簡略型マネジメント	19	17	16	17	14	13	
	d 初回型マネジメント	—	—	—	1	1	1	
	初回加算	3	—	—	4	2	1	
	介護予防ケアマネジメント (b+c+d)	90	87	87	92	85	88	
	介護予防支援・原則型合計 (a+b)	193	192	190	192	188	198	
	介護予防支援+原則型+簡略型 (a+b+c)	212	209	206	208	202	211	
調査	認定調査	21	21	25	27	22	18	
実態把握	介護給付	9	13	13	15	9	11	
	予防給付・介護予防	14	9	12	18	17	13	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	平均
	—	—	—	3	8	2	35	2.9
	81	86	88	87	92	84	923	83.6
	32	27	33	31	33	37	388	29.0
	113	113	121	118	125	121	1,391	115.9
	6	6	7	6	8	7	77	5.6
	113	113	121	118	125	121	1,391	115.9
	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	3	2	4	2	3	43	3.6
	—	—	1	1	—	—	2	0.2
	—	2	4	1	4	1	14	1.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	125	126	125	127	124	122	1,469	122.4
	3	5	2	5	2	—	30	2.5
	74	68	71	72	69	73	859	71.6
	13	14	13	17	16	15	184	15.3
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	4	2	4	5	2	4	31	2.6
	87	82	84	89	85	88	1,044	87.0
	199	194	196	199	193	195	2,329	194.1
	212	208	209	216	209	210	2,512	209.3
	15	20	21	13	13	14	230	19.2
	8	16	12	14	9	2	131	10.9
	6	15	11	19	5	9	148	12.3

(杜 松)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
相談	時間外相談対応	10	5	10	21	6	3	
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	78	82	87	83	82	80
		居宅支援Ⅰ 2	36	31	30	35	28	26
		居宅介護支援合計	114	113	117	118	110	106
		初回加算	4	7	8	6	2	8
		特定事業所加算Ⅱ	114	113	117	118	110	106
		特定事業所加算Ⅲ						
		入院時情報連携加算Ⅰ	2	2	6	3	6	5
		入院時情報連携加算Ⅱ	1	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅰイ	1	2	—	—	—	1
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱイ	—	1	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—
		通院時情報連携加算	—	1	2	—	2	—
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—	
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	129	133	133	144	139	136
		介護予防支援・初回	2	5	4	4	1	2
総合事業	b 原則型マネジメント	63	56	64	59	58	62	
	c 簡略型マネジメント	21	23	21	22	22	23	
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—	
	初回加算	1	3	5	2	4	3	
	介護予防ケアマネジメント (b+c+d)	84	79	85	81	80	85	
	介護予防支援・原則型合計 (a+b)	192	189	197	203	197	198	
	介護予防支援+原則型+簡略型 (a+b+c)	213	212	218	225	219	221	
調査	認定調査	24	19	22	18	29	15	
実態把握	介護給付	14	13	14	17	13	14	
	予防給付・介護予防	8	18	4	3	12	7	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	平均
	3	8	7	4	4	5	86	7.2
	80	81	77	75	82	87	974	81.2
	32	36	39	32	41	33	399	33.3
	112	117	116	107	123	120	1,373	114.4
	10	15	10	4	10	7	91	7.6
	112	117	116	107	123	120	1,373	114.4
								—
	6	8	9	6	10	5	68	5.7
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	1	—	4	2	4	1	16	1.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	2	—	1	—	—	4	0.3
	—	—	—	—	1	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	1	2	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	133	136	134	128	128	127	1,600	133.3
	5	5	2	2	2	3	37	3.1
	66	68	69	65	60	66	756	63.0
	21	19	22	22	20	20	256	21.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	5	4	1	2	3	35	2.9
	87	87	91	87	80	86	1,012	84.3
	199	204	203	193	188	193	2,356	196.3
	220	223	225	215	208	213	2,612	217.7
	31	22	26	30	24	27	287	23.9
	7	18	10	20	10	35	185	15.4
	2	10	8	12	5	16	105	8.8

(荏 原)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
相談	時間外相談対応	3	12	7	11	5	14	
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	66	66	73	71	75	69
		居宅支援Ⅰ 2	34	31	35	34	33	33
		居宅介護支援合計	100	97	108	105	108	102
		初回加算	4	2	5	7	8	3
		特定事業所加算Ⅱ	1	—	—	103	106	102
		特定事業所加算Ⅲ	99	97	108	2	2	—
		入院時情報連携加算Ⅰ	3	—	8	5	2	2
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	1	—	—	—
		退院退所加算Ⅰイ	1	—	—	3	—	1
		退院退所加算Ⅰロ	—	2	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	1
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—	
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	122	123	116	118	115	121
		介護予防支援・初回	3	2	3	4	5	5
総合事業	b 原則型マネジメント	59	54	56	53	53	51	
	c 簡略型マネジメント	15	14	16	16	16	17	
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—	
	初回加算	3	1	4	1	2	1	
	介護予防ケアマネジメント (b+c+d)	74	68	72	69	69	68	
	介護予防支援・原則型合計 (a+b)	181	177	172	171	168	172	
	介護予防支援+原則型+簡略型 (a+b+c)	196	191	188	187	184	189	
調査	認定調査	15	10	14	11	9	16	
実態把握	介護給付	9	8	13	14	14	15	
	予防給付・介護予防	5	2	4	19	26	13	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	平均
	4	7	8	20	3	6	100	8.3
	79	81	87	82	79	82	910	75.8
	36	39	38	39	45	46	443	36.9
	115	120	125	121	124	128	1,353	112.8
	11	10	6	6	9	7	78	6.5
	115	120	125	121	124	128	1,045	87.1
	—	—	—	—	—	—	308	25.7
	3	3	5	3	1	6	41	3.4
	—	—	—	—	—	1	2	0.2
	2	5	2	1	—	2	17	1.4
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	1	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	2	2	2	—	1	9	0.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	1	—	—	—	1	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	118	111	114	111	120	117	1,406	117.2
	1	1	5	—	3	3	35	2.9
	54	54	58	52	49	49	642	53.5
	17	15	16	16	16	12	186	15.5
	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	1	2	1	5	4	27	2.3
	71	69	74	68	65	61	828	69.0
	172	165	172	163	169	166	2,048	170.7
	189	180	188	179	185	178	2,234	186.2
	8	14	17	18	15	19	166	13.8
	15	15	13	24	15	19	174	14.5
	5	9	5	16	16	11	131	10.9

(小 山)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
相談	時間外相談対応	13	18	17	23	29	14	
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	109	111	111	111	116	121
		居宅支援Ⅰ 2	45	43	38	34	39	43
		居宅介護支援合計	154	154	149	145	155	164
		初回加算	5	3	2	2	7	11
		特定事業所加算Ⅱ	154	154	149	145	155	164
		特定事業所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—
		入院時情報連携加算Ⅰ	8	9	6	3	9	7
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅰイ	1	3	8	3	2	2
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	1	—	1
		退院退所加算Ⅱイ	1	—	—	1	2	3
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	1	—	—
		退院退所加算Ⅲ	—	—	1	—	—	—
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	—	1
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	1	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	151	143	151	155	153	156
		介護予防支援・初回	7	2	4	8	2	3
総合事業	b 原則型マネジメント	57	55	59	57	60	62	
	c 簡略型マネジメント	40	34	34	30	30	29	
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—	
	初回加算	6	1	3	2	3	3	
	介護予防ケアマネジメント (b+c+d)	97	89	93	87	90	91	
	介護予防支援・原則型合計 (a+b)	208	198	210	212	213	218	
	介護予防支援+原則型+簡略型 (a+b+c)	248	232	244	242	243	247	
調査	認定調査	28	34	26	23	31	24	
実態把握	介護給付	9	9	14	20	13	13	
	予防給付・介護予防	19	11	7	14	11	19	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	平均
	19	20	22	31	18	11	235	19.6
	118	108	115	108	108	112	1,348	112.3
	41	45	37	36	36	34	471	39.3
	159	153	152	144	144	146	1,819	151.6
	8	6	4	2	2	9	61	5.1
	159	153	152	144	144	146	1,819	151.6
	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	5	4	4	4	5	70	5.8
	—	—	1	—	—	—	1	0.1
	3	1	2	3	3	—	31	2.6
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	1	2	2	1	1	1	15	1.3
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	1	—	—	1	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	2	4	—	—	1	9	0.8
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	152	159	153	152	157	162	1,844	153.7
	1	4	5	4	2	8	50	4.2
	67	63	65	63	62	61	731	60.9
	31	32	31	33	32	32	388	32.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	4	4	—	2	—	36	3.0
	98	95	96	96	94	93	1,119	93.3
	219	222	218	215	219	223	2,575	214.6
	250	254	249	248	251	255	2,963	246.9
	23	31	24	28	20	22	314	26.2
	10	19	23	13	17	17	177	14.8
	7	14	9	6	13	11	141	11.8

(小山台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
相談	時間外相談対応	0	10	5	4	7	5	
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	76	65	65	59	54	55
		居宅支援Ⅰ 2	42	40	36	35	35	38
		居宅介護支援合計	118	105	101	94	89	93
		初回加算	7	2	1	1	—	—
		特定事業所加算Ⅱ	118	—	—	—	—	—
		特定事業所加算Ⅲ	—	105	101	94	89	93
		入院時情報連携加算Ⅰ	5	3	3	6	4	3
		入院時情報連携加算Ⅱ	1	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅰイ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—	
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	93	90	93	91	90	84
		介護予防支援・初回	1	1	4	1	1	2
総合事業	b 原則型マネジメント	38	41	41	42	44	46	
	c 簡略型マネジメント	8	8	8	10	9	8	
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—	
	初回加算	1	—	4	4	1	1	
	介護予防ケアマネジメント (b+c+d)	46	49	49	52	53	54	
	介護予防支援・原則型合計 (a+b)	131	131	134	133	134	130	
	介護予防支援+原則型+簡略型 (a+b+c)	139	139	142	143	143	138	
調査	認定調査	11	11	15	19	16	11	
実態把握	介護給付	10	5	7	8	10	2	
	予防給付・介護予防	9	10	13	5	11	10	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	平均
	6	5	8	7	9	6	72	6.0
	56	59	53	52	49	50	693	57.8
	36	36	32	31	29	30	420	35.0
	92	95	85	83	78	80	1,113	92.8
	3	6	2	2	1	3	28	2.3
	—	—	—	—	—	—	118	9.8
	92	95	85	83	78	80	995	82.9
	1	1	3	—	4	2	35	2.9
	—	1	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	81	77	74	74	76	73	996	83.0
	2	1	1	—	2	2	18	1.5
	42	44	42	39	37	38	494	41.2
	8	11	9	9	9	9	106	8.8
	—	—	1	—	—	—	1	0.1
	2	5	1	1	1	1	22	1.8
	50	55	52	48	46	47	601	50.1
	123	121	116	113	113	111	1,490	124.2
	131	132	125	122	122	120	1,596	133.0
	15	15	9	11	19	17	169	14.1
	14	3	11	4	6	19	99	8.3
	13	2	1	11	8	6	99	8.3

### 3) 荏原障害者計画相談支援

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	身体障害							
	重症心身障害							
	知的障害							
	高次脳機能障害							
	その他							
	実人数							
支援方法	訪問							
	来所相談							
	同行							
	電話相談							
	電子メール							
	個別支援会議							
	関係機関							
	その他							
	月計							
支援内容	福祉サービスの利用等							
	障害や病状の理解							
	健康・医療							
	不安の解消・情緒安定							
	保育・教育							
	家族関係・人間関係							
	家計・経済							
	生活技術							
	就労							
	社会参加・余暇活動							
	権利擁護							
	その他							
月計								
計画相談件数	新規作成							
	更新作成							
	モニタリング							
	月計							

※荏原障害者計画相談支援は令和4年3月から開始

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	平均
						8	8	8
						—	—	—
						1	1	1
						—	—	—
						—	—	—
						9	9	9
						9	9	9
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						8	8	8
						1	1	1
						—	—	—
						—	—	—
						18	18	18
						8	8	8
						1	1	1
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						9	9	9
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—

#### 4) 認知症サポーター養成事業・認知症サポーターレベルアップ事業

日付	担当	対象	場所	人数
5月21日	戸越台	東京医療保健福祉大学医療保健学部看護学科実習生	戸越台支援センター	2
5月21日	小山	東京医療保健福祉大学医療保健学部看護学科実習生	小山支援センター	2
7月15日	戸越台	戸越台中学校7年生	リモート開催	91
7月19日	戸越台	東京医療保健福祉大学医療保健学部看護学科実習生	戸越台支援センター	2
7月19日	小山	東京医療保健福祉大学医療保健学部看護学科実習生	小山支援センター	2
8月25日	杜松	品川区民	リモート開催	23
9月8日	荏原	シルバー大学ふれあいコース第5班	スクエア荏原第1小会議室	8
10月11日	戸越台	品川介護福祉専門学校2年生実習生	戸越台支援センター	2
10月11日	杜松	品川介護福祉専門学校2年生実習生	杜松支援センター	2
10月12日	小山	品川介護福祉専門学校2年生実習生	小山支援センター	2
10月15日	小山	東京医療保健福祉大学医療保健学部看護学科実習生	小山支援センター	1
10月18日	成幸・戸越台	*荏原第三地区民生委員	荏原第三地域センター	30
10月29日	小山	東京医療保健福祉大学医療保健学部看護学科実習生	小山支援センター	2
11月26日	戸越台	東京医療保健福祉大学医療保健学部看護学科実習生	戸越台支援センター	2
11月26日	小山	東京医療保健福祉大学医療保健学部看護学科実習生	小山支援センター	2
12月9日	荏原	*平塚2丁目町会地域住民	平塚2丁目町会会館	16
12月13日	成幸	東京医療保健福祉大学医療保健学部看護学科実習生	成幸支援センター	2
12月14日	戸越台	東京医療保健福祉大学医療保健学部看護学科実習生	戸越台支援センター	2

\*はレベルアップ事業

## 4. 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）

### 1) 各事業参加状況

	項目	日にち・曜日	回数	内容	参加者数
物作り等講座	体操教室	月曜日	17	足腰の体操を中心とした体操	239
	らくらく体操	水曜日	33	体と頭の体操	339
	クラフトバンド	土曜日	17	クラフトバンドを用いたかご編み等	127
	布ぞうり	水曜日	8	布ぞうりの作成	56
	手芸	水曜日	4	編み物の作成	15
	スマホ教室	7月～8月	4	スマホの使用方法	22
	アロマクリーム作り & ハンドケア	12月5日	1	アロマクリーム作り	11
	書道	12月26日	1	子ども対象の書道教室	7
	お相撲講座	1月23日	1	元力士による相撲の楽しみ方、解説等	24
	メイク講座	3月27日	1	新社会人向けの講座	13
高齢者介護等事業	ミニデイ卒業体操	水曜日	24	地域ミニデイ参加者が引き続き介護予防に取り組む体操	88
	つながりサロン	火曜日	40	体操、脳トレ	410
その他	もりあげ隊	7月～3月	8	地域住民で地域を「盛り上げる」	60
	人生まだまだ彩りましょー	9月17日		自分の好きな洋服を着て、自分の人生観をスピーチする	50

しながわジャズ	9月26日	1	コンサート	190
地域応援プロジェクト	10月～3月	1	コロナに負けるな！応援メッセージ	—
上映会（星に語りて）	10月	3	映画上映	56
ゆうゆうプラザまつり	10月24日	1	登録団体の発表	113
認知症サポーター養成講座	11月～12月	3	認知症サポーター養成講座	10
今年の漢字一文字	12月	1	「今年の漢字一文字」を予想し、応募してもらう	77
フラダンス	12月25日	1	フラダンス	122
年忘れコンサート	12月25日	1	コンサート	29
体力測定	2月14日～28日	2	自主事業参加者対象	28
利用者アンケート	2月～3月	1	施設サービス、コロナ対策などについてアンケート実施	197
和太鼓コンサート	3月26日	1	大崎高校 学生による演奏	25
ミニ作品展	不定期	1	書道・大人の塗り絵・絵手紙・世界アルツハイマー週間	—
脳活（4種類）	月1回	47	大人の塗り絵・川柳・音楽にあわせて体操・音楽鑑賞	490

## 2) 地域ミニデイ実施状況

開催回数	延べ参加人数
41回	334名



### 3) 利用者状況

		4月	5月	6月	7月	8月
目的内 利用者数 (高齢者)	男	153	—	45	165	162
	女	354	—	59	404	479
	計	507	—	104	569	641
	1日平均人数	23	—	5	26	29
新規登録者数	男	—	—	—	1	2
	女	2	—	1	—	2
	計	2	—	1	1	4
新規登録団体数	—	—	—	—	—	
入浴者数 (火曜日・金曜日)	男	81	—	24	83	101
	女	82	—	28	86	99
	計	163	—	52	169	200
	1日平均人数	23	—	17	21	22
マッサージ (第1・3水曜日)	男	5	—	—	4	1
	女	20	—	—	15	13
	計	25	—	—	23	23
部屋別稼働率 午前 (%)	レクリエーション室	77.3	—	77.8	58.6	73.3
	コミュニティ室1	63.6	—	44.4	55.2	48.4
	コミュニティ室2	27.3	—	11.1	31.0	22.8
	コミュニティ室3	9.1	—	—	6.9	6.5
	スタジオ1	—	—	—	3.4	12.9
	スタジオ2	—	—	—	—	22.6
部屋別稼働率 午後 (%)	レクリエーション室	68.2	—	33.3	62.1	48.4
	コミュニティ室1	72.7	—	11.1	55.2	35.5
	コミュニティ室2	36.4	—	22.2	20.7	25.8
	コミュニティ室3	4.5	—	11.1	31.0	32.3
	スタジオ1	9.1	—	—	13.8	19.4
	スタジオ2	—	—	—	—	16.1
部屋別稼働率 夜間 (%)	レクリエーション室	—	—	—	—	—
	コミュニティ室1	—	—	—	—	—
	コミュニティ室2	—	—	—	—	—
	コミュニティ室3	—	—	—	—	—
	スタジオ1	—	—	—	—	—
	スタジオ2	—	—	—	—	—
部屋別稼働率 合計 (%)		31	—	18	28.2	30.2
自主事業 (ゆうゆうプラザ主催分)		161	—	30	154	210
品川区事業		254	—	89	309	270
目的外利用者数 (区事業・高齢者団体以外等)		—	—	—	29	108
総利用者数 (延人数)		941	—	228	1,085	1,251
言語・聴覚 相談件数	聞こえの障害 (第1・3木曜日)	—	—	—	—	—
	子ども (第2・4火・木曜日)	17	—	5	16	18
	言葉の障害 (第2・4火曜日)	—	—	—	—	2
	飲み込みの障害 (第1・3木曜日)	—	—	—	8	2
	高次脳機能障害 (第1～4土曜日)	2	—	—	—	—
	計	19	—	5	24	22

※令和3年5月は新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言のため休館(4月27日～6月20日)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	189	215	203	178	170	162	227	1,869	169.9
	562	714	762	872	831	764	905	6,706	609.6
	751	929	965	1,050	1,001	926	1,132	7,443	676.6
	34	42	44	48	46	42	51		35.5
	—	—	3	5	—	1	5	17	1.5
	1	14	11	25	3	10	3	72	6.5
	1	14	14	30	3	11	8	89	8.1
	—	14	—	—	—	—	—	14	1.3
	86	99	90	76	84	77	99	900	81.8
	91	94	94	80	91	81	105	931	84.6
	177	193	184	156	175	158	204	1,831	166.5
	22	21	23	22	22	23	23	—	21.8
	1	1	2	2	3	2	3	24	2.4
	11	11	19	18	17	17	21	162	16.2
	23	23	23	23	23	23	23	232	23.2
	73.3	77.4	71.4	85.2	82.1	67.9	74.2		74.4
	66.7	54.5	62.1	82.1	64.3	35.7	67.7		58.6
	30.0	45.2	46.4	51.9	53.6	46.4	54.8		38.2
	3.3	12.9	3.4	35.7	21.4	3.6	19.4		11.1
	—	6.5	2.4	3.6	3.6	—	3.2		3.2
	23.3	6.5	3.4	—	—	—	3.2		5.4
	50.0	67.7	67.9	78.6	57.1	35.7	48.4		56.1
	56.7	60.0	58.8	75.0	64.3	64.3	74.2		57.1
	30.0	35.5	44.8	67.9	53.6	57.1	51.6		40.5
	33.3	35.5	31.0	50.0	35.7	32.1	48.4		31.4
	16.7	12.9	7.4	17.9	17.9	7.1	9.7		12.0
	6.7	3.2	3.4	3.6	0.0	0.0	3.2		3.3
	—	23.1	13.0	29.2	4.3	4.3	3.8		7.1
	—	—	—	8.3	53.6	—	3.8		6.0
	—	—	—	—	—	—	—		—
	—	—	—	—	4.3	—	3.8		0.7
	—	—	8.7	17.4	8.7	—	15.4		4.6
	—	3.8	—	—	—	—	—		0.3
	32.5	26.4	24.7	34.8	27.6	21.7	28.2		27.5
	475	445	227	433	285	251	322	2,993	272.1
	253	223	157	314	197	135	212	2,413	219.4
	51	149	176	228	157	167	302	1,367	124.3
	1,549	1,769	1,550	2,050	1,659	1,500	1,991	15,573	1,415.7
	—	1	1	1	—	—	—	3	0.3
	16	19	22	19	13	20	19	184	16.7
	—	—	—	1	—	—	1	4	0.4
	3	3	2	4	2	—	1	25	2.3
	—	—	—	—	4	1	2	9	0.8
	19	23	25	25	19	21	23	225	20.5

## 5. 防災

### 1) 防災委員会の開催

(成 幸)

開 催 日	検 討 内 容
令和3.4.1	BCPの緊急時連絡網改定について
令和3.5.6	消火設備の誤作動について
令和3.6.3	火災報知器の発報について
令和3.7.1	BCP対象：感染症について
令和3.8.5	BCP（感染症対応版）について
令和3.9.2	感染症BCPのゾーニングについて
令和3.10.7	加湿器等による火災報知器の誤作動について
令和3.11.4	福祉避難所について
令和3.12.2	区役所閉庁時における地震発生時の被害状況確認について
令和4.1.6	電気火災について
令和4.2.	新型コロナウイルス感染症により中止
令和4.3.2	トラッキング火災について

(戸越台)

開 催 日	検 討 内 容
令和3.4.1	令和3年度年度防災訓練実施計画、災害時の緊急連絡網の確認
令和3.5.6	館内の防災設備・地下集中管理システムについて
令和3.6.3	電気設備工事における短時間停電について
令和3.7.1	災害時の非常食、職員応援体制について
令和3.8.5	総合防災訓練内容の確認、コロナ禍の防災訓練について
令和3.9.2	法定電気点検の停電時の対応について
令和3.10.7	総合防災訓練実施後の評価、館内防火用品・非常食確認
令和3.11.4	福祉避難所の課題について、AED使用後のバッテリー交換
令和3.12.2	区役所閉庁時における地震発生時の状況報告について
令和3.1.6	110番通報システム移設について（1階から7階ワーカー室へ）
令和3.2.3	建築・防火設備点検後の説明
令和3.3.2	電源プラグやテーブルタップのトラッキング現象による火災について

## (荏原)

開催日	検討内容
令和3.4.1	防火管理者変更について
令和3.5.6	各種訓練についての確認および緊急連絡網作成について
令和3.6.3	5月全館停電の状況報告、保健センターでの漏電について
令和3.7.1	電源タップによる火災について(資料配布)3・4階電源タップ交換の報告
令和3.8.5	防火対象物検査の結果報告
令和3.9.2	甲種防火管理者再講習での講義内容についての報告
令和3.10.7	荏原複合施設自衛消防訓練について
令和3.11.4	福祉避難所について、荏原複合施設自衛消防訓練実施の報告
令和3.12.1	品川区役所閉庁時の地震発生時の対応についての説明
令和4.1.6	福祉避難所の物品管理および保管場所について
令和4.2.3	館内非常照明のバッテリー交換、消防設備部品交換について
令和4.3.3	館内コンセント事故についての報告

## (平塚橋)

開催日	検討内容
令和3.4.1	合同防災訓練の振り返り
令和3.5.6	備蓄品について
令和3.6.3	令和3年度合同防災訓練について
令和3.7.1	緊急連絡網について
令和3.8.5	台風などの災害の事前準備について
令和3.9.2	館内暗証番号について、非常食について
令和3.10.7	BCPについて、非常食について
令和3.11.4	福祉避難所について
令和3.12.2	地震発生時の区への報告について
令和4.1.6	合同防災訓練の開催方法について、地震発生時の館内連携について
令和4.2.3	合同防災訓練について
令和4.3.3	合同防災訓練の実施について、コンセント事故について

## 2) 防災訓練の実施

今年度も下表の防災訓練を実施した。

### ○防災訓練等の実施状況

(成 幸)

実 施 日	訓 練 内 容
令和3.4.22	成幸ホーム消防への緊急通報装置の説明と非常通報装置の説明(11名)
令和3.5.27	スプリンクラー設備の説明とバルブの使い方(12名)
令和3.6.24	総合訓練(消火器設置場所の確認と取扱い訓練・119通報訓練(空)・避難誘導訓練)(12名)
令和3.7.29	BCP(対象:大規模地震)自家発電の稼働訓練(12名)
令和3.8.26	机上訓練 施設の平面図を用いて、上下階の位置関係を確認(12名)
令和3.9.30	非常ベル発報の際の避難誘導訓練および誤報の際の手順確認(12名)
令和3.10.28	福祉避難所訓練 設置の場合の備蓄品移動訓練(10名)
令和3.11.25	福祉避難所訓練 備蓄品の保管場所再確認(11名)
令和3.12.23	総合訓練(消火器設置場所の確認と取扱い訓練・119通報訓練(空)・避難誘導訓練)(12名)
令和4.1.	新型コロナウイルス感染症により中止
令和4.2.	机上訓練 施設の平面図を用いて、上下階の位置関係を確認(10名)
令和4.3.	BCPの見直し内容を職員へ説明する(変更:夜間の対応方法)(10名)

(戸越台)

実 施 日	訓 練 内 容
令和3.4.22	館内防災設備の説明(集中管理システム、機器等の説明)(9名)
令和3.5.27	館内防災設備の説明(集中管理システム、機器等の説明)(8名)
令和3.6.30	AED使用方法を確認、救命の手順(7名)
令和3.7.29	自衛消防訓練、避難・誘導・通報を総合的に実施(8名)
令和3.8.26	スプリンクラー設備の説明(7名)
令和3.9.30	非常食などの備蓄品の確認、献立に使用し体験(6名)
令和3.10.28	総合防災訓練、自衛消防訓練、放水訓練(屋上)(15名)
令和3.11.25	デイサービス内の消火栓などの防火設備や防災用品の確認(5名)
令和3.12.23	緊急時の無線電話、放送設備の使用訓練(7名)
令和4.1.28	110番通報システム・非常放送の使用方法(10名)
令和4.2.28	館内の防火対象物の確認や防火管理者とのヒアリング実施(5名)
令和4.3.31	屋上での消火栓による放水訓練(15名)

## (荏原)

実施日	訓練内容
令和3.4.23	防火管理者変更について、防火管理者の役割について（11名）
令和3.5.28	消火器の使用方法、注意点について（12名）
令和3.6.25	電源タップ5年以上の使用で思わぬ火災原因に（12名）
令和3.7.30	東京消防庁電子学習室について（11名）
令和3.8.27	甲種防火管理再講習の受講内容について（11名）
令和3.9.30	避難経路の確認および避難方法について（11名）
令和3.10.12	荏原複合施設、自衛消防訓練（総合訓練）（15名）
令和3.11.25	外出時の地震対策について、災害用伝言板について（11名）
令和3.12.23	掃除中の事故に注意、STOP住宅火災について（11名）
令和4.1.27	東京消防庁 HP より、自衛消防活動の事例について
令和4.2.24	スマートホン充電ケーブルでの火災について（11名）
令和4.3.24	地震に対する家具類の対策について（12名）

## (平塚橋)

実施日	訓練内容
令和3.4.1	全体消防計画確認（7名）
令和3.5.6	福祉避難所 物品確認（7名）
令和3.6.3	非常食の確認（7名）
令和3.7.1	防火設備確認（2名）
令和3.8.11	夜間想定訓練（4名）
令和3.9.29	防火設備（消火栓）使用方法確認（4名）
令和3.10.28	防災用品・備蓄用品確認、在庫その他地震時のご利用者状況の確認 シミュレーション、必要時の活用方法確認（7名）
令和3.11.30	防火設備（消火栓）使用方法確認、説明（2名）
令和3.12.29	1階避難経路誘導方法確認（感知器発報時の確認、スプリンクラー設 備消火後の停止方法確認）（3名）
令和4.1.28	館内消防設備確認（場所、機能、使用方法）（2名）
令和4.2.24	館内放送設備確認、避難経路確認（2名）
令和4.3.9	総合防災訓練（動画視聴、消火訓練、講話、避難経路の確認）（10 名）

## 6. 委員会活動

### 1) 苦情解決・サービス向上委員会

(成 幸)

開催日	内 容
3. 6. 17	1. 新型コロナワクチン接種の報告 2. 面会制限に関する報告 3. 委員からの助言
3. 9. 16	1. 新型コロナウイルス感染症の発生報告 2. デイサービスの休業についての報告 3. ショートステイ服薬事故の報告 4. 委員からの助言
3. 12. 16	1. ショートステイ服薬事故の報告 2. ホームの転倒事故報告 3. 敬老式典実施の報告 4. 委員からの助言
4. 3. 17	1. 新型コロナウイルス感染症の発生報告 2. ホームの転倒事故報告 3. 委員からの助言

(戸越台)

開催日	内 容
2. 6. 8	1. 新型コロナウイルス感染症対策について 2. 特養 ご家族の意向について 3. 委員からの助言、意見など
2. 9. 14	1. 新型コロナウイルス感染症対策について 2. 特養 ご家族の意向について 3. 委員からの助言、意見など
2. 12. 14	1. 新型コロナウイルス感染症対策について 2. 特養 ご利用者の退所について 3. 委員からの助言、意見など
3. 3. 8	1. 新型コロナウイルス対策について 2. 工事関係について 3. 委員からの助言、意見など

(荏原・小山)

開催日	内 容
3.6.16	1. 新型コロナワクチン接種の報告 2. 感染症対策についての報告 3. 委員からの助言、意見など
3.9.15	1. 敬老式典の実施予定について 2. 家族懇談会の書面開催についての報告 4. 委員からの助言、意見など
3.12.15	1. 対面式面会再開の報告 2. ショートステイ利用中のご逝去の報告 4. 委員からの助言、意見など
書面開催	1. 新型コロナウイルス感染症の発生報告 2. 荏原障害者計画相談支援事業所開設の報告 3. 委員からの助言、意見など（書面にて）

(平塚橋)

開催日	内 容
4.6.17	1. 新型コロナウイルス感染症についての報告 2. ホームでの骨折事故についての報告 3. 新しい加算算定、8月からの食費変更について
3.9.16	1. 新型コロナウイルス感染症についての報告 2. ホーム内における権利擁護について 3. 敬老式典について
3.12.16	1. 新型コロナウイルス感染症についての報告 2. ホーム内における権利擁護についての経過報告 3. 経営改善プロジェクトについて
4.3.17	1. 新型コロナウイルス感染症についての報告 2. 経営改善プロジェクトについての経過報告 3. その他

## 2) 安全衛生委員会

職場における安全および衛生の確保を図るため安全衛生委員会を開催した。

(成 幸)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員6人]

開催日	会議内容
3.4.7	職員体調確認、新年度の安全衛生管理計画について
3.5.12	職員体調確認、新型コロナワクチン接種について、業務推進マニュアルの周知
3.6.2	職員体調確認、腰痛・肩こり予防運動の紹介
3.7.7	職員体調確認、衛生委員会メンバーによる事業場巡視
3.8.4	職員体調確認、衛生にかかる情報の共有・研修参加・衛生管理資格取得への推進
3.9.1	職員体調確認、事業場巡視 新型コロナウイルス感染症発生の報告
3.10.6	職員体調確認、喫煙場所の確保、ストレスチェックについて
3.11.10	職員体調確認、事業場巡視 加湿器の使用状況等確認
3.12.1	職員体調確認、健康診断結果報告 多様な性を理解し行動するための職員ハンドブックの周知
4.1.12	職員体調確認、事業場巡視 3回目ワクチン接種について
4.2.	新型コロナウイルス感染症、「こころの健康」相談について(書面配布)
4.3.2	職員体調確認、事業場巡視 新型コロナウイルス感染症経過報告

(戸越台)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員6人]

開催日	会議内容
3.4.7	職員体調確認、感染症予防対策、ワクチン接種、高ストレス者について
3.5.12	職員体調確認、感染症予防対策、改修工事、食中毒予防について
3.6.2	職員体調確認、PCR検査、面会の状況、ワクチン接種について
3.7.7	職員体調確認、熱中症対策、ショートステイ再開、超過勤務について
3.8.4	職員体調確認、感染症・食中毒予防対策、ワクチン接種について
3.9.1	職員体調確認、勤務中の労災報告、超過勤務、改修工事について
3.10.6	職員体調確認、感染症予防注意喚起、面会の状況報告、超過勤務について
3.11.10	職員体調確認、ストレス対策、腰痛予防について
3.12.1	職員体調確認、健康診断の経過報告、職員勤務時間確認
4.1.12	職員体調確認、ワクチン(3回目)接種について、感染症予防の注意喚起
4.2.2	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症の報告、職員健康診断の報告
3.3.2	職員体調確認、職員新型コロナウイルス陽性報告、感染症予防の注意喚起

(荏原)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員7人]

開催日	会議内容
3.4.7	職員体調確認、年間計画の検討、新型コロナワクチンの情報
3.5.12	職員体調確認、PCR検査実施について、新型コロナワクチンの情報
3.6.2	職員体調確認、特養利用者のワクチン接種報告
3.7.7	職員体調確認、職員のワクチン接種状況報告
3.8.4	職員体調確認、職員PCR検査での陽性報告、感染予防の注意喚起
3.9.1	職員体調確認、職員のワクチン接種状況報告、
3.10.6	職員体調確認、ストレスチェックについて、職員健診について
3.11.10	職員体調確認、通勤中の労災報告、インフルエンザ予防接種について
3.12.1	職員体調確認、3回目ワクチン接種について、感染予防の注意喚起
4.1.12	職員体調確認、3回目ワクチン接種について、感染予防の注意喚起
4.2.	新型コロナウイルス感染症、「職員こころの健康」相談受付（書面配布）
3.3.2	職員体調確認、新型コロナウイルス感染経過報告

(平塚橋)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員6人]

開催日	会議内容
3.4.7	職員体調確認、春の健康診断、ストレスチェック結果、職員勤務時間確認
3.5.12	職員体調確認、職員コロナ陽性報告、職員健診、職員勤務時間確認
3.6.2	職員体調確認、利用者コロナワクチン1回目報告、職員勤務時間確認
3.7.7	職員体調確認、食中毒について、職員勤務時間確認
3.8.4	職員体調確認、職員コロナ陽性報告、熱中症、職員勤務時間確認
3.9.1	職員体調確認、職員コロナ陽性報告、秋の検診、職員勤務時間確認
3.10.6	職員体調確認、インフルエンザ予防接種予定、職員勤務時間確認
3.11.10	職員体調確認、職員腰痛、定期的な職員PCR検査、職員勤務時間確認
3.12.1	職員検診報告、対面式面会、職員勤務時間確認
4.1.12	職員体調確認、インフルエンザ予防接種報告、職員勤務時間確認
4.2.2	職員体調確認、職員コロナ陽性報告、利用者コロナワクチン3回目予定、職員勤務時間確認
4.3.2	職員体調確認、職員コロナ陽性報告、利用者コロナワクチン3回目接種報告、職員勤務時間確認

### 3) 給食委員会

新型コロナウイルス感染症のため利用者参加は規模を縮小または中止とした。

(成 幸)

開 催 日	活 動 内 容
3. 4. 8	食札（返却・内容検討）、禁食の誤配膳、ペースト粥、年間予定など
3. 5. 13	ワクチン接種に伴う配膳時間、筍の土佐煮の硬さ、団らん食日程など
3. 6. 10	牛乳寒天、ペースト粥、豚肉の硬さ、昼食の時間についてなど
3. 7. 8	お楽しみ食（内容・下膳時間）、麺類の提供、鶏肉・エビの硬さなど
3. 8. 12	配膳遅延、異物混入、食事（味・大きさ・具のバラつき）についてなど
3. 9. 9	あんみつ、配食の提供方法、感染対策、委託会社の状況など
3. 10. 14	配食返却方法、自助食器、盛り付け、栄養剤リニューアルなど
3. 11. 11	異物混入、デザート硬さ、ノロウイルス予防についてなど
3. 12. 9	ペースト粥、ゼリーの硬さ、食事について、食事箋め切時間など
4. 1. 13	元旦軽食、元旦夕（通常食）、汁物（極刻み）についてなど
4. 2. 10	（書面開催）食事についての意見、感染症対応（行事食）など
4. 3. 10	誤配膳、麺献立の検討、異食、年間予定、来年度水分払い出しなど

(戸越台)

開 催 日	活 動 内 容
3. 4. 6	ご利用者の意見、個別対応、工事について、選択食の検討など
3. 5. 14	ご利用者の意見、天ぷらの衣について、年間予定、感染対策など
3. 6. 11	ご利用者の意見、ソースの硬さ、食中毒予防、西瓜割りについてなど
3. 7. 9	ご利用者の意見、ペーストの硬さ、ショート再開、工事についてなど
3. 8. 3	ご利用者の意見、ハンバーグの硬さ、食事について意見交換など
3. 9. 10	ご利用者の意見、味付け、おはぎ、コップの数、工事についてなど
3. 10. 12	ペーストの麺の硬さ、代替えについて、肉の硬さの検討など
3. 11. 12	ご利用者の意見、お正月の形態調査、主食の硬さについてなど
3. 12. 10	年末年始の食事、感染症対策、食事の検品・量についてなど
4. 1. 14	ゼリーの凝固、献立について意見交換、年末年始体制の評価など
4. 2. 8	（書面開催）ご利用者の意見、来年度の予定、残菜調査についてなど
4. 3. 22	（書面開催）ご利用者の意見、食品払出表の見直し、献立の検討など

## (荏原)

開催日	活動内容
3. 4. 8	選択食の回数及び内容、職員食の提供方法の確認についてなど
3. 5. 13	(デイ)おやつ見直しの意見聴取、小山の家の昼食提供方法についてなど
3. 6. 10	ご利用者の意見、ハードの老朽化を踏まえた食中毒予防について
3. 7. 8	ご利用者の意見、食の公平性や個別ケアについてなど
3. 8. 12	非常食の見直し(デイ・職員用)、異物混入発見後の対応についてなど
3. 9. 9	(書面開催)イベント行事合同開催、味や量のばらつきについてなど
3. 10. 14	特養おやつ形態の統一、カップの提供時間・必要個数についてなど
3. 11. 11	酢の物の酸味、おやつの内容(甘くないおやつの提供)についてなど
3. 12. 9	ショート入所時の食事キャンセル時間、特養おやつ会についてなど
4. 1. 13	正月料理の感想、配膳下膳に伴う変更事項についてなど
4. 2. 11	(書面開催)味についての意見、感染症対応(使い捨て食器の使用)など
4. 3. 10	揚げ物の硬さ(食べやすさ)とその対応、行事食の器についてなど

## (平塚橋)

開催日	活動内容
3. 4. 8	厨房とユニットでの炊飯区分についてなど
3. 5. 13	感染症対策、消毒についてなど
3. 6. 10	ソフト食や食形態についてなど
3. 7. 9	季節の変わり目による食品管理についてなど
3. 8. 12	水分補給、ユニット冷蔵庫管理についてなど
3. 9. 10	ソフト食の固さや形態、配膳時の連絡方法についてなど
3. 10. 14	朝食の温冷配膳車使用、下膳の注意事項についてなど
3. 11. 11	配膳時の衛生対応について、残食調査についてなど
3. 12. 9	ユニットでの盛付け方法や衛生管理についてなど
4. 1. 13	配膳食品の保管について、食品の払い出しについてなど
4. 2. 10	食形態の見直し、感染症予防についてなど
4. 3. 10	ソフト食、ペースト食、ペースト粥について

## 7. その他

### 1) 研修報告

令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため主にリモートによる研修に参加した。

※リモート研修は\*で表記

#### 施設外研修

(成 幸)

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)	日数 (日)	延人数 (人)
3	4	26	ケアプランサポート新任研修*	1	1	1
	5	10	生活支援記録法【F-SOAI】研修*	1	1	1
		24	品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座①*	1	1	1
	6	1~11/30	介護施設における安全対策担当者養成研修*	1	1	1
		4	精神保健福祉研修「心的外傷を受けた方に寄り添う支援をするために」*	1	1	1
		9	精神保健福祉研修「精神保健福祉領域の支援業務に必要な法制度の基礎を学ぶ」*	1	1	1
		14	精神保健福祉研修「認知行動療法の基礎知識」*	1	1	1
		15	品川福祉カレッジ認知症ケア専門コース「認知症の人がより良く暮らしていくことを支える医学・生活支援講座」*	1	1	1
		22	品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座②*	2	1	2
		30, 8/2, 10/14, 11/29, 3/2	品川福祉カレッジ 認知症ケア専門コース 施設ケア研修*	2	5	9
	7	9	しながわ多職種勉強会「優しさを伝えるケア技術：ユニチュード」*	1	1	1
		12	精神保健福祉研修「引きこもり状態にある方の理解と支援」*	1	1	1
		14	精神保健福祉研修「地域とのつながりが希薄になっている方への支援を考える」*	1	1	1
		28	高齢者施設におけるサービスマナー研修*	1	1	1
	8	13	高齢者虐待防止研修*	2	2	2
		25	高齢者の心臓疾患と管理*	1	1	1
	9	16	社会福祉事業従事者人権研修Ⅰ*	1	1	1
		17	品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座③*	2	1	2
		21	口腔リハビリの実際～何を観て、何をするのか～*	1	1	1
	10	18	介護現場で明日から活かせる口腔内観察、道具の選択、義歯の取り扱いの習得*	1	1	1
		25	認知症講演会「ケアマネジメントから探る認知症ケアの可能性」*	1	1	1
		26	しながわ防災学校「災害がもたらす被害・影響とその対応の基礎」*	9	1	9
	11	1, 4	東京都地域包括支援センター現任研修(1日は*)	2	1	2
		11	ゲートキーパー研修*	1	1	1
		12	ケアマネジメント標準化「疾患別ケア」脳血管疾患①*	2	1	2

	17	高齢者虐待防止研修*	1	1	1
	18~12/15	ミールラウンドでの食事観察のポイントと記録の仕方、食形態の選択と変更のタイミングと栄養ケアについて*	1	1	1
	25	社会福祉事業従事者人権研修Ⅱ*	1	1	1
12	2	令和3年度介護サービス事業管理者当高齢者権利擁護研修*	1	1	1
	15~2/28	介護サービス事業者支援研修*	3	1	3
	20	東京都国民健康保険団体連合会「介護サービス事業者のリスクマネジメントとハラスメント対策」*	1	1	1
4	2	16 ケアマネジメント標準化「疾患別ケア」脳血管疾患②*	1	1	1
	24	品川区高齢者虐待予防応用研修「セルフネグレクト ケアマネとしてどう関わる」*	1	1	1
	3	12 食と福祉の研究会「卵の正しい知識とおいしさ」*	1	1	1
	17	品川区介護予防ケアマネジメント研修*	2	1	2
		計	52	39	58

施設外研修

(戸越台)

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)	日数 (日)	延人数 (人)
3	4	23	高齢者総合支援システム研修会	2	1	2
		26	令和3年度新任ケアマネ向け研修	2	1	2
	5	10	生活支援記録法研修*	3	1	3
		24	品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座①*	2	1	2
	6	14	精神保健福祉研修(前期)	1	1	1
		22	品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座②*	2	1	2
		24	品川福祉カレッジ 認知症ケア専門コース*	3	1	3
		24~7/1	東京都地域包括支援センター 初任者研修*	4	4	16
		30, 8/2, 10/14	品川福祉カレッジ 認知症ケア専門コース	2	5	10
		11/29, 3/2	施設ケア研修*			
	7	2	精神保健福祉研修 非対面に対する相談の実際*	2	1	2
		9	品川多職種勉強会*	2	1	2
		12	精神保健福祉研修 「引きこもり状態にある方の理解と支援」*	2	1	2
	8	13	高齢者虐待防止研修*	2	1	2
		25	高齢者の心臓疾患と管理*	2	1	2
	9	16	社会福祉事業従事者人権研修Ⅰ*	2	1	2
10	5, 6, 18, 19		東京都地域包括支援センター 現任者研修	4	2	8
		28	安全対策担当者養成研修*	1	1	1
11	15		個別機能訓練と加算に関する研修会*	1	1	1
		25	社会福祉事業従事者人権研修Ⅱ*	2	1	2
		26	精神保健福祉研修(後期)*	1	1	1
		29	介護技術に関する研修会*	1	1	1
12	8, 17, 24, 1/21,		東京都主任介護支援専門員更新研修*	2	12	24
	27, 2/2, 10, 18,					
	3/3, 11, 17, 22					

4	1	20	国民健康保険団体連合会「介護サービス事業者のリスクマネジメントとハラスメント」*	2	1	2
		31	生活相談員リスクマネジメント研修*	1	1	1
	2	2	若年性認知症の本人の通いの場を作るガイドブック事業所向け説明会	2	1	2
		6, 14, 25, 26	東京都主任介護支援専門員更新研修*	1	4	4
	3	16	ケアマネジメント標準化 「疾患別ケア」脳血管疾患*	2	1	2
		18, 19, 23, 25	認知症介護実践者研修 eラーニング研修	1	4	4
		17	品川区介護予防ケアマネジメント研修*	2	1	2
			23	高齢者総合支援システム研修会	2	1
			計	57	51	106

施設外研修

(荏原・小山)

年	月	日	研修会名	人数 (人)	日数 (日)	延人数 (人)
3	4	23	認証ポータル、相談システムの使用方法について	1	1	1
		26	ケアプランサポート研修	1	1	1
	5	10	「支援の質の向上」につながる記録 生活支援記録法ケアマネ現場*	3	1	3
		24	令和3年度品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座 倫理・原論*	10	1	10
6		5	令和3年度第1回給食施設管理講習会*	2	1	2
		10	介護施設における安全対策担当者養成研修*	1	1	1
		22	令和3年度品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座 基礎的理解と基本ケア*	6	1	6
		22	令和3年度品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座 ケアマネジメントの標準化*	1	1	1
		25	令和3年度品川福祉カレッジ 認知症の人の心理 精神 面の理解とコミュニケーション*	1	1	1
		30, 8/2, 9月～11月 11/29, 3/2	品川福祉カレッジ 認知症ケア専門コース 施設ケア研修*	3	5	15
7		2	令和3年度精神保健福祉研修「非対面による相談の実際」 *	4	1	4
		7	令和3年度品川福祉カレッジ 認知症ケア専門コース センター方式基本講座*	1	1	1
		12	ひきこもり状態にある方の理解と支援*	1	1	1
		12	令和3年度精神保健福祉研修「大人の発達障害」*	1	1	1
		13	令和3年度品川福祉カレッジ 医療リハビリテーション 講座 拘縮・麻痺のある方のリハビリテーション*	1	1	1
		26	外国人職員受け入れ体制整備セミナー	1	1	1
8		25	令和3年度品川福祉カレッジ 医療リハビリテーション 講座 高齢期の心臓疾患と管理*	3	1	3
		25	防災・防火管理講習(再講習)	1	1	1
		27	社会福祉事業従事者人権研修【I】*	1	1	1
		29, 10/1	令和3年度自立支援 重度化防止等介護支援専門員	1	2	2

		質の向上*				
9	17	令和3年度品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座 基本ケア実践の振り返りと今後に向けて*	8	1	8	
	17, 24, 12/8, 12/9, 1/12, 2/10, 2/11	令和3年度東京都相談支援従事者初任者研修*	1	7	7	
10	14	ケアマネジメントの質の向上研修会 保険者と共に行う ケアプラン点検	1	1	1	
	18	しながわ防災学校*	4	1	4	
	25	社会福祉事業従事者人権研修【Ⅱ】	1	1	1	
11	16	自立支援、重度化防止のために あらためて「自立」を 考える	4	1	4	
12	2	令和3年度 介護サービス事業管理者等高齢者権利擁 護研修 高齢者虐待防止研修	1	1	1	
	3	品川・太田医療福祉栄養士の会 サルコペニアの摂食嚥 下障害 地域で発見・予防する方法	1	1	1	
	22	令和3年度品川福祉カレッジ 医療リハビリテーション 講座 高齢者のうつ*	1	1	1	
	8, 17, 24, 1/21, 1/27, 2/2, 2/10, 2/18, 3/3, 3/11, 3/17, 3/22	東京都主任介護支援専門員研修	2	12	24	
4	1	29, 2/3, 2/19, 3/8, 3/25	主任介護支援専門員更新研修	1	5	5
	2	17	令和3年度品川福祉カレッジ 医療リハビリテーション 講座 看取りと疼痛ケア*	2	1	2
	24	品川区高齢者虐待予防応用研修 セルフ・ネグレクト ケアマネとしどう関わる？	1	1	1	
		計	53	67	120	

施設外研修

(平塚橋)

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)	日数 (日)	延人数 (人)
3	6	1～11/30	介護施設における安全対策担当者養成研修*	1	1	1
		25	介護人材確保のための助成金セミナー*	1	1	1
		30, 8/2, 11/29, 3/2	施設ケア研修*	2	4	8
10		28	高齢者虐待防止のため運営基準への理解を深める	1	1	1
11		2～15	個別機能訓練と加算に関する研修会*	1	1	1
		10	国際福祉機器展	1	1	1
		29～12/13	介護技術に関する研修会*	15	1	15
12		2	高齢者虐待防止研修	1	1	1
4	2	15～28	ポジショニング・シーティングの考え方と実践*	15	1	15
			計	38	12	44

法人勉強会（成幸・戸越台・荏原・平塚橋）

令和3年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から法人勉強会ではなく、各施設もしくは事業所単位での勉強会をそれぞれ実施した。

施設内研修

（成 幸）

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
3	4	22	サービス研究会	令和3年度のサービス計画	施 設 長
	5	27	サービス研究会	腰痛・肩こり予防について	医 務 訓 練 室
	6	24	サービス研究会	食の衛生について～食中毒予防	栄 養 室
	7	29	サービス研究会	介護事故とリスクマネジメント	施 設 長
	8	31	施設内勉強会	ポジショニングについて	医 務 訓 練 室
	9	1～30	オンライン動画 研 修	リスクマネジメント	オンライン動画
		30	サービス研究会	虐待防止について	課 長
	10	1～ 11/30	オンライン動画 研 修	虐待と不適切ケア、不適切ケアの防止、身体拘束は虐待、身体拘束にならない工夫	オンライン動画
		14	サービス研究会	介護職員のための感染対策マニュアル、誤嚥性肺炎予防のための食事姿勢と口腔健康管理	医 務 訓 練 室
		28	サービス研究会	年末調整手続き、住宅ローン・保険の基礎知識、退職金について	事 務
	11	25	サービス研究会	私たちを取り巻く様々な災害	成幸支援センター
	12	1～ 1/31	オンライン動画 研 修	終末期の介護、看取りの要件、感染経路、感染予防、感染経路の遮断	オンライン動画
23		サービス研究会	看取り介護について	生活サービス室	
4	2	1～ 3/31	オンライン動画 研 修	認知症の人の対応、個人情報の取得と利用	オンライン動画
	3	24	サービス研究会	虐待研修報告	デイサービス
		26	施設内勉強会	褥瘡について	回 覧

## 施設内研修

(戸越台)

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
3	4	15	サービス研究会	令和3年度のサービス計画	施 設 長
	5	20	サービス研究会	介護施設における食中毒対策・LIFEについて	栄 養 室
	6	10	サービス研究会	新型コロナワクチンについて	医 務 訓 練 室
	7	30	サービス研究会	認知症の人がより良く暮らしていくことを支えるための医学・生活支援講座	デイサービス
	8	19	サービス研究会	高齢者虐待防止について	施 設 長
	9	1～30	オンライン動画 研 修	リスクマネジメント	オンライン動画
		16	サービス研究会	拘縮ケアについて	生活サービス室
	10	1～ 11/30	オンライン動画 研 修	虐待と不適切ケア、不適切ケアの防止、身体拘束は虐待、身体拘束にならない工夫	オンライン動画
		21	サービス研究会	災害時における防災・支援対策を取り巻く現状について	戸越台支援センター
	11	18	サービス研究会	施設現場に則した具体的な感染対策、介護職員のための感染対策マニュアル	医 務 訓 練 室
	12	1～ 1/31	オンライン動画 研 修	終末期の介護、看取りの要件、感染経路、感染予防、感染経路の遮断	オンライン動画
		8, 11, 13	施 設 勉 強 会	感染症について（吐物の処理方法）	医 務 訓 練 室
		17	サービス研究会	品川区高齢者IoT事業への取り組み	杜松支援センター
		28, 29, 30	施 設 勉 強 会	餅や異物がのどにつまった時の対応法	医 務 訓 練 室
4	2	1～ 3/31	オンライン動画 研 修	認知症の人の対応、個人情報の取得と利用	オンライン動画
	3	17	サービス研究会	腰痛の予防と対策	医 務 訓 練 室
		23	施 設 勉 強 会	身体拘束・事故予防・看取り・褥瘡予防 勉強会	生活サービス室

※毎週日曜日 介護技術勉強会実施

※火・水・金・土曜日 サービスマナー勉強会

※毎週月曜日・木曜日 ケア向上勉強会

## 施設内研修

(荏原)

年	月	日	研 修 会 名	内 容	担当・講師	
3	4	22	サービス研究会	令和3年度の計画を決定	施 設 長	
		5	27	サービス研究会	食中毒・感染症	栄 養 室
		6	24	サービス研究会	褥瘡とは、感染症対策（ガウンテクニック）	医 務 室
		7	29	サービス研究会	「産休・育休ガイドブック」について	事 務 室
		8	26	サービス研究会	人権の基本的な理解について	施 設 長
	9	1～30	オンライン動画 研 修	リスクマネジメント	オンライン動画	
		30	サービス研究会	「生活支援記録法（FSOAIP）クイック スタートマニュアル」についてとは	小山支援センター	
	10	1～ 11/30	オンライン動画 研 修	虐待と不適切ケア、不適切ケアの防止、 身体拘束は虐待、身体拘束にならない 工夫	オンライン動画	
		28	サービス研究会	腰痛予防について	訓 練 室	
		23, 27, 29, 30	施設内勉強会	高齢者虐待防止について	施 設 長	
	11	25	サービス研究会	看取り介護について	生活サービス室	
	12	1～ 1/31	オンライン動画 研 修	終末期の介護、看取りの要件、感染経 路、感染予防・感染経路の遮断	オンライン動画	
23		サービス研究会	ACP(アドバンス・ケア・プランニング ～人生会議～について)	荏原支援センター		
4	1	27	サービス研究会	「顧客満足度向上のための質問の力」に ついて	ショートステイ	
		1～ 3/31	オンライン動画 研 修	認知症の人の対応、個人情報の取得と 利用	オンライン動画	
		24	サービス研究会	高齢者のうつの理解	デイサービス	
	3	24	サービス研究会	認知症ケア実践報告	生活サービス室	

※施設勉強会は、感染症対応のため、資料供覧し実施。

## 施設内研修

(平塚橋)

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
3	5	20	サービス研究会	食中毒・感染症	栄 養 室
		22	施 設 勉 強 会	認知症ケア	施設サービス課長
	6	17	サービス研究会	看取り	医 務 訓 練 室
	7	15	サービス研究会	虐待・身体拘束	生活サービス室
		16	施 設 勉 強 会	介護職員の倫理	生活サービス室
	8	19	サービス研究会	事故予防	医 務 訓 練 室
	9	1~30	オンライン動画 研 修	リスクマネジメント	オンライン動画
			17	サービス研究会	ストレスマネジメント
		24~11/2	施 設 勉 強 会	虐待防止	施 設 長
	10	1~11/30	オンライン動画 研 修	虐待と不適切ケア、不適切ケア の防止、身体拘束は虐待、身体 拘束にならない工夫	オンライン動画
			22	サービス研究会	感染症
	11	18	サービス研究会	個人情報	施 設 長
	12	1~1/31	オンライン動画 研 修	終末期の介護、看取りの要件、 感染経路、感染予防・感染経路 の遮断	オンライン動画
			16	サービス研究会	事故予防
	4	1	20	サービス研究会	褥瘡予防
	2	1~3/31	オンライン動画 研 修	認知症の人の対応、個人情報の 取得と利用	オンライン動画
			17	サービス研究会	看取り
	3	17	サービス研究会	身体拘束	施設サービス課長

※上記勉強会資料を各ユニットで回覧、休憩室に資料を設置。

## 2) 実習生受入れ

(単位：人)

区 分	延べ人数	福祉系大学 専門学校等		その他	
		人数	延人数	人数	延人数
成 幸	105	20	102	3	3
戸 越 台	211	23	100	37	111
荏 原	482	21	168	51	314
小山の家	16	8	16	—	—
平塚橋	79	4	72	7	7

区 分	主な実習依頼先
成 幸	品川介護福祉専門学校、東京医療保健大学、 昭和大学医学部附属看護専門学校
戸越台	品川介護福祉専門学校、品川区社会福祉協議会、淑徳短期大学、 東京医療保健大学、女子栄養大学
荏 原	品川区社会福祉協議会、品川介護福祉専門学校、日本福祉教育専門学校 女子栄養大学、東京家政大学短期大学部、東京医療保健大学、 東京聖栄大学
小山の家	昭和大学医学部附属看護専門学校
平塚橋	品川介護福祉専門学校、東京医療保健大学

※新型コロナウイルス感染症予防のため、例年受入れしている実習を制限した。

### 3) 見学

本年度中、訪れた見学者は、次の表に示す通りである。新型コロナウイルス感染症予防のため、状況によりビデオや写真で案内した。

<年間の見学>

(成 幸)

(単位：人)

年	月	個人・団体	人数
3	7	入所検討	2
	8	入所検討	2
4	2	入所検討	1
	3	入所検討	1
		合 計	6

(戸越台)

(単位：人)

年	月	個人・団体	人数
3	4	入所検討	3
	6	入所検討	2
	7	入所検討	2
	8	入所検討	3
	9	入所検討	2
	10	入所検討	1
	11	入所検討	3
	12	入所検討	2
4	1	入所検討	4
	2	入所検討	2
	3	入所検討	2
		合 計	26

(荏原)

(単位：人)

年	月	個人・団体	人数
3	6	就職検討	2
	7	入所検討	1
	11	入所検討	2
	12	入所検討	1
4	1	入所検討	1
	2	入所検討	3
	3	就職検討	1
		合計	11

(小山の家)

(単位：人)

年	月	個人・団体	人数
2	4	サービス利用前見学	1
	6	サービス利用前見学	1
	7	サービス利用前見学	1
	9	サービス利用前見学	1
	10	サービス利用前見学	1
3	1	サービス利用前見学	1
	2	サービス利用前見学	1
	3	サービス利用前見学	1
		合計	8

(平塚橋)

(単位：人)

年	月	個人・団体	人数
3	7	入居検討	9
	8	入居検討	5
4	1	入居検討	4
	2	入居検討	3
		合計	21

## 4) 近隣との交流

新型コロナウイルス感染予防のため、地域のイベントや交流事業が中止となった。

### 【実施した事業】

(戸越台ホーム)

令和3年7月7日 第21回戸越台中学校との七夕交流会

7月17日 戸越台中学校市民科事業「特養とは? 認知症について」

11月26日 戸越台中学校 職場体験(職員へのインタビュー方式)

12月18日 戸越台中学校とのクリスマスコンサート(リモート演奏会)

令和4年3月16日 戸越台中学校「認知症サポーター養成講座レベルアップ事業

### 【中止した主な事業】

地域事業：荏原第1・3地区区民まつり、みんな集まれ「ふくしまつり」

職場体験：戸越台中学校、荏原平塚学園、荏原第五中学校、荏原第六中学校

小・中学校交流事業：中延小学校、宮前小学校、小山小学校、戸越台中学校、荏原平塚学園

保育園交流：東戸越保育園、清水台保育園

地域交流：各町会祭礼(盆踊り、神輿)、戸越八幡神社、三谷八幡神社、戸越銀座商店街、平塚橋ゆうゆうプラザ

## 5) ボランティア事業報告

### 【ボランティア活動状況】

新型コロナウイルス感染症予防のため、年間を通してボランティアの受入れを見合わせた。ボランティア活動者へはホームページや「三徳だより」等を郵送するなど広報を行い、活動が可能になったら再開していただけるよう、ボランティア登録を継続している。予定していた施設まつりは開催を見合わせた。

区分	行事名	参加人数(人)
成幸	成幸まつり	開催せず
	クリスマス会	—
戸越台	戸越台まつり	開催せず
	クリスマス会	—
荏原	荏原まつり	開催せず
	クリスマス会	—
平塚橋	合同作品展	開催せず

※戸越台はクリスマス会を実施したがボランティアの受入れは実施せず

別表 ボランティア登録状況（定期）

施設名	活動内容	登録人数	活動回数
成 幸	リハビリ	3	週1～2回
	洗濯たたみ	2	週1～3回
	ホーム喫茶・バイキング（民生委員）	11	計11回
	ピアノとアコーディオン	4	月1回
	話し相手	1	週1回
	クラブ手伝い	1	月2回
	ピアノ演奏	1	週1回
戸 越 台	リハビリ	9	週1～2回
	ドライヤー	1	週1～2回
	夕食手伝い	1	週1回
	生花	1	月1回
	車いす清掃	12	月1回
	シーツ交換	4	月1回
	エレクtoon演奏	1	月1回
	三味線演奏紙芝居・歌	6	月1回
	ホーム喫茶（民生委員）	12	月1回
	昼食手伝い	3	週1回
	フロア清掃	4	週2回
	洗濯たたみ	6	週1～2回
	ホーム喫茶	5	月1回
荏 原	デイサービスお茶出し	2	週1回
	ショートステイ話し相手	1	週1回
	デイサービスカラオケ補助	1	週1回
	デイサービス下膳	6	週1回
	ピアノ演奏	3	週1～2回
	縫いもの	1	不定期
	紙芝居	1	週2回
	リハビリ手伝い	3	週1回
小山の家	昼食手伝い	3	なし
	おやつ手伝い	2	週2回
	食後の片づけ手伝い	1	週2回
	散歩介助	2	なし

※ボランティア登録者を掲載（活動実績と異なる）

## 6) 令和3年度行事表

(成 幸)

月	日	行 事	場 所
5	3～5	菖蒲湯	浴室
7	13～16	お盆	館内
9	6～11	デイサービスお祭り週間	デイサービスセンター
	19	敬老式典	1階
	20～26	お彼岸	館内
12	19	クリスマス会	館内
	20～25	デイサービス クリスマス会	デイサービス
	20, 21, 22	ゆず湯	浴室
1	12	書初め	3・4階
3	18～24	お彼岸	館内

(戸越台)

月	日	行 事	場 所
5	3～8	菖蒲湯	浴室
6	10	ランチ会	9階
7	2	七夕(戸越台中学校来園)	5階
	7	七夕会	5階～7階
	19	すいか割り	5階
8	4	夏まつり	サービスセンター
9	19	敬老式典	8階
	21	お月見	屋上
10	28	総合防災訓練	5階～10階、屋上
11	11	ランチ会(デリバリー)	9階
	19	クリスマス会	8階
12	20～25	ゆず湯	浴室
	15	クリスマス演奏会	サービスセンター
		クリスマスコンサート	
	18	(戸越台中学校リモート)	8階
1	1～3	初詣	8階
	4～10	新年週間	サービスセンター
	14～18	作品展	戸越台中学校ランチルーム
2	3	節分	5・6・7階
	3	節分	サービスセンター

## (荇原・小山)

月	日	行 事	場 所
4	5/1	菖蒲湯 (デイ5/5~11)	各浴室
8	7	かき氷大会	特養フロア
9	19	敬老式典	荇原ホーム1階
10	20	荇原複合施設総合防災訓練	全館
12	20	特養クリスマス会	3・4階
	18~24	デイサービス クリスマス週間	デイサービスセンター
	19~21	ゆず湯 (デイ12/20~25)	特養、ショート、デイ
1	4~10	デイサービス新春週間	デイサービスセンター
2	3	節分	3階

## (平塚橋)

月	日	行 事	場 所
5	4~8	菖蒲湯	浴室
9	18	敬老式典	1階ゆうゆうプラザ館内
12	3	おたのしみ会 (パスタランチ)	館内 (ユニット)
	21~23	柚子湯	浴室
	25	クリスマス会	館内 (ユニット)
3	9	合同防災訓練(ビデオ視聴・消火器訓練)	1階ゆうゆうプラザ館内

## 8. 事例報告

### (1) 家族の絆をもう一度 ～家族の力が両親の生活を立て直すまで～ (成幸在宅介護支援センター)

#### 《はじめに》

現代社会では高齢者のみの世帯が増えている。親は「子どもに迷惑をかけられない」と限界が来ても子どもに頼らず生活を維持しようとするが、その頑張りが親の生活や心身の変化に気づくチャンスを遠ざけてしまうこともある。

本事例は、疎遠のために両親の心身の変化に気づくことができなかつた息子が、生活が困難となった両親を家族の支援により生活を立て直したケースである。

#### 《ケース紹介》

対象者 : S様夫婦

夫 93歳 要介護2 現病歴 認知症  
認知症高齢者の日常生活自立度 II b  
妻 97歳 要介護4 現病歴 認知症  
認知症高齢者の日常生活自立度 III b

ADL : 夫婦ともに自立

家族構成 : 夫婦2人暮らしで、子どもは別居の長男のみ。

住環境 : 2階建て住宅。室内は物が多く、コバエが飛んでおり、清潔とは言えない環境。

生活状況 : 認知症により問題行動が多くなっており、コンビニで1万円相当の買い物をしたり食パンを一度に4斤購入し、1日で食べてしまう生活を送っていた。

長男夫婦 : 年に数回しか訪問しないため、認知症の進行により日常生活が困難になっている両親の状況を理解していない。

#### 《支援経過》

##### 【令和元年9月】

長男夫婦が新規申請で成幸在宅介護支援センターに来所。久しぶりに両親の家を訪ねたら生活状況がおかしくなっていたと相談がある。洗濯機の使用方法がわからなくなったため、複数の桶に衣類がつけられ放置されている。冷蔵庫は期限切れの食品がたくさん入っており、食べている形跡がないなど、以前の生活状況と様変わりしているとのこと。

##### 【令和元年11月】

初回訪問。室内に入ると荷物が積み上げられている状態で、コバエが飛んでおり不衛生な状況であった。長男夫婦より2人をデイサービスに通わせたいと希望があったが、S様夫婦は最初「なぜ、デイサービスへ行くのか」と拒否されていた。やがて長男の説得により、利用に同意される。

契約時、ケアマネジャーは長男夫妻にサービス利用だけでは生活の改善は難しいため、両親の生活を支えるには家族の介入も必要であると説明した。

### 【サービス利用状況】

ケアマネジャーはまず、訪問介護が週5回、デイサービスが週3回、月曜から金曜までサービスを提供することで、生活実態の把握ができるようにケアプランの作成を行った。

### 【期待される効果】

引きこもり生活により社会との接点がなくなっていた高齢であるS様夫婦の日常生活を、長男夫婦が介入することで親子の関係性を再構築していき、社会との接点をもてる日常生活を取り戻すことができる。

### 【具体的な内容・方法】

具体的な内容と方法として、5つのことを長男夫妻に提案し、支援体制を整える。

- ①専門医の受診を勧め、長男夫婦が認知症の理解を深める。
- ②デイサービスやヘルパーの利用により、生活状況の把握を行う。
- ③毎月の定期訪問時は、長男が同席できるように調整する。
- ④生活の中でトラブルが起きた場合は、まず長男へ報告し、どのような対応が良いか長男と一緒に考えていく。
- ⑤今後のことについては、長男、S様夫婦、ケアマネジャーで検討する場を設ける。

### 《結果》

長年、S様夫婦は高齢者2人だけの生活が続き、社会との接点もなかったが、介護保険サービスの利用を機に自宅に訪問する人が増え、不規則な日常生活から生活リズムがとれるように変わった。その結果、S様夫婦に笑顔と会話が増え、生活に大きな変化が見られた。

年に数回訪問する程度であった長男夫婦の意識も大きく変わり、毎月定期訪問に同席され、様々な問題の一つずつ解決しようという意識が芽生え、両親が住みやすい環境で暮らせるようにと、望むようになった。

### 《考察》

- ・介護保険サービスの導入により良好な親子関係を築くことができるようになり、それぞれの立場での意見を交わせる関係性へと変わっていった。
- ・長男夫婦に介護力がつき、自分たちで問題解決をしていくことができるようになった。
- ・高齢者2人で在宅生活を続けることには限界があることを、親子共に気づくことができた。

### 《まとめ》

その後、S様夫婦は施設入所となった。両親の生活がこのままの状態が続いていくのは難しいと判断した長男は、施設入所にあたり両親と話し合い、その思いに応えようとS様夫妻は入所を決断した。

このケースを振り返ると、両親の生活や心身の状況の変化に気づけなかった長男夫婦が、在宅生活の限界まで支援ができたことは、家族の成長であったと考える。ケアマネジャーとして、このケースに携わり家族力の大切さを再認識し、家族や本人の複雑な思いに寄り添えるような相談支援を心がけたいと感じた事例であった。

## (2) わたしの安心できる場所

(戸越台ホーム)

### 《はじめに》

コロナ禍に入所され、外出・イベント・家族との面会が制限されているなか、とても遠慮がちで自身の気持ちを話さないF様に「ここでの生活も悪くないな」と感じていただけるような居心地の良い、落ち着いた場所になるように働きかけたケース。

### 《ケース紹介》

F様 93歳 女性 要介護度4

既往歴：認知症、腰椎椎体骨折、廃用症候群、緑内障

- ・意思疎通は可能。認知症の診断を受けているが、意識レベルは高い。結婚はしておらず義理の妹・甥と自宅で生活していた。甥は高次機能障害で言語障害があり、義理の妹は要支援2の認定を受けている。甥が働きながら2人の介護をしていた。限度額をオーバーしながら介護サービスを利用し、自宅で生活を継続していた。甥の精神的な負担が大きく、令和2年1月に当施設に入所された。

### 《経過》

入所して1か月で入院。

令和3年2月26日～3月12日 第三北品川病院 急性膵炎の診断。

退院後、食事は脂質制限があり、活気はなく諦めた表情であった。

入所前は自動販売機で好きなジュースを購入し、おやつを召し上がっていたが、現在では、週2回のせんべいと野菜ジュースに制限されている。

職員に迷惑がかかると思い、遠慮や我慢をすることが多く、次のような状況がみられた。

- ・歩かないと歩けなくなるので歩きたいが、迷惑がかかるので自分からは言いだせない。
- ・朝は職員が忙しそうだから、トイレに行くときは歩行器での移動ではなく、車いす介助を希望することがある。
- ・夜間のポータブルトイレも迷惑がかかると思って我慢してしまい、オムツで用を足してしまう。

そこで、職員間でF様の気持ちに寄り添うため情報共有を行った。

### 《F様の情報共有》

- ・夜トイレに呼ぶのは申し訳ない
- ・職員は皆忙しそうだから頼みにくい
- ・昔は旅行が楽しみだった
- ・リハビリを頑張りたい
- ・テレビをみたいけど、遠慮して遠い自席から見ている
- ・話しかけられるとうれしい
- ・歩く練習をしたい

## 《働きかけによる本人の変化》

- ・職員が他利用者との橋渡しをして話す機会を設けると、同テーブルの皆さんと楽しそうに関わることが多くなり以前より笑顔がみられ、本人からの会話も増えた。
- ・用事がある時はキョロキョロと見渡す動作があるので、こちらから気にとめ声をかけるようにした。
- ・歩行に付き添った時に、職員が「あなたが歩いてよかった」「歩いてうれしい」という感情を伝えることで、本人が遠慮することなく歩きたいという意思を表現しやすくなった。
- ・夜間は、職員が定時に排泄の声かけをしたところ、オムツではなく「ポータブルトイレを使ってもいいのだ」と思っていただけになり、ナースコールを押してくれるようになった。
- ・脂質制限があるが、栄養士・看護師に確認をとってお誕生日にケーキを食べた。とても喜ばれ、「また来年も食べられるように頑張る」と意欲がみられた。
- ・「ここは安心できる場所だから一生ここにいて決めたよ。もう住所も移しちゃったし」と、実際は住所変更をしてないことを伝えると、「そうなの？でも決めた。ここにいてよ」と話された。

## 《考察》

戸越台ホームでは、サービスマナーの勉強会を通して、「あなたを大切に思っています」ということを相手に伝える技術を学び、非言語コミュニケーションの基本である声のかけ方や接し方を実践してきた。

F様が何かもの言いたげな表情をされているときに、職員が足を止め適度な距離を保ちながら視線の高さを合わせ、落ち着いた声のトーンで話しかけることで、本人が自分の言葉で語り始めたとき

学びが活かされていると実感できた。

入所当初は遠慮をしてなかなか本音を語らなかった利用者が関わりを重ねていく中で、職員や周囲の人たちと徐々に心を通わせ、信頼関係を築き、利用者本人から前述のような言葉を聞くことができたことは、とても感慨深いものがある。

介護職員に限らず、多職種とも連携・協働し、利用者に関わる全ての職員が統一した「ケアの価値観」を共有し、利用者が安心した雰囲気の中で生活できるように、取り組みの輪をさらに大きく広げていきたい。

### (3) キーパーソンのいない認知機能が低下した利用者の意思決定支援について (戸越台在宅介護支援センター)

#### 《はじめに》

超高齢化社会と言われる現代は、一人暮らしの高齢者が今後さらに増えることが予測されている。その中でも身寄りがいない、または身寄りがいてもキーパーソンになりえない家族がいることで、利用者の意思決定支援について考える機会が増えている。

今回は「意思決定支援ガイドライン」を参考にキーパーソンのいない認知機能が低下している利用者の意思決定を尊重し、生命を守り、本人が望む生活を送ることができるように意思決定支援を行ったケースを検討する。

#### 《ケース紹介》

利用者 Y様 77歳 女性

総合事業対象者→要介護1

家族構成：結婚歴はなく姉弟はいない。裕福な生まれで、お手伝いさんがいる環境で育った。

住環境：3階建てアパートの最上階。エレベーターなし。1階に大家が居住。30年程前から住んでいる。

介護保険サービス：週1回の訪問介護（買い物代行）→訪問診療・毎日の訪問介護

#### 《支援経過》

【平成28年9月】

熱中症による入院。退院時、病院から在宅介護支援センターに支援の相談を受け、支援を開始。

【令和30年3月～】

総合事業対象者として訪問介護利用開始。

【令和3年9月】

アパートの大家より、在宅介護支援センターや区役所に「外をぼんやり見ている、像が見えると言ったりしている。認知症を疑われる様子なので、何かあったら心配である」との連絡が入るようになった。本人は数年受診していなかったため、ケアマネジャーが健康状態の把握と認知機能の確認のために区民健診を勧めるようになった。

【令和3年12月】

利用者に数回区民健診の必要性を説明して受診につながった。その結果、乳がんの疑いがあり、専門医への紹介状が出された。

【令和4年1月】

紹介された病院を受診。リンパへ転移した乳がんが見つかった。

【令和4年3月】

乳がん摘出手術のために入院し月末に退院。その際のADLは大きく変化なし。

【令和4年4月上旬】

訪問しているヘルパーより体調不良の報告を受けケアマネジャー訪問。アパート3階のため外出機会が減り食欲も低下、体重減少が目立つようになった。術後の経過を診るために再受診

したところ、脳への転移が見つかった。

【令和4年4月14日】

病院受診にケアマネジャー同席。本人、医師、ケアマネジャーと共に今後の治療方針を相談。医師からは放射線治療の説明があり、本人は「どうしてもよいわ。私死んじゃうんでしょ」との発言あり、積極的な治療は拒否した。

自宅帰宅後、再度本人の意向をケアマネジャーが確認すると、意向は変わらなかった。状態の低下と介護保険サービス利用の増加が見込まれたため、本人に説明、了解を得て要介護認定の新規申請を実施。

【令和4年4月25日】

病院受診に再度ケアマネジャー同席。放射線治療、化学治療などは実施せず、病院の受診も負担が大きいので、訪問診療に切り替えることを本人、医師、ケアマネジャーと確認。

【令和4年4月下旬】

本人の今後の生活する上での意向と金銭管理の方法を確認するために、高齢者福祉課担当ケースワーカーと同行訪問する。本人からは「もう入院したくない。通院も疲れるから行きたくない。家で過ごしたい、苦しいのは嫌」という意向を確認。通帳の場所もわからず、家賃の滞納も発覚したので、金銭管理ができないことも確認。

在宅介護支援センターと高齢者福祉課が今後の支援方針を検討した結果、キーパーソンもいない、金銭管理ができない状態から権利擁護の関わりが必要と判断。成年後見制度について数回に渡り説明したところ、制度の利用を了解したため、申し立ての準備を開始した。

【令和4年5月～】

訪問診療が開始になり、訪問介護も週2回から毎日の訪問へ変更になった。

現在も支援を継続中。

## 《考察》

対人援助職は本人の「意思決定」の支援が重要である。しかし、その決定は本人にとって妥当なものなのか、本人が決定できる能力があるのかをケアマネジャーは情報を収集し、アセスメントする必要がある。

Y様は生育歴や性格から、積極的に何かを判断したり、行動したりするのが難しい方だった。さらにはがんの脳転移もあり、妥当な判断能力が低下していると思われた。本人の意思をそのまま尊重すれば、受診することもなく治療にもつながらなかった。そして金銭管理もできず、生活が破綻することも予測された。

本人、家族の希望することだけを対処するのでは、専門職とは言えない。しかし、本人の意思決定は尊重すべきという思いから、判断に迷うこともある。そのため、厚生労働省「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」を参考に、本人が理解できるように説明し、本人を含めた医師、ケアマネジャーなどと意思確認を繰り返した。その結果、本人が望むであろう生活への支援につなげていくことができたのではないかと考える。

この先も支援は継続するが、本人が自ら意思決定できるように支援し、支援方法に困難、疑問を感じた場合は本人を含めた関係者（意思決定支援チーム）による話し合いを重ねていきたい。

## (4) 品川福祉カレッジ認知症ケア専門コース施設ケア研修報告

(荏原ホーム)

### 《はじめに》

およそ15年にわたり継続して参加していた品川介護専門学校による施設ケア研修が今年度でひと段落することとなった。集大成として取り組んだ今年度のテーマ設定については『自分らしく居心地の良い、安心できる空間で生活したい』を荏原ホームの目指す「利用者が主体となって生きている姿」として考えることとし、3つの課題に取り組んだ。

＜3つの課題＞

- ①個々に利用者とのコミュニケーションを図り、「やりたいこと」「苦手なこと」を知り実践する。その際本人の想いの他に、家族の想いも加えていく。利用者同士、利用者と職員の間で会話の機会を増やし、日々の暮らしの中でレクリエーションや行事を企画・実施する。
- ②口腔ケア時、業務の効率化を重視するのではなく、利用者の羞恥心に配慮したケアを行う。義歯を外してしまう理由を考え、それに合わせた対応をする。
- ③適時整容が行えるよう、職員の意識を変える。

### 《①に関して》

普段の生活の中で利用者から利用者一人ひとりに「やりたいこと」を聞き実践した。利用者の話しを聞くなかで、中にはレクリエーションやイベントにはあまり参加したくない方もいるのではないかと考え、同時に「苦手なこと」を確認した。利用者の中にはご自分の意思表示が難しい方もいるので、そのような方はアセスメント表などを参考に家族の想いを知り、実践していくこととした。話を聞く中でレクリエーションには参加せず自分のペースでゆっくりと過ごしたい方がいるということにも気づくことができた。また、利用者からの話は記録に残し、レクリエーション等を行うことが多い場所にまとめた表を作り掲示することで、全職員と共有できるようにし、昼食後など空いた時間に実践した。

コロナ禍で行えるレクリエーションを企画。7月にはスイカ割りを実施した。本物のスイカは使用せず、スイカ柄のビーチボールと巨大で叩くと割れる手作りのスイカを使用。積極的に参加して下さる方、見ていただけの方、反応は様々だったが、スイカが割れると大きな歓声が上がっていた。9月に花火大会の動画を大画面で上映し、大音量の花火の音を聞きながら夏気分を味わった。10月には、秋のおやつ会を開催。12月に行ったクリスマス喫茶では、おやつの種類を4種類に増やし、ソフト食の方もレアチーズかババロアどちらかを選択できるようにした。前回同様メニューを作成し、利用者同士でお話をしながら楽しそうに選んでいたのが印象的であった。

日常生活の場面においても、ご本人の希望である「習字を毎日やりたい」「お参りに行きたい」「お化粧をしたい」方、家族からの希望のあった「日光浴をさせてあげてほしい」方、それぞれの日常の中にできるだけ取り込めるよう対応している。今までのその方が大切にしてきたものが垣間見られ、大事にしていきたいと思わせられる瞬間に立ち会うことができている。

### 《②に関して》

日中を通して食堂で過ごされる方は、食堂内にある洗面台にて口腔ケアを行っている。口腔ケア時の衛生面や一部の利用者の義歯預かりに対して羞恥心への配慮はできているか？という疑問から他職員の意見や想い、現状を知るためにアンケートを実施した。

質問項目の中の『羞恥心に配慮した方法で行っていますか?』の結果として、「はい」と回答した職員からは「人前で行うことではないため、人目を避けてしている」との意見があがった。それに対し「いいえ」と回答した職員は「時間に追われ効率を重視している」などの意見があり、羞恥心に対し、職員によっての意識の差があると現状を知ることができた。現状を踏まえ、羞恥心の配慮を考えたケアとして『やむを得ず食事の席や人前で口腔ケアを行うときは、他利用者の目隠しになるよう立ち位置を気に掛ける』ことの周知を行った。

また、『食後紛失のリスクから義歯を預かることで「歯がないから恥ずかしい」「話しにくい」と利用者の意見があることから、どう対応するのが良いですか』という質問に対しては「もう一度義歯預かりの対象を確認してもいいのでは」といった意見があがったため、実際に2名の利用者の義歯を日中は預からず装着したままとした。その他、義歯を外してしまう理由として、口腔内の残渣物に違和感があることから義歯を外してしまうのでは?との意見もあがり『必ず義歯を外してうがいやブラッシングを行うこと』を職員間で確認した。今後も歯科往診等、他職種と連携を取りながら行っていく。

### 《③に関して》

個人持ちのブラシを見える場所に置くことや、新しいブラシを購入して各居室に設置をしたことで、起床時のみではなく適宜髪をとかず職員が増えた。衣類については、居室担当が不足分の衣類の確認を行い、家族に持参の依頼をし、季節にあった衣類の着用につながった。

### 《取り組みを行って》

- ・今回の取り組みで確認した利用者の想いは記録に残したことで、他職員と情報を共有し、つながりのある個別ケアを展開することができた。おやつ会では利用者が食べたい物を選べる環境を作ることで、利用者の好みなど新たな一面を知ることができた。
- ・ブラシなど物品の置く位置や、声掛けを工夫するなど環境を整えることで自ら身だしなみを整える方が増え、利用者の生活の幅が広がると感じた。こだわりや利用者の想いを大切に、職員が数秒、数分の時間を『待って見守る』ことで、本来の利用者自身のできることを引き出せることを実感した。
- ・取り組みを行う中で何か行動を起こす際には書面で他職員にお知らせを出したが、書面では上手く伝わらず、私たちが思っていることとは別の意味でとらえられてしまうこともあった。また、時間が経つと実施できていたことが徐々に実施できなくなっていたこともあり改めて周知・実践・継続することの難しさを感じた。

### 《今後に向けて》

- ・「選べる環境」や、ブラシの設置など整えた環境の継続。
- ・今までレクリエーションやイベントには皆楽しんで参加しているものと思っていたが、すべての方が参加したいと思っていないということに気づくことができた。これからも固定観念にとらわれず利用者個々の想いに耳を傾け、それぞれの日常生活に取り入れていく。
- ・利用者の想いをアセスメント表などにも反映させ継続的な支援へとつなげていく。
- ・アンケートを取ったことでそれぞれの職員の想いを知ることができた。今後も職員同士の価値観や思いを情報共有していく。そして介護者の一方的な価値観の押し付けではなく、利用者にとって大切にしたいことを利用者自身に確認していくことで、より良い生活を利用者と共に紡いでいきたい。

## (5) 品川区高齢者 I o T 事業に参画して

(荏原在宅介護支援センター)

### 《はじめに》

品川区介護支援専門員連絡協議会・パナソニック・国際医療福祉大学大学院・品川区高齢者福祉課共同事業として行われた、品川区高齢者 I o T 事業「I o T を活用したケアマネジメント向上支援事業」に参画した。この取り組みは一人暮らしの認知症高齢者の生活リズムを整える取り組みである。トイレ、食事、入浴、外出等の暮らしの日課、いわゆる生活リズムが自分に合ったペースで無理なく、毎日続けることが、健康維持には大切である。しかし時としてリズムが乱れてしまうことがある。それは、さまざまなことが原因になるが、意外にもその原因は、自分自身では見つけにくいものであることが多い。

この取り組みは生活リズムの変化を見つけ、生活を整えるアドバイスと、その支援を行い、ケアマネジメントの質向上による要介護高齢者の Q O L 向上が目的である。自宅内に設置したセンサーで得た情報から、生活リズムを緩やかに把握、確認を行うことで、ケアマネジメントの質の向上を図った報告である。

### 《ケース紹介》

H 様 90 歳 男性 要介護 1 戸建てに独居 認知症あり

既往歴：慢性心不全、心房細動、冠動脈ステント留置、腰部脊柱管狭窄症、脳血栓後遺症

移 動：室内は歩行器使用、屋外は車いす使用

食 事：宅配弁当、ヘルパーが総菜を購入、電子レンジ使えるが適切な時間ではない

排 泄：リハビリパンツ使用、昼夜共にトイレ使用、パット内に失禁あり

会 話：呂律が回らない、伝えたい言葉がなかなか言葉に出ないが会話は成立する

物忘れ：言ったそばから忘れてしまう。1日に数十回も息子に電話をかけてしまうことがある

### 《実証の進め方》

対象者として、認知症のある独居の方を 1 名選出する

①応募帳票の提出 ⇒ ②同意書の署名 ⇒ ③設置工事前ミーティング (zoom)

④工事立ち合い ⇒ ⑤評価 (開始時点) ⇒ ⑥ケアプラン帳票等の提出

⑦初期データ確認ミーティング (zoom) 開始から 1 週間後

⑧ケアプラン自己点検の実施 開始から 3 週間を目途

⑨評価 (終了時点) 開始から約 12 週間後 ⇒ ⑩ 撤去 (継続の場合は要相談)

### 《実践》

【令和 3 年 10 月】

自宅にセンサーを設置。訪問は月に 1 ~ 2 回程度、訪問前には必ずデータを確認し気づいた点、不思議に思うこと等をあげ、事業所の報告と併せて家族に伝え、行動の把握や疑問に関する話し合い、改善策の提案等を行っていた。

## 【本人の自宅での様子と結果】

### 1. トイレに通う回数

デイサービス利用中は、5回～17回のトイレ通いを確認。平均8回～10回

デイサービス通所日以外は、11回～21回のトイレ通いを確認。平均12回～15回

※昼夜問わず定期的にトイレへ行っており、しかも回数が多い。

十分な睡眠時間が取れないため、日中の居眠りが増えてしまうのではないかと推察する。

→訪問看護師に確認。心疾患があり利尿剤の服用をしているため、トイレの回数が多くなってしまっている。服用を中止することは難しいのではないかと推察する。医師への相談が必要。

### 2. 準備した3日分の食事がすぐになくなってしまふ

・トイレに起きるたびに冷蔵庫を開けていることが判明。その都度何かを食べているのではないかと推察する。

→ご家族と相談しヘルパーの買い物を減らす。必要以上に食べてしまわないよう、中止していた宅配弁当を再度利用開始することとした。

### 3. 水曜日の通所日は送迎時間が早く、いつも寝ている（ヘルパーからの報告）

・データにより、実は二度寝していることが分かった。水曜日以外の日は二度寝から起きた後の時間だった。本人の睡眠サイクルと送迎時間が合っていない。

→ヘルパー事業所と通所介護事業所と連携し、本人の睡眠に合わせた送迎時間の変更を検討する。

### 4. 毎朝、4時に玄関を開けている

・新聞を取りに行っている。玄関外に出るのは危険なので、新聞屋とは玄関カギが開錠されていたら玄関の中に新聞を置いてもらう。玄関カギが施錠されている場合は、玄関横の浴室の窓から投げ入れてもらう取り決めを、家族が新聞配達業者としている。どちらにしても床に置かれた新聞を取ることは大変であり、転倒リスクが高い。

→使用していない浴槽には蓋をしていただき、新聞が蓋の上に落ち、取りやすくなるように提案した。

## 《考察》

認知症高齢者の行動や生活リズムを知ることは極めて困難であると考え。なぜならば本人が自分自身の行動を覚えていないからである。今回の事業に参画し、センサー等により本人の生活状況を可視化することができた。その結果、生活がパターン化されていることに気づき理解することができた。そしてその行動を家族と共有していくことで、行動の理由が分かり改善策を提案することができたと考え。加えて、事業所とも日頃の様子を今まで以上に綿密に確認しあい、ケアマネと家族とのコミュニケーションが増えていくことを実感した。生活リズムにあった生活を送れるように支援することで、本人だけでなく生活を支えるすべてのものをつなげていけるのではないかと考える。

取り付けられる機器がモニターではなく人感センサーであるため、はっきりとした様子を知ることができない。あくまでも「想像」の域を超えないが、データによる事実と事実を読み取る力が今後のケアマネジメントに求められると考える。そのために継続的な学びと実践を行うことが必要であり、ケアマネジメントの質を向上させるための取り組みを行いたいと考える。

## (6) 「口から食べる」を続けるために

(平塚橋ホーム)

### 《はじめに》

誤嚥性肺炎を繰り返している方が入居された。入居後、1週間で誤嚥性肺炎を再発。約1ヶ月半入院生活を送られ、再入居されたが、病院の医師からは、誤嚥性肺炎は繰り返すと言われた。安全に口から食べることを続けるために、どのような対応をしたらよいか。事例を元に考える。

### 《ケース紹介》

M様 女性 91歳 要介護度5 認知症 誤嚥性肺炎

食事は見守りが必要、自力摂取。

令和3年6月、7月と誤嚥性肺炎を繰り返し、グループホームに入居していたが、特養申請する。

### 《経過と課題》

#### 【経緯】

令和3年11月12日、平塚橋ホームへ入居。

入居前の入院時、病院で嚥下評価を実施。ゼリー食が望ましいとのことであったが、ホームではゼリー食の対応ができないため、ペースト食での開始となった。特に問題なく摂取しているように見えたが、入居1週間後19日に発熱、誤嚥性肺炎再発で入院となる。

12月28日再入居。再入居当日に、「平塚橋ゆうゆうプラザ」の言語聴覚士に嚥下評価を依頼する。

#### 【嚥下評価】

見た目では食べられているように見えるが、不顕性誤嚥のため、いつ誤嚥しているかわからない。ペースト食は本人にとって緩すぎるため、誤嚥の原因になる。ゼリー食の対応ができないのであれば、ソフト食の方が安全。ソフト食でも極刻みの形態は誤嚥のリスクあり、提供不可。また、一口大の調節をし、誤嚥、窒息両方のリスクをクリアしなくてはならない。痩せ型の方は、誤嚥性肺炎を発症しやすいため、体力をつけることも重要。唾液での誤嚥が多いので、口腔内を清潔に保つようにすること、との評価を受ける。

#### 【対応】

ホームでは、ペースト粥、ソフト食のハーフ食、捕食の高栄養食品（ブリックゼリー）付での開始となる。汁物禁止とし、水分はゼリー状にして対応した。提供不可の物が多い場合、栄養の偏りが考えられるため、代替えで高栄養食品（エネプロゼリー）を追加で提供する。

#### 【課題】

ソフト食を提供するにあたって、ホームのソフト食は、ソフト、極刻みが混合している形態であり、提供可能のものと、不可のものがあった。職員全員が同じ判断で対応ができるのか。また、かき込んで食べる様子があり、窒息のリスクが高いため、最後までスプーンで掬って食べられるようにする。摂取しながら話し出すため、誤嚥のリスクが高い。いかに集中して摂取できるか等、多くの問題が課題となった。

## 《課題に対しての対応》

- ・提供可能、不可の物を写真に撮り、全職員が同じ判断ができる目安を作る。
- ・提供する目安として、硬さはブリックゼリーを基本とし、提供不可の物は、極刻みのもの、塊であっても口腔内で細かくばらけるもの（ハンバーグなどのひき肉類）、スプーンで潰しても滑らかにならない物は提供禁止。
- ・かき込まず、最後までスプーンで掬って摂取できるよう、ワンプレート皿を使用。
- ・掬いやすいよう、食事・ゼリー状の水分にはさいの目状に切れ込みをいれる。
- ・集中して摂取できるよう、食事中のみ壁を向いてもらい、他利用者や職員が視界に入らないようにする。

## 《経過》

記録に文章で残すだけでは、わからないことが多く、写真を撮ることによって、イメージしやすくなったため、職員それぞれが同じ対応で提供できるようになった。

ワンプレート皿を使用することによって、皿を持ってのかけ込みながら摂取することなく、最後までスプーンで掬って食べることができた。

壁を向くことによって、多少の声出しはあるものの、以前に比べて集中して食事摂取ができるようになった。

## 《結果》

言語聴覚士の嚥下評価を元に、対応を行ったことによって、誤嚥性肺炎の再発はなく経過している。しっかりと食事を摂ることによって、体力もつき、咽込みもできるようになった。また、職員が身体を支えながらではあるが、フロアを1周歩くことができ、自ら他利用者や職員へ話しかけることも多くなり、表情も明るくなった。

問題として、ソフト食でも、提供できないものが多く、栄養面での心配もあり、代替えの提供が毎食となってしまった。

## 《最後に》

今回、食事提供に関して、職員全員が同じ対応ができるかが課題であった。摂食嚥下障害は外から見えない分、日々の観察や見極めが必要となるが、写真を撮り、根拠やリスクとともに情報を提示したことによって同じ対応ができるようになった。現在のM様は誤嚥性肺炎の再発を防ぎ、安全に経口摂取が続けられている。なにより、M様自身が体調の安定により、表情も明るくなり行動範囲も広がった。

誤嚥性肺炎を繰り返している方への対応は難しく「口から食べる」は当たり前のことではあるが、摂食、嚥下機能の低下により、当たり前でなくなってしまう。しかし、今回の事例を通して、言語聴覚士による嚥下評価を元に、工夫、対応することにより、安全に「口から食べる」ことの大切さを再認識できた。今後のケアにも活かしていきたいと思う。

社会福祉法人 三 徳 会  
令和 3 年度事業報告書

令和 4 年 6 月 25 日発行  
〒142-0053 東京都品川区中延1-8-7  
TEL. 03 (3787) 3616 (代表)

